無産階級戰鬪雜誌

進め

大正十二年一月三十日第三種郵便物認可（毎月一回一日發行）
昭和三年八月二十八日印刷納本
昭和三年九月一日發行

第六年 9 第九號

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

解放群書（26）

—解放社編—

—菊判八百頁 全二册箱入—

定價壹圓 送代拾錢

最新 社會主義隨論集

◇群書第六篇「社會主義隨論集」同第十二篇「續社會主義隨論集」は忽賣切絶版。本書實は「續々社會主義隨論集」なるも、題して「最近社會主義的隨論評資集」と命名。賣るに再び「社會主義隨論集」と廣告するは、只不用の木版を使用せんがためのみ、豈他意あらんや。六篇四百頁、十二篇五百頁然るに本　實に八百頁、上下二册皆箱入、豈賣切れずして可ならんや。

◇本書載するところのものは有らゆる名士闘將學者運動家の、有らゆる題目を捉への論戰研評、隨想隨筆、詩歌慷慨。資料あり統計あり、政治に經濟に、世界觀あり、文藝論あり、一卷よく世界を盡くし「壹千名家最近社會主義的隨論評資集」の名、眞に人を欺かず　敢て世に一本を推薦す。

東京市芝區新櫻田町十九
解放及解放群書發行所

解放社

振替東京三六九四四番
電話銀座二〇七七番

農民勞働社取次書目

山川均著

資本主義のからくり

二十六版
三十錢

書名	價	書名	價
農村振興策批判（杉山）	、一〇錢	社會主義と民族問題（レーニン）	、三〇
唯物史觀解說（河上肇）	、一〇	或同志への書翰（山川）	、一五
プロレタリアの使命（住谷）	、一〇	前衞と勞働組合（ロソウスキー）	、七〇
人一生の經濟學（河野）	、一〇	レーニン（ロソウスキー）	、三〇
無產青年運動（高橋）	、一五	マルクス評傳（レニン）	、二〇
勞働者の明日（野川）	、一〇	第三インタ小史（コミンタン）	、八〇
無產青年に與ふ（辻井）	、一〇	史的唯物論（ブハーリン）	一、〇〇
社會主義學說大要（堺）	、三〇	何をなすべきか（レニン）	一、〇〇
左翼小兒病（堺）	、三〇	社會運動辭典（田所）	二、〇〇

右は取次書目の一部であり其の他に無產階級運動に關する一切の書籍特にパンフレツトを取次する。目錄請求（要二錢）一覽の上注文を乞ふ。送料は一切當社に於て負擔す

東京市芝區二本榎西町二
振替東京七六二七〇番

農民勞働社

進め

第六年・第九號

九月號

◆御大典と生存權確立の運動……卷頭言（五）

時評

小選擧區制の反動性……町田忍（六）

第三黨樹立運動の批判……佐々木敬三（八）

◉産業合理化と勞働階級……淸水寛一（一〇）

◉帝國主義戰爭の危機……町田忍（一四）

◉何が彼等を裏切らせるか……吉田源藏（一八）

◉無産運動の發展策としての青年運動……上杉定義（二一）

資料

□無産黨合同の具體的方法……日本勞農黨（二八）

□京都西陣準備會の解散と日勞黨加盟聲明……京都西陣地方準備會（同）

□立入禁止反對の抗議書……全國農民團體協議會（同）

□對支干涉に對する聲明書……無産大衆黨（同）

□同……社會民衆黨（同）

□時事日誌（同）

□東京市會腐敗問題に關する聲明……日勞黨東京府聯合會（六五）

□同……社民黨東京府聯合會（六五）

□非戰同盟成る……全國非戰同盟（六七）

◇無產階級當面の任務……羽田光雄（三四）

◇秋和松五郎、佐野學、佐野文夫の裏切行爲に就て大山郁夫、細迫兼光の責任を問ふ……福田狂二（四〇）

全土戰報（四六）

○富豐爭議と無產政黨の活躍……進め社本部

○俺達の出產披露……福岡支局

○小作爭議は人民の權利である……全國農民組合

○和歌山の運動……和歌山支局

○秋の暴壓への戰備成る……新潟支局

○立入禁止を蹴飛ばす……奈良支局

○何故の犧牲ぞ……神戸支局

（少女）女工たらんとする少女へ……吉田はつ（五二）

（少年）勞働者たらんとする少年へ與ふ……吉田源藏（五四）

○大阪窯業セメント爭議批判……永田繁澄（五八）

○枚舟權に就いて……（六六）

講座　唯物論及び唯物史觀……神庭仲之介（六〇）

創作

移住地を流れる歲月……本庄陸男（六七）

彷浪者の手記……中島安太郎（七六）

姉と弟……土佐和芳（八〇）

特別讀物

理想鄕を作らんとして支那革命に從ふ……福田狂二（八三）

社會主義運動思出話（三）……岡野辰之介（八八）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

無産階級の獨裁なくして革命藝術の獲得なし（レーニン）

革命藝術大系なくして無産階級藝術なし

本書目次大要
革命と藝術
革命藝術大觀 文壇一般、文壇の中心、新作家の群、作家の自傳、作品の内容、文學雜誌、文壇插話
革命文學論
革命詩壇
革命美術 美術一般、アッヘル、現代彫刻展覽會
革命樂壇
革命演劇 ルナチャルスキーと演劇、第四研究劇場、芝居を工場の中で打つ、新しい舞臺裝置者
附錄 墓の上に、中隊へ、アジア人から、曠野、永滑り、教師の少年及青年時代

解放群書（24）
最新刊
革命藝術大系
尾瀬敬止著
四六版 二百卅 定價壹圓 送料十錢

◆『無産階級の獨裁なくして革命藝術の獲得はない。』凡てが有産階級的であつて、獨り藝術のみが無産階級的であり得ない。ロシアは世界唯一の無産階級國であり、其處に初めて無産階級藝術があり得る。しかして無産階級の革命と同じく、血苦十年の歴史を持つ。

◆日本に於ても現今頻りに無産藝術が問題され、理論鬪爭對立發展が進行する。しかし『革命藝術の把握なくして無産藝術の確立はない。』本書は斯界第一の權威たる著者が、十月革命十週年を紀念するため、刻苦十年の研究を傾け、十月藝術十年間の苦闘奮鬪並に、文壇、詩壇、樂壇、藝術家、藝術團體の現狀現勢を、歴史的、紹介的、組織的、體系的に著述し、尙代表作品數種を附錄した鳥瞰圖であり、縮寫圖であり、シネマであり、パノラマである。其價値や知るべきのみ。

◆『革命藝術大系なくして無産階級藝術なし。』苟くも革命藝術を語り、無産階級藝術を創らんとする程の者に敢て本書を薦む。

發行所 東京市芝區新櫻田町十九 振替東京三六九四四番 解放社

革命藝術の把握なくして無産藝術の確立なし（尾瀬敬止）

御大典と生存權確立の運動

吾等に仕事を與へよ、

吾等の生活を保證せよ、

こうした人民の血のしたゝる樣な生存權確立の叫びは、今や全土に澎湃と捲きおこされ・資本家、地主の牙城に肉迫した。こうした、人民の烽火の前に戰慄した資本家、地主の輩は、事あらば、こうした人民の要求をじうりんし、彼等の飽くなき搾取の鐵鎖にしばらんとしてゐたのだ。

見よ・彼等は、今秋擧行せられるところの御大典の盛儀を利用し、人民の生存權確立の叫びにあらゆる中傷漫罵をあびせかけ、一擧に彈壓せんと企でゐるのだ。吾等は、資本家地主のかゝる卑劣なる行動を糺彈し、御大典と、人民の生存權確立の叫びは全然別個のものである事を明示しなければならぬ。

御大典によつて・人民の生存權確立の運動がゆがめられる事があつてはならぬ。

諸君。

重い小作料に苦しみ、その小作料の爲めに最愛の娘を賣らねばならぬ百姓達には小作爭議こそ、正當な自己防衛の手段であらねばならぬ。失業者にとつては仕事をあたへよの聲も又最後の權利でなくてはならぬ。小數の資本財閥の爲めに戰ふ帝國主義戰爭の危機と戰ふ事も人民の正義の上に立つ權利である。

御大典によつて人民の生存權確立の權利はゆがめられてはならぬ。又ゆがめさせてはならぬ。

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

時評

小選擧區制の反動性

町田忍

田中內閣は、その成立以來、戰鬪的勞働者農民の陣營に嵐の樣な、凡ゆる彈壓の暴威を加へ來つた。最近、三月十五日の日本共產黨大檢擧以來、その反動性を露骨に曝露し、遂に左翼の戰鬪分子の一掃を以て、政友會內閣の存在使命とするに至つた。即ち國內的には、勞働農民黨、勞働組合評議會、無產青年同盟の解散を斷行して、無產階級戰線に挑戰し、國際的には、支那革命運動を帝國主義的軍事行動によつて、餘りにも不當に、これを蹂躙し、もつて左翼分子の絶滅を期してゐる。

然れ共、歷史の車輪を逆轉さす事は出來得ない。今や暴壓をはねかえせのスローガンは全國津々浦々にあがり、暴壓に抗する唯一の道である戰線の整理合同は日農、全日の兩農民組合の合同より始まり、今や全無產階級戰線の統一が行はれ樣としてゐる。

この時反動內閣は突如と選擧區改正を主張するに至つた。選擧は政府黨が勝つものであると言ふ時代を無視した錯覺がさめきらずにゐた田中反動內閣は、過般の總選擧に於いて意想外の打擊を受け、續いて議會の切り拔けに、非常なる困難を經驗して以來、それに過般の共產黨大檢擧以後田中內閣の存在理由である反動政策施行の必要上俄に現行選擧區制を小選擧區制に還元させなくてはならぬと主張するに至つた。この異樣なる主張は反動政治家床次竹次郎が最近、民政黨から脫黨して早々標榜した小選擧區制論と相會し實際的には次第に實現性を濃厚にして來たかに見える。けれ共小選擧區制論者に對して我等の最も最初に持つ疑問は、小選擧區制を否として、政友會自らその制定に與かつた中選擧區制を、ただ一回の經驗のみにより、俄かにこれを葬り去ろうとするのは、如何にしても我等の首肯し能はないところである。

小選擧區制による選擧に於いては、買收その他の不正手段を用ひる機會が中選擧區制に於ける場合よりも非常に多い。從つて時の內閣が勝利第一主義で、手段を擇ばずにその選擧を押し切ろうとするならば、時の內閣及びその與黨にとりて小選擧區制程都合の良いものはない。これは從來我が國の選擧史上で、その都度歷々と證據立てられたところであつて、既成政黨が何れも劣らずに、經驗を經て來た事實である

しかるに、田中反動內閣及床次氏一派がこの場合殊更に小選擧區制を擇ばんと

するのは畢竟現在の政情から推して次の總選擧もまた、恐らくは現内閣の手によつて行はるゝであろうと言ふ事、しかして中選擧區制で行はれた過般の總選擧においてさえ、あれ程苛烈な選擧干渉を行ふに、はばからざる現内閣にとつては、小選擧區制による事が、選擧必勝の早道であると思考せられる故であると言ふ事、も一つの理由は、田中反動内閣及床次をめぐる一派の人々にとりて、最も恐怖を覺ゆる戰鬪的勞働者農民の偉大な擡頭、過ぐる總選擧に於いて檢擧と投獄とで未曾有の大干渉を行ふたにも係らず、無産政黨は、なほかつ八名の新議員を出し、總得票は實に五十万票であつた。この新興無産階級の力に大なるをそれをなし、特に最近共産黨事件の檢擧後、田中反動内閣と床次氏一派は共通な立場にあり、共に無産階級政治勢力を小選擧區による不當なる干渉と壓迫によつてせきとめんが爲めであろう。醜惡極まりなき現内閣及床次氏一派によりて提唱せら**れつつある小選擧區制還元の僞らざる動機が恐らくこの邊にあると我等には**思考せられるのである。

今かりに、かゝる動機論を措いて、これを純理論的に批判して見ても、普選によつて出來得る限り、民衆の意志の暢達を計ろうとする今日、小選擧區制が中選擧區制に優る理由を見出す事はできない。由來小選擧區制は幾多の缺陷を持つたのである。即ち選擧干渉が組織的に行ひ得られる危險があり、金權の買收に容易である。候補者に選擧區の因縁關係利益關係の利用を誘發し易い。かゝる致命的な缺陷を有す小選擧區制を、しかも前述の樣な最も卑しむべき動機より、これを提唱すると言ふ事はあまりにも無茶と言はざるを得ない、我等はさきに選擧の公平を期する理想方法として、大選擧區による比例代表制を揭げてゐる。反動的使命を果すべく、選擧干渉と買收とに蹂躙すべく、小選擧區制還元を主張する現内閣及その一統の内部にさえ、有力なる反對があるとのことである。犬養**鳩山氏等は大選擧區制による比例代表を目標として進まねばならぬと言ふて**ゐるではないか。現行の中選擧區制は弊害百出の小選擧區制から、前述の理想的選擧區制に向つて、實にその一歩を進めたものである。從つて現行選擧法の中に、不備の點があるならば、進んでそれの積極的改正を施し、以て最善を期さなければならない。勿論こんな事を、現反動内閣に期待する事はできぬが、かくする事が民衆に對する親切なやり方であると思ふ。

一體日本に於ける現行選擧法は、今日世界に通用してゐる意味に於ける普選法とは言ひ得られない。と言ふのは、中選擧區制であり比例代表制を採用せぬ事、多額の保證金を要する事や、尤大なる婦人層に選擧權を與えて居ない事、その他種々なる選擧民の意志を束縛する條文があり、かりに我等が選擧當時所々に張り出される官憲の注意書を見るならば、如何に、選擧上言ふものが窮屈なものがあり、民衆を威嚇し、蹂躙してゐるものであるかが明瞭**に知れるのである。我等は、今日反動**

勢力による小選擧區制還元が叫ばれてゐるのを機として、大選擧區比例代表制を採用せよ、保證金制度、住所年齡の不當制限を撤廢せよと要求しなければならない。以て撤底普選を獲得し、我國の政治的自由を戰ひ取らねばならない。

それを通じて、

改正に名をかりて、改正の原則を放棄し、最も反動的なる小選擧區制に還元せんとしてゐる現内閣及床次氏一派に、勇敢なる鐵槌を下さなければならない。

大衆の力によつて、小選擧區制還元論を、粉碎せよ！

撤底普選獲得の猛運動を捲き起せ！

第三黨樹立運動の批判

佐々木敬三

八月一日、突如として、民政黨顧問床次竹次郎が第三黨樹立を企圖し、同黨を脫退してから今日に至るまで約一ケ月を經たが、その運動も一段落を告げ、漸くこの新政黨が今秋を期して如何なる行動を起さんとするかが今やブルジョア政界の興味の中心點となつて來た。元來斯樣なブルジョア政局の變化など本誌上で口やかましく論じ立てる必要はない樣にも思はれるが、それは所謂机上の理論家達の言草で、苟くも實踐的な關心を有する者は、今日此等第三黨運動の性質を明白にし、これに對して如何なる態度を持し如何なる方策に出づべきかを規定せねばならない。

田中義一が内閣を組織して以來、四個の第三黨運動が繼起した。第一は、前陸相宇垣一成を擔ぎ出さうといふ計劃であつた。これは總選擧以前に策謀され、現在でも尙日本農民黨あたりと結びつけ樣とする手合がある相だ。併し當分潜伏狀態を續けるより仕方があるまい。次は明政會だ。「かび」の生えた憲政の神樣、尾崎を看板に鶴見長島などが狩り集めた猿芝居の一座だ。彼等に就いては既に烙印濟みで、兎や角いふ必要がない。

第三は三申老事小泉策太郎の運動であるが彼に追隨するのは、彼に選擧費用を支拂して貰つてゐる一二の靜岡縣選出代議士だけだ。

所が床次が民政黨を脫黨し、舊本黨系を糾合して第三黨樹立に着手し、辛うじてゞはあるが議院法による交涉團體たる定員數を獲得したらしい——八月廿一日には參加確定十九名で、尙確實に參加すべきもの七八名と傳へられる。これが第四の第三黨計劃であり現内閣治下最後のそれであらう。では何のために第三黨が屢々計劃され、要求され來つたか。明政會所屬の大内岸

本兩代議士の新黨入り聲明書に依ると第三黨は何時の代にも要求され且つ必要なもの、換言すれば所謂立憲政治｜｜議會政治には三黨的存在が必須不可缺だといふ。これは現在までの所全くの眞實だ。政友會憲政會對持時代の第三黨たる國民黨は、三井三菱を背景とする二大政黨の政權爭奪の渦中にあつて日本のプチ、ブルジョアと自由主義的知識階級の代辯者であつたが、階級的基礎の薄弱な同黨は階級對立の尖鋭化と共に解消し去つた。併しそれが自然消滅でなく政友會への唐突な身賣りを以てした爲め、實業同志會と明政會が出現し得たのだが、實業同志會も結局國民黨の轍をふむの止むなきに至つた。かくて唯明政會のみが、新自由主義なる復古的幻影を追ふて、巧妙なる議決權の切り賣りに浮身をやつしてゐたが、床次の第三黨計劃は、愈々彼等をして幽靈的存在たらしめた。明政會までの第三黨は畢竟するにブルジョアジーの鼻息を窺ふに汲々乎として居ながら自己の門戸を構へてゐる樣な僞態を示してゐた中間階級の政治的代辯者であつたが、床次のはこれと質的な相異がある。

　床次は、脫黨の日當つて曰く『政界の現狀を見ると內政外交とも實にあきたらぬ』と。これを打開するための脫黨であると。具體的には『宜しくあくまで、合法的積極的に既得權益の擁護に努めざるべからず』てふ對支政策と、財政緊縮、金輸出解禁、小選擧區制を擧げてゐる。そして『階級鬪爭を激成する思想を鼓するが如き……斷じて許さざる所なり』といふ資本主義社會の絕對的信奉者たる旨を表白してゐる。第三黨樹立宣言を一讀すれば、床次黨が從前の中間層勢力の表現としての第三黨でなくして、純然たる反動陣營の一分子たる事が明瞭である。

　床次は最も民政黨の對支不干涉主義に嫉厭たるものがあつたが、民政黨と雖も滿洲の特殊權益に關する事ならば一步たりとも讓步するものでない。

　かくて日本ブルヂョアジーは第三黨の出現によつて更に支那に向けられた帝國主義的資本主義の鋒先を鋭ならしめた。支那に對して嘗つて非合法的方法により獲得した「合法」を振りかざして狂躍亂舞する田中反動內閣に、帝國主義萬歲だ。小選擧區制が如何に不公平なものであるかは、今更云ふまでもない。財政緊縮や金輸出解禁は刺身のつま同然で、唯物史觀を排擊し階級鬪爭に怖氣を震ふ彼等は外は對支積極政策を以てその帝國主義の爪牙を鋭くし、內は小選擧區制を以て大衆の口を覆ひ、明政會を勸誘して議會を完全に單一な有產階級獨裁協議機關たらしめんとしてゐる。

　この第三黨が從來のそれと質的な相違を持つ所以は即ち此處にあるのだ、前議會に於て無產黨に握られたキャスチングヴォートを彼等の手に奪取せんとする必死の計劃なのだ。そして政友會が好機至れりとして小選擧區制を採用せんとするは、無產黨議員を議會外に放逐せんとする陰謀なのだ。

　我等は第三黨運動を單たる泥仕合として看過すべきでない。

産業合理化と勞働階級

清水寛一

【一】

産業合理化は、今世界經濟の表面に最も大きく動きつゝある波である。しかし、この大きな波に二つの著るしい、むしろ全然相反した二つの形態が内包されてゐる。

卽ち、その一を「勞農ロシヤ」をもつて、代表される社會主義經濟上における合理化運動であり、今一つはロシヤを除く他の國卽ち、資本主義國家における合理化運動である。

【二】

以上の二つの形態によつて、すぐうなづけるのは、ロシヤの合理化運動と、資本主義國家の合理化運動とはその合理の目標が全然相反してゐるといふ事である。

ロシヤのそれは、全民衆の爲めに、如何にして産業の發達を促進し、以てその安定を確保しなければならぬといふ目的の上に立つてゐるのに反して、資本主義國家のそれは如何にして資本家が儲ける事が出來、資本主義經濟の永遠性を確保する爲め、どういふ風に産業の促進を企圖しなければならぬかといふ目的の上に立つてゐる。

前者にあつては、産業の合理化が、すぐに民衆の利益となり、勞働時間の短縮、報酬の增大、教育時間の增加となつて表れ、後者にあつては、産業合理化運動が進展すればするほど、失業者が多くなり、賃銀が低下し、過勞の問題が起り、熟練勞働の廢滅となり、婦人少年工の酷使となつて表れる。資本主義國家の合理化運動は無産階級を彈壓する事によつてのみ成功する。

【三】

勞農ロシヤの産業合理化運動は、ロシヤが革命後、内においては歐洲戰爭による疲弊と、襲ひくる飢饉と戰ひ、對外的には各帝國主義國よりの封鎖と戰つて、あくまでも社會主義經濟の確保をしなければならないといふ社會主義完成の目的の上に立つてゐる。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

後者は、歐洲大戰後における資本主義諸國の復興問題と同時に、燎原の火の如く全世界の表面を蔽つて了つた。卽ち、歐洲の資本家達は「破壞された生產力」を立直しする爲めにこの方策を取つた。國際經濟會議の如きも、この世界的表はれである。

かくの如く、產業合理化運動に二つの形態がある。勞農ロシヤを除く他の國の無產階級運動にとつては、產業合理化はおそろしい脅威である。

吾々が平常、合理化運動といふのは、この資本主義國家のそれであつて、然る限り產業合理化の形勢と戰はねばならぬ。もし、この問題を放棄して了ふならば、吾々に襲ひくるものは、失業であり、賃銀の低下であり、貧窮の增大である。

「資本の攻勢」と普通呼ばれてゐるのもこの傾向であつて

働かせろ……

食はせろ、の要求は、この合理化運動への全勞働階級の鬪爭のスローガンである。

かゝる意味において、資本家的經濟の上に立つ合理化運動は、資本主義國家の勞働階級への攻勢であるのと同時に勞農ロシヤへの攻撃である。又、同時に、勞農ロシヤの合理化運動は、資本主義國家への一大攻勢であり、その世界××の理想への前進である。何故ならば、ロシヤのより大なる强大化は、全世界の勞働階級に勇氣と確信を與へる事であり、社會主義經濟の强力化といふ事は、資本主義經濟の沒落を意味するからである。

世界經濟において、資本主義も社會主義も相並んで繁榮するといふ事はない。それは氷炭相容れざるものであつて現に火の樣な鬪爭を續けつゝある。英國を盟主とする反ロシヤ聯盟は、機會あらば武力をもつて、ロシヤ社會主義國家を粉碎せんとうかゞつてゐる。だから、吾々は勞農ロシヤを守らねばならぬ。勞農ロシヤを守る事は、日本の勞働者農民の戰線を防衞する事である。何故か。卽ち、勞農ロシヤを、資本主義國家の侵入によつて蹂躪させる事は、全世界の勞働者、農民の理想を永遠の彼方に沒却せしめるものであり、これを機會に資本主義は凱歌をあげ、全無產階級は解放の日の希望を失ふ。

勞農ロシヤの存在とその搖るがざる基礎の强大は、資本主義の弔鐘である。唯物史觀は明かに資本主義から、社會主義への經濟組織を豫言的に立證するものであり、現實において勞農ロシヤの强大は、決して資本主義の逆襲によつても崩されない事を示す。全世界における勞働階級の陣營も同樣である。

ロシヤを守れ。これは、全世界の勞働階級の要望である。

【四】

勞農ロシヤの社會主義建設への產業促進は如何なる目標で行はれ、又現在如何なる狀勢を展開しつゝあるのか。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

私はスターリンの第十五回黨大會における報告の中より引用して見よう。

「ロシヤは、次の主要觀點の下に產業の發達を圖る。

一、我等の政策は經濟總體の生產の進步的增加を全體として促進すること。

二、黨の政策は工業の發達步調を速かならしめ、全經濟における指導的役割の確保を促進すること。

三、經濟の發達につれて、國民經濟中の社會主義的扇形區域、即ち社會主義的經濟形態の比重を私經濟及び資本主義經濟形態を犧牲にして益々強めること。

四、我が國の一般的發達並びに、經濟的獨立を確保して我が國を世界經濟の資本主義的體制の附屬物たらしめない樣に導く事。

五、プロレタリヤの獨裁、勞働者農民のブロック、およびそのブロック內における勞働者階級の指導權の確保。

六、勞働者、農民の物質的文化水準を絕へず向上せしめること。…………………」

かゝる政策の下における、勞農ロシヤの生產の增加を見よう。

一九二四――一九二五年においては、農業生產は總額、戰前の八七、三%をなし、工業の全體の生產は、戰前の高さの六三、七%であつたが、二ケ年を經過せる、――一九二七――二八年においては農業生產は戰前の一一二、八%に向上し、工業においては一一四、四%以上に達したと云つてゐる。

次にロシヤの國民の總所得を見る。

一九二四――二五年におけるサヴエート聯邦の國民所得は、百五十五億八千九百万チエルヴオネツツ、ルーブルだつたものが、一九二五――二六年には、二百〇六億、五千二百万ルーブルになつて二九九%の增加となつてゐる。一九二六――二七年には、二百二十五億六千万ルーブル、即ち一一、四%の增加となり、國立計畫經濟委員會の統計によれば一九二七――二八年には二百四十二億〇八百万ルーブルに卽ち、七、三%の增加に達したとさへ云はれてゐるこれに對照して、資本主義國家における最大な地位をもつ米國においての國民所得の年率平均增加額は三%――四%を越へてゐない。イギリス、ドイツは一%乃至三%ぐらひが關の山である。

勞農ロシヤの產業の發達と國民所得の增大は正に世界的レコードを作つてゐる。

【五】

次にロシヤの全工業の七七%以上をなす國營重工業の增加を見よう。

一九二五――二六年のその生產增加數は、それ以前の年度に比較すれば四二、二%で、一九二六――二七年には一八、二%となり、一九二七――二八年には一五、八%となつてゐるが、國立計畫經濟委員會の五ケ年計畫による草案

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

を見れば、五ケ年間に七六、七%の増加を見る筈である、每年の平均増加率は一五%となつてをり、一九三一——三二年には、戰前の生産額に比し、二倍にも上る見積りとなつてゐる。

又、ロシヤの工業、全體として見れば、（重工業、輕工業國立工業、私的工業を含む）その五ケ年計畫によれば每年約十二%の生産増加の算定となり、一九三一——三二年には戰前に比して約七〇%の増加を見るとの事である。

【六】

勞農ロシヤのかうした生産の増加は何によつて説明されるのであるか。

すべての生産が國家的統一の下に、社會全體の利益といふ觀點の下にあるから、發達の可能性を具へてゐるからだ資本家的工業は、農村と敵對的の關係をもつて發達するものだが、國營工業は、これと反對に價格低廉政策を行ひ、その他幾多の理由によつて農民とプロレタリアートの密接な握手の下に促進されるからだ。要するに、一般には技術、特殊的には勞働者の生産性を非常に容易に發展させ、産業の合理化が全勞働者階級の支持の下にあるからだ。

ロシヤにおける社會主義的産業の合理化の成功は勞働階級の利益を如何に促進せしめたか。

國立工業の勞働者の實質的賃銀は、一九二四——二五年には一ケ月二五、一四ルーブルで、一九二六年——二七年には三二、一四ルーブルとなつてゐる。即ち二年間に二七%の増加となり、戰前に比して五、四%の増加である。

社會的補助金を加算すれば、（社會保險、文化必需品、市町村補助金其の他）勞働賃銀は、戰前の標準の一二八、四%の増加である。

農村の物質的地位の向上について見るなれば一九二四——二五年には、農民人口の所得は三十五億四千八百万ルーブルで、一九二六——二七年には四十七億九千二百万ルーブルに向上してゐる。右の期間における人口の増加は、二、三%であるが、明かに所得の増大、その地位の増大をもたらしてゐる。社會主義的産業の合理化運動の下にあつて七時間勞働制が實施され、失業者の減少、病氣や負傷した無産者への救濟は着々行はれてゐる。之に反して、資本主義國家における産業の合理化の下においては、失業は續出し、賃銀は低下し、過勞の爲め勞働者の健康は保たれない。

資本主義者の搾取の増大の目的が産業合理化運動となつて表れてゐるのだ。資本主義は無産階級を搾取してのみ存續する。この事は、資本主義が努力すればするほど勞働者農民の反抗とその増大を内包する事を示すものだ。資本主義の運命は明かである。

社會主義的産業の合理化の下においては民衆の生活は愈々安定し、愈々勞働階級の支持を強大ならしめる。この事も、資本主義沒落の必然性を示すものである。

（八月廿一日日比谷圖書館にて）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

帝國主義戰爭の危機

町田忍

世界の帝國主義者は、かの歐洲戰爭によつて夫々必要とする植民地の協定分配を行つた。然るに、その後の資本主義の發展は、またまた自國の生産力と當時割當てられた殖民地の消費力とが、不均衡となり、一旦分割した殖民地の再分割を、必要とするに至つた。この世界の再分割は、必然に帝國主義戰爭を導くものであり、今や太平洋を中心に、その危機は刻々に迫りつつある、戰爭の口火が、どんな事から起るかは、今日豫測し難いが帝國主義各國が、已に都合の良い言ひ分をつかんで宣戰するであろう。しかしながら、如何なる理由で宣戰するにもせよ、今日引き起る戰爭が帝國主義ブルジョアジーの利害衝突利益爭奪のための鬪爭であると言ふ事には毫も變りはない。目下その最も危機の切迫せるは、同一條件の下にあるアメリカ帝國主義ブルジョアジーと日本の帝國主義ブルジョアジーとの支配を中心としての利害の衝突である。

經濟的資源に乏しい我が日本のブルジョアジーは從來滿洲を絕體に他國の容喙を許さざる特殊地域として支配してきた。即ち田中政府は去る七月二十日、東三省に對してとるべき根本方針を決定して曰く

一、日本政府としては、如何なる場合にも滿蒙に於ける日本の特殊地位及既得の權利利益並に一般經濟上利益の侵害さるゝ事を容認する事を得ない。

二、東三省の治安維時の爲めには、必要あれば何時でも斷乎として有效適切なる手段をとる。

三、如何なる場合にも勞農ロシアと境を接する東三省に共產主義又はこれに近似する制度思想が影響して朝鮮及日本內地へ赤化運動を傳ふるような事は忍ぶ事が出來ぬ。

か樣に東三省に於ける日本の特殊利權確保の爲めには、凡ゆる武力干涉をも辭さないと公然と宣言してゐる。近來日本帝國主義ブルジョアジーはヨーロッパ戰爭當時より中

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

部支那、南部支那に、從來君臨してゐた英國に、とつて代つて一大進出をなした。この特殊利權の擁護の爲めに、例の手段で濟南事件を引き起し、軍事編成による大なる陸海軍を押出して山東一帶を占領し支那の沿岸を軍艦で包圍し、この武力的威嚇の下に「濟南事件」の交渉を行ひ、以て中南支那に於ける特殊利權を維持獲得しやうとしてゐる。かくの如き日本帝國主義ブルジョアジーの×××は、同じ樣に、しかも極めて急速に陰險に振舞はれてゐる、アメリカ帝國主義ブルジョアジーの利益と必然に衝突せざるを得ない。かの日本の濟南出兵に對する共同警備問題に最近の國民政府の、條約改正を中心としたやゝこしい外交的かけ引き問題に、日米帝國主義ブルジョアジーの衝突の片鱗が充分うかがわれてゐるのである。特に田中政府の對國抱協の妨害は、いよいよもつて、この危機を切迫せしめた。

去る七月十九日國民政府外交部長王正廷氏は、日支通商條約廢棄を、通告して曰く。

日支通商條約は民國十五年十月滿期となり支那政府より日本政府に改訂を申込み、その後しばしば期限を延期して、今日に至りたるが、いまだまとまらざるに七月廿日となり、こゝに期限到來した。國民政府はかねての宣言通り、平等相互の二大原則を基礎として新條約を締結せん事を希望し新條約締結までは、臨時辦法に從ひ、日支兩國の關係を律せんとするものである。

列國帝國主義ブルジョアジーの完全なる奴隷となり、銃と劍とを持つて勞農大衆の反帝國主義運動を斷壓してゐる國民政府が日本に對して何故かゝる弱腰なる態度を取りつつあるのか。國民政府は北京、天津を占領し、滿洲勢力を完全に驅逐した。青天白日旗は、五色旗に代つて、革命成れりの觀察は東三省を除く支那全土にわき上がつてゐる。しかし、乍ら支那革命運動の本來の使命は、國民政府の北伐完成と共に、やぶれ衣の如く捨てられてしまつた。打倒帝國主義、打倒軍閥のスローガンは燎原の火の樣に、支那全土の勞働者農民を驅つて、革命的勢力を伸張し、驚くべき革命的創造力を發揮した。勞働者の手に上海は握られ、農業革命の大暴風が渦捲きをつくつて全農村を風靡せんとした。この時代に於ける國民黨は、列國帝國主義ブルジョアジーにとりて大なる脅威であつた。勞農大衆の支持の上に立つ北伐軍の非抱協的闘爭が到る所に進められるにつれ、國民政府は大衆のこの異常なる革命勢力に恐れを成したか、帝國主義ブルジョアジーに向ける銃と劍とを、一轉して勞農大衆斷壓に向けて來た。反帝國主義、反軍閥の闘爭を放てきするに從ひ、南京政府は列國帝國主義ブルジョアジーと抱協し、自分自ら新しい軍閥となりすまし、勞働者、農民に斷壓を持つて望むに至つた。國民政府の青天白日旗が支那全土に、ひるがえつたけれ共、支那に於ける列國帝國主義ブルジョアジーの一つでも、其かげを沒し去つたであろうか？ 支那革命は國民政府の手から離れた。勞働者、農民の支持を、完全に失つた。今や打倒帝國主義、打倒軍閥

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

の革命任務は無産大衆のものとなり、勞農大衆は國民政府のこの公然の裏切りと、戰鬪的勞働者、農民の虐殺とに極度の怒りをなし、處々に國民政府と衝突するに到つた。この傾向は支那全土を席捲しつつあり、在來最も反動的地方と稱されてゐた東三省に於いてさへ、我々は即時に立つて帝國主義の危機と戰ひ「日本帝國主義の×××意圖と勇敢に大膽に戰はねばならない。」と叫ばれるに至つた。この澎湃として起つた勞農大衆の力の前に、おびえをなした國民政府は、ともあれ北伐斷行の旗印であつた、そして一度はまき收められてあつた打倒帝國主義を再び掲げざるを得なくなつた。勞働者、農民の威大なる鬪爭力は反動軍閥の巨頭張學良一派をさへ、日本帝國主義ブルジョアジーと對抗し、日本帝國主義ブルジョアの最も嫌ふそしてその爲めに露骨な内政干涉さへ行ひつつあるにも、かかわらず南方政府と抱協をせざるを得ない狀態になつてゐるではないか。國民政府の日本に對する「條約廢棄」と言ふ强腰は、とりもなほさず國民政府そのものの態度にはあらずして、支那全土の戰鬪的勞働者農民の態度である。

滿洲に於ける勞働者、農民の急激なる自覺とその革命的壓力は張學良をして南方國民政府に屈服させた。即ち揚字霆を仲介として、國民政府と張學良との間に

一、奉天側は三民主義に服從し、靑天白日旗の掲揚を承認する事。

二、東三省に委員制を採用すること。

其の他三ケ條の條件を以て妥協が、殆ど成立せんとしてゐた、ところが、日本田中政府は斷然之に反對の態度を取り、武力的威嚇を以つて、張學良に對しての抱協を打切るよう林奉天總領事極く最近は林、内田兩老外交家を特使として嚴重な警告をなさしめた。張氏は東三省の治安維時の美名にかくれて、急激に自覺しつつある勞農大衆を斷壓する爲めに必然なる二三の秘密條件をあげ、これと交換條件として日本の警告に屈服し、國民政府に對しては、日本の内政干渉に忍ぶべからざる苦痛を蒙るに至つた、民國の統一を妨害するものは、正に日本であると言ふ理由を述べて了解を求めた。しかし乍ら勞農大衆の革命的壓力は、必ず張學良をして南方國民政府を抱協せしめる。又せしめないではをかないであろう。けれども日本帝國主義ブルジョアは東三省に於ける特殊地位の擁護の爲めには、武力干渉を辭せずと公然宣言してゐる。そして既に山東に、滿洲に朝鮮に、戰時編成による軍隊が駐在してゐるではないか。

今や日本帝國主義ブルジョアの支那××の陰謀は、その外交的修辭や、あやつりの衣を脱いで、公然と露骨に武裝して乘り出した。日本帝國主義ブルジョアジーの、この武裝的乘出しは、必然に向上線を辿つてゐるアメリカ帝國主義ブルジョアジーと乃至中、南支那に於ける既得利權擁護の爲めに、死物狂ひの努力を續けてゐるイギリス帝國主義ブルジョアジーと正面衝突せざるを得ない。山東の武力占領、東三省に於ける武力的内政干渉―そしてそれは張學良

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

との秘密條約となつて、滿蒙内勞働者農民の戰闘的自覺を斷壓する政策になり、同時にサヴエート、ロシアと南支、朝鮮及日本內地との連絡をたち切り、なほサヴエート、ロシアに對する浸略の用意をするものである。列國帝國主義ブルジョアジーの利害關係が、深刻に對立する時、戰爭が政策遂行の强力的手段である以上、いついかなる機會に、爆彈が破裂するかも知れない。帝國主義戰爭の最大の危機が、ここに拘藏されてゐるのである。

帝國主義戰爭への爆裂彈の凡べての用件が、支那の上に準備された。重ねて云ふ、戰爭はいついかなる機會に、如何なる口實の下に開始されるかも知れない。帝國主義戰爭が、帝國主義ブルジョアジーの利權獲得擁護のためである以上、勞働者、農民大衆は斷呼として反對しなければならない。すべての勞働者、農民、すべての無産者團體は、即時に蹶起して戰爭反對の猛運動を起さなければならない。帝國主義ブルジョアジーは今着々として戰爭の準備を進めつつある。これを阻止するのは、勞働者、農民の大衆的蹶起より外に斷じてない。

支那の國民政府は、勞農大衆の支持を完全に失ふてゐる打倒帝國主義を叫ぶかわりに帝國主義ブルジョアジーの權力にすがつて「三民主義」に活を入れんとしてゐる。しかれども打倒帝國主義、打倒軍閥の斷乎たる闘爭の魂は、勞農大衆の胸深くに生きてゐる。支那勞農大衆は萬國のプロレタリアートの力强き支持を得て、光輝ある打倒帝國主義の道を辿つてゐる。支那革命は、北京占領を峠として、更に一段の高度の段階に入つた。

わが勞農大衆は、プロレタリアートの國際的階級的義務により、即時に立つて、帝國主義戰爭絶對反對、對支干涉絶體反對のスローガンの下に猛裂な闘爭を行はねばならない。世界戰爭の危機が近まつた。

全國非戰同盟成る

全國非戰同盟は、八月十五日、本所松倉町產業青年會館で第一回委員會を開いた。集るもの賀川、廣瀨、松本、機本の諸氏本部を神戸葺合新川賀川氏方に置き、東京本部は、前記本所松倉町の產業青年會館におく事に決定

一、綱領

1 我等は戰爭並に戰爭準備行爲に反對す
2 我等は侵略主義に基く政治的、經濟的、教育的活動に反對す
3 我等は略奪を鼓吹し、弱少民族又は虛弱團體に對する軍國主義的言論と壓迫に反對す

二、主張

1 非戰論の宣傳
2 非戰條約の實現支持
3 國際裁判所の支持
4 非戰運動の教育
5 國際聯盟規約第一條の撤廢
6 非戰運動團體の連絡
7 非戰運動の國際的結成
8 軍事費の削減
9 軍需品貿易に對する反對
10 軍國主義的教育に對する反對

三、運動方法

1 演說會の開催――來る三十日第一回演說會
2 リーフレットの作製――賀川氏、松本氏各々一冊づゝ作る
事
3 九月中旬に發會式擧行

四、常任書記 1 廣瀨庫太郎、大谷撤、龜田一郎、機本貞代、和田富子

五、申合せ

1 組織單位を個人とす――ブルヂョア急進政治家、思想家、宗教家、藝術家の外各經濟團體、宗教團體の個人へ加入を勸誘す
2 各政黨並に其他の非戰同盟と連絡し全國非戰聯盟を組織するための前提團體として組織す。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

何が彼等を裏切らせるか

――（我國極左の本質）――

吉田源藏

曾て、ブハーリンは言つた。

「……ブルジョアジーとその警察、間諜、著述家達は、久しい以前からデマゴーグ的遣り口を用ひ、それによつて屢々效を奏しているのである。彼等の支配を脅かすところの黨が出來上らうとするのをみると、假へそれがどんな小さなものであらうとも、彼等は直に勞働者に向つて云ふ。「この黨の首領達は、諸君を肉彈にしようと欲つしてゐるのだ」と。

「……かくて資本主義の基礎を見張る忠實な番犬であり、國際聯盟の謳歌者であり、イギリス民主々義の讚美者であり、ボルシエビイキの偉大なる競爭者であるところのカウツキーは、やはりこの遣り口を用ひてゐるのである。カウツキーは、ボルシエビイキが「抑々初めから、プロレタリアーを自ら解放せしめる爲の何等の努力をしてゐない」と云つてゐる。

「……ちよつと何でもないやうだが、これは一體何を意味するか！（とブハーリンはつゞけて行く）それは黨が後の方にゐて、プロレタリアーの成功をたゞ喝采したり、その失敗を嘆いたりしてゐるだけでも、プロレタリアーは自らを解放し得るとでも云ふのか！」と。

云ふまでもなくこれは、戰鬪的マルキストとしてのブハーリンが、世界的ダラ幹の張本たる、第二インターナショナルの首領カアルカウツキーに投げ與へた言葉である。しかしながら、我が國の戰鬪的マルキスト？・は、此の世界的ダラ幹の張本人の第二インターナショナルの首領と同じ遣り口を取つてゐるから實に手が付けられない。

曾て、我が國無産階級陣營内の正統左翼分子は、其の正統派たらむが爲に、言ひ換へれば、階級的正道の爲に「敵の組織を崩壊せしめるための諸方法を、己れ自身の上に轉用してゐる」ところの、自稱戰鬪的マルキスト事、氣分

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

革命家達の世界の天上から、『階級意識に基く現實政策』――日勞黨結黨の宣言の一節――の下界に下つたとき、之等の戰闘的マルキシストは『反動的』『日和見』『裏切』等々とて、正統派たらんとする者を排撃し、追撃したのであつた。

かくして彼等は、下界の『不純分子』を排撃追撃しつゝも自らは、より『高き形態』へと昂揚しつゝ、下界の大衆の視野からは益々離れて、遠く雲間に隱れて仕舞つたのであつた。彼等が雲間に隱れて仕舞ふと、そのとき始めて、彼等の内の一部の者が、大衆から遠く離れてゐることに氣づいて『無條件合同』と云ふことを唱へ出したが、彼等の『委員長』は、無條件合同論に對して、自問自答せられて曰く

『……だがそうした議論には、幾らかでもの事實的基礎があるであらうか』と自ら問ひ、而して勇敢に、斷乎として『否！』と自ら答へられてゐる。

『彼等と合同することが、（と彼等の委員長はつゞけられる）吾黨――舊勞農黨――がその爲に一層有力になると云ふやうな、突拍子もないロジックには、我々は耳を藉すことが出來ない』とて、より高き形態への飛揚の舵は、容易に下げらる可くもなかつた。

府縣會選擧、衆議院議員選擧戰はやつて來た。彼等は雲間から下界に向つて戰宣を布告した。彼等の戰ひは上から**打ち下すのであるだけに見事であざやかなものであつた。**

けれども、雲間からの射撃だけに、隨分と味方にも彼等の彈丸は命中した。

やがて、低氣壓が各所に起つて、反動の嵐が吹いて來た。暴風雨は一樣に起つたものではあつたが、『高き形態』と云ふ雲間を飛んでいたゞけに彼等の損害は大きかつた。彼等は反動の嵐の爲に遂に墜落して仕舞つた。さきに天上から逸早く下界に下つた連中は、下界に居たゞけに、此の嵐には比較的損害は少かつた。此の『階級意識に基く現實派』以前に、もう一つお先に下界に下つた只の『現實派』なる通稱右翼と云ふところの一派は、下界に下つた歷史が古いだけに、既にそのときは避難所も出來てゐたゞけに此の嵐による被害は全くなく、寧ろ彼等は、此の嵐では反つて泥水に流されて來た大きな魚等を拾ひ取つた程に利益を齎したのであつた。

ところで『より高き形態』組の昂揚一派は雲間を飛んでいたゞけに、ひどい傷手を蒙り片方の翼をへし折られて文字通り、彼等の自稱通り『左翼』だけでは飛ぶことが出來ず、遂々下界に墜落したが、彼等は折がな暇がな、隙がな上天することを考へてゐる。しかしながら、嵐の爲に一番ひどい目に遭つた彼等は『左翼』と云ふ片翼だけでは容易に上天することが出來ないことを悟り、例の彼等の『委員長』をして『内外の諸條件は、もはや彼等――日和見や反動幹部を指す――を追撃する要はなくなつた』と云はしめて**『社會民主々義の批判の理由の保留』と云ふ只の『現**

實派」排撃の條件の下に、「階級意識に基く現實派」を上天する道連れにせんとして、「無條件合同」と云ふ會ては、「突拍子もないロジツクには、我々は耳を藉すことが出來ない」ことに屬して居つた事柄に、今では「彼等の委員長」始め大童となつて「耳を藉す」どころか、手も足も「誠意を認めてくれ」とて、腹わた迄も投げ出そうとしてゐる。ところが「階級意識に基く現實派」は、彼等の「無條件合同」の呼び聲に迂つかり乘れば又候「より高き形態」への雲間へお伴をせねばならぬので、揚げ舵を取らぬ約束で下界に踏み止まつてゐる性根を見屆けたら、呼び聲に應じようと言つてゐる。

しかしながら、天上生活の味の忘れられない氣分屋達は「不純分子」の多い下界に於て何時迄心棒が出來ようぞ。と云つて飛ぶには翼は折れてゐるし、「共同鬪爭」「勞農協議會」「新黨組織準備會」等の足つぎはあれども、「より高き形態」への雲間には到底屆きそうにもない。

ところが最近此の天上組の中から、大地に足を踏み占めようと云ふ一派が現れた。驚いたのは……と云ふより慌てたのは天上組だ、お手のもの、「指令」や「聲明書」を出す事、出す事、例に依つて「裏切」「反動」「分裂主義者」等々と盛り澤山の大安賣、術語用語は一切合切專賣品から輸入品迄取り揃へての總攻撃、彼等の「委員長」殿は聲明書を發して曰く

「無産大衆黨の結黨に依つて、我が新黨組織準備會は微動だもしない」云々と。

然り！ 眞實だ！ 微動だもしないとはよく白狀した。流石に一黨一派の領袖であつて正直である。反動の嵐に吹きまくられて、翼を折られて墜落してから「百千万回の結黨」はおろか、一度の結黨もしてゐない。勿論彼等に從へば、結黨して合法政黨として存在することは、武裝解除であり、降服することであるのだそうだが、それでは「微動だもしない」のでなくて、微動することも出來ないではないか。

それで、暴壓がどうの、日和見的戰術だ、誤謬を犯した彼等が合法政黨を要求するのは合法的以外に始めから何もしたことがないからだ、等々と努鳴つてゐるところは、恰度始めの方でブハーリンの言葉として揭げた「ボルシエビイキの競爭者で、資本主義の基礎を見張る忠實なる番犬である、世界的ダラ幹の、第二インターナショナルの領袖カアルカウツキーの遣り口」そつくりでちる。即ち「微動だもしない」……否出來ないでゐて「……それは黨が彷方にゐて、プロタリアーの成功をたゞ喝采したり、その失敗を嘆いたりしてゐるだけで、プロレタリアーは自らを解放し得るとでも云ふのか！」とブハリンに笑はれたお目出度さである。

彼等の見解によれば「解散」は鬪爭をした證據であつて「解散されない」のは始めから何にもしてゐない證據だそうだ。**してみると、彼の農民勞働黨は僅々迄三時間の間に大**

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

いに闘爭したものであつて、本年四月の勞働農民黨は、日本勞農黨、社會民衆黨、日本農民黨と等しく、始めから何もしてゐなかつたと云ふことになるが、吾々にはそんな理窟は到底分らない。勿論彼等は言ふであらう……否現に言つてゐる『彼等は合法政黨を要求するのは、合法的以外に何も始めからしてゐないからだ』と。

然らば彼等は、合法的以外の何を始めから行つて來たか先づ第一に秘密結社（これは今のところブルジョアーの宣傳だけで、果してどうだつたか分らない）即ち日本×××、第二に秘密出版と。之位ではないか……否々あるぞ！第三に選擧妨害だ。これこそ實に明かな何人によつても認められるところの不合法——所謂合法的以外の仕事の尤もなるものだ——行動である。しかも第二の秘密出版は、その多くは第三の選擧妨害の目的を以て爲されたものであるしかしながら彼等の中には第二の秘密出版について或は云ふだらう『選擧妨害ばかりではない、×××××の宣傳も大いに行つた』と。我々もそれは認める、けれども、そのことについては無產者新聞が、わざ〱號外迄出して『決して危險なものでない、穩健なものだ』と辯護した以上不合法行動とは云へない性質のものだ。しかも、その辯護の爲の號外には『勞農』雜誌一派の出張こそ治安維持法に觸れる可き危險なものだと雜誌『勞農』一派を內務省や、警視廳邊に暗に告發していたのであつた。これこそ實に『……ブルジョアーとその警察と、[illegible]、[illegible]家達が、久しい以前から、彼等の支配を脅かすところの黨の粉碎の爲に用ひたデマゴーグ的遣り口』でなくて何であらう。裏切でなくて何であらう。果又反動でなくて何であらう！。

今や彼等の階級的意識は『階級それ自體』から『それ自體のための階級』意識に迄昂揚し、無產階級がそれ自體をその目的のもとに政黨に結成し『すべての階級鬪爭は政治鬪爭だ』との理由を、誰よりも明瞭に把握してゐる筈の彼等が、かくも事實上に裏切反動の役目を演ずるのはそも何に所以するのであらうか？、吾々は彼等が常に裏切反動の役目を果し『資本主義の基礎を見張る番犬』であるが故に挑擊追擊して來たが、單に吾々は彼等を挑擊追擊するのみに止めず、吾々は進んで、何が故に彼等が反動化し、裏切をやるかを糾明せねばならない。

そこで……（筆者言ふ　此處迄書いてきたら、目下大阪に歸省中の東京本部の同人で、腕力鬪士の大谷久次君が、後の方から覗き込んでゐたが、やがて開口一番『分つてらアー—小ブルジョアー—インテリゲンチャー—の本質の故にさ』と言つたので、私は後を書く手間が省けたような氣になつたから、これで筆を止めることにした）

だが、もう一度ブハーリンの言葉を藉つて來よう。

『……ちよつとこれは何でもないようだが、これは一體何を意味するか？』と。

—（をはり）—

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

無產運動の發展策としての青年運動

上杉定義

一

最近における無產階級運動は、著るしく活氣を缺ぎ、極度の沈衰狀態を示してゐる。殊に左翼團體の解散後にあつては、無產大衆黨が勞農一派の人々によつて結成されたれども、未だ日淺く何等の具體的活動は展開されず、新黨組織準備會能く鬪ふと雖も、合法性を失つてよりは見るべき運動を成す事能はず、我國無產階級の最大要望を擔ひつゝある日本勞農黨は、これが發展勇躍の重大なる任務を課せられてゐるにもかゝわらず、勞農黨の解散以後にあつては昔日の面影なく、對立抗爭の必要を失つて以來日勞黨の紳士諸君は「萬事終れり」と思つてか充ての活動を休止したかの觀を呈してゐる。これは一つには愈々奇怪なる反動ぶりを發揮して來た田中內閣の攻勢にもよるけれども我々がその暴壓を打越へて勇敢なる鬪爭を成す所に新興階級の使命はある。現在の如き狀態の打開のために最近掲げられて來たのは青年問題であつて、青年運動のみこの難關を能く切り拔けて行くであらう。我國においては青年問題は案外等閑に附せられ勝ちであつて青年同盟の組織されたのは、舊勞農黨系に屬する全日本無產青年同盟が大正十四年に成立されたのみで、これも過般の共產黨事件に關聯して反動政府の兇刄に倒れ、現に存在してゐるものは社會民衆黨系の社會青年同盟準備會のみであつて、これも數ケ月前に企圖されたばかりで構成員も未だ餘りに少なく、今後の發展を待つべきであり、全國的組織をもつものは、我國には存在してゐない。勿論、農民組合內の青年部、勞働組合における青年前衛隊の如く、無產青年を主體とする團體の無い譯ではなかつたが、これとても餘り目覺ましい活動を成した事を聞かない。要するに我國の青年運動は未だ搖籃時代であつてそれ丈け今後における期待も大きいのである。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

二

先づ始めに當つて讀者の參考のために、舊全日本無產青年同盟の運動を批判し、次に一般論に入る事にする。從來我國においては大衆的青年運動はなく、前衛的青年の結合よりなる團體によつて、單に思想の研究と教育的方面に限定された觀念的な運動が行はれて來たのであつたが、一九二七年に至つて始めて大衆的組織を標榜した無產青年同盟の結成があつた。これは我國の青年運動史上における一時期を畫する重大な意義あるものであつたが、この青年同盟も未だ完全に過古の誤謬より脫する事能はず、その構成は一般的青年運動と前衛的であつて青年運動の特殊的意義とを混同した畸形的な組織體であつて依然として實際運動の圈外にあつたと言ひ得られる。これは青年の最も犯し易い心理的作用も大いに含まれてはゐるが、我國の極左の人々が犯したと同じ誤謬、即ち我國の資本主義發展の段階の認識の不足より生じたものであつた。舊全日本無產青年同盟の最後における活動を見るにそれは共產青年同盟の役割を果さんとする焦慮の跡が歷然として見へるのである。共產青年同盟の活動のためにはその背後に强大なる×××の援助がなくてはならないにもかゝわらず、我國には未だかゝる强大な鬪爭力をもつ×××は不幸にして存在しない。そこに全日本無產青年同盟の戰術の誤りがあつたのである。この前衛的任務と大衆的任務の混同による指導精神の誤謬に對しては、餘りに幾多の人によつて述べ盡され、讀者諸君も中毒する程聞かれた事であらうから、再論を避けるが、舊無產青年同盟はこの誤謬より脫する事が出來ず、遂に倒れたのであつた。舊無產青年同盟はこの危險を實際に經驗し、今後における青年運動に對して活教訓を與へた點において、その意義が認められる。

三

かくの如く過古において苦々しき失敗の跡を殘した我國の青年運動は決して從來の如き誤謬を犯してはならない。これより組織される所の青年同盟は、從來の如く共產青年同盟の如きものでなく、最も大きな抱擁力をもつ所の一般的な青年同盟でなくては、この沈衰狀態を挽回する所の重大なる役割を果す事は出來ない。そしてかゝる大衆的な青年同盟こそ現段階に適應したものであり、それ故に最も急速な發展性がある。かゝる意識のもとに、今後の鬪爭は進めて行かれなくてはならないのであつて、以下私は斯うした見解をもつて論を進めて行くであらう。青年運動がいかに重大な意義をもつてゐるかわ「青年を握れるものが××を握る」といふリープクネヒトの言によつても明かな如く、青年は鬪爭意識の强烈なる點において絕對に其の比を見ないのである。そこにブルヂョアジーとプロレタリアートの間に青年の爭奪戰が常に行はれてゐるのである。この强大な鬪爭力をもつ青年運動も、決して一個獨立した

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

所謂の團體ではなくして當然他の無産運動の中に抱含せられるものであつて、只その一部隊としての任務を遂行する團體に過ぎない。然しながら一般勞働者とプロレタリア青年は現在の資本主義社會にあつては特殊的な地位にあり、そこに青年運動の特殊的な存在の意義があるのである。プロレタリア青年は、成年勞働者に比して劣惡な賃金と長い勞働時間をもつて、強烈な搾取の對照とされるのであつて、そのためにブルヂョアジーは學校、青年團、青年訓練所を通じて系統的な奴隷教育を施し、プロレタリア青年をして軍國主義の肉體的對照たらしめる。以上の諸問題をもつてしても青年運動の特殊的存在の意義は充分に認める事が出來る。青年問題を論ずるに當つて、都合上政治問題、經濟問題、軍國主義、教育問題等別々に述べるであらう。

四

資本主義の制度の下にあつて最も悲慘の境遇にあるものはプロレタリア青年である。殊に現在の如く、恐慌後にあつて大資本によつて中小資本が併呑されて來るに從つてプロレタリア青年は益々苦境のどん底に突き落される。資本主義の行詰りと同時に、何等かの方法をもつて自らの階級の利益を圖らんとするブルヂョアジーは青少年勞働者を使用する事によつて打開する事を知つた。青少年勞働者を最も低廉なる賃金のもとに長時間酷使する事によつて成年勞働者の賃金を益々低下せしめ、そのために成年勞働者は青少年勞働者のために仕事を奪はれ、そこに兩者の間に激烈なる職業の爭奪戰が行はれる。ブルヂョアジーはこの成年勞働者と青少年勞働者との間の鬪爭を激成せしめる事によつて、益々利潤を得る事に務めるのである。斯うしたブルヂョアジーに欺瞞された青少年勞働者は段々と過激の勞働と榮養不良のために、精神的にも、肉體的にも完全に破壞されるのである。成年勞働者は青少年勞働者のために職を奪はれ、或は最も低廉の賃金に強制的に甘ぜしめられ、悲慘の生活の基に泣かねばならぬ。かくして勞働階級は益々生活水準を低下させるのみである。我々は然らばこれに對して如何に鬪ふべきであらうか。青少年の夜業禁止、健康に有害なる産業に使用禁止、職業教育、最低賃金の制定、年四週間の休養等々の要求をもつて成年勞働者と共に、竝立して戰ふことによつてブルヂョアの青少年勞働者と成年勞働者を分割せんとする欺瞞政策を暴露し、それによつてのみその目的は達成されるのである。

五

我國における一般青年は滿二十五歳迄はブルヂョアデモクラシーのための總選擧に參加する事を許されず、充ての政治的權利を剝奪されてゐる。そのために我國の青年は政治團體の結成も政治的集合にも參加する事を法律をもつて禁止されてゐる。この政治的權利の剝奪は無産青年のみ、最も大きな損失を受くるものであつて、ブルヂョア青年は

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

決してこれがために損失を受くるものではない。一度無産青年の手に政治的權利を獲得した時は、舊き政治形態を必ず變革せずには置かないため、ブルヂョアジーは「青年は學ぶべきであつて決して實際闘爭に參加すべきものではない」とのお題目をもつて、無産青年の社會的諸現像と諸經驗とによつて、××的な青年運動の轉換を防ぐために努力するに對して、ブルヂョア青年も協力して自己の地位の保持に務める。かるが故にブルヂョア青年には政治的權利の必要はないのである。昨年の府縣會選擧において大阪朝日が「青年に支援された無産黨の候補」と題して青年の政治的自覺の偉大さに驚異してゐたのであつたが、この青年の政治的自覺に恐怖しだブルヂョアジーは今春の總選擧に際して、全國一万六千の青年團に對して、大日本聯合會井上理事長の名によつて「總選擧に直面して青年團の採るべき態度」につひて左の如き聲明書を發した。「我國の青年團は善良なる公民、健全なる國民たるの素養を得る事に務め、政治運動の如き黨派的、階級的に相爭ひ相排するが如き、實際運動に參加すべきではない。」

以上は井上理事長の發した聲明書の主要部分のみであるが、斯の如き手段によつて青年の政治闘爭の參加を防止し、傍ら田澤丸山の兩理事の立候補斷念の如きによつて表面一般の誤解を防ぐものであるの口實をもつて、意識水準の低い一般無産青年の政治的自覺を鈍らせたのである。ブルヂョア青年とプロレタイア青年が其の利害關係において決して一致するものでなく、從つてブルヂョアジーによつて組織された官僚的青年團の理事長が如何に大聲叱呼すると雖も、この階級的、黨派的政治闘爭が終熄するものでなく、プロレタリヤ青年がこれを蹴飛して自らの階級、自らの政黨のために闘ふのは餘りに當然であるが、未だ一般に階級意識に自覺せざる無産青年には、この井上理事長の世迷言も效果を發するのである。もしこの世迷言を飛越へて我々の代表者を應援するものは、難解なる普選法をもつて從屬關係の如き罪名の下に、我々の闘爭場裡より戰闘的青年闘士を奪ひ去るのである。かゝるブルヂョアジーの反動的手段に對しては、先づ官僚青年團の中に抱合されてゐる無産青年を我々の陣營に導く事によつて二十歳以上の青年男女の選擧權の獲得のための闘爭を展開し、無産階級的政治の確立のための原動力たらしめねばならない。

六

私は各國の帝國主義政策に對しては、本誌の時評欄において數回に亙つて論じて來たのであるが、最近に至つては特にその傾向が濃厚となり、第二次世界戰爭の危機が孕まれて來た。田中内閣の外交政策の失敗は支那問題を中心として、日米間の國際關係に險惡なる空氣を漲らしめ、苦々しきブルヂョアの利權の爭奪戰の準備が整へられて來つゝある。この軍國主義に對する闘爭は、青年運動の中心闘爭題目とも言ふべき重要さがある。資本主義の制度の存續

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

のためには、戰爭は必然的のものであつて、又不可避的である。資本主義社會は戰爭を必要とする論理の上に立てられてゐるが故に、戰爭によつて一つの國家が轉覆すると共に戰勝國家間に變化を生じて再獲得物分配のため新らしい戰爭が始まる。かくして資本主義の存續する限り戰爭の絕へる事はない。然しながらブルヂョアジーは自己のこの醜態を覆ふために、表面は國家主義の美名の下に、擧國一致無產靑年を戰爭のために動員するのである。平時にあつては平和主義を唱へて軍備縮少、不戰條約の如きを提唱すれども、軍備縮少會議にあつては、ロシヤ代表のためにこの帝國主義者の平和論を徹底的に暴露され、それに代ふるに軍備の全廢案を提出されて、全世界の帝國主義者の顏色を失わしめた。米國のケロツグ氏の不戰條約も自衞權問題において馬脚を現し、ブルヂョア新聞すら「從來の戰爭において各國が自衞のためと謂ふ題目を使用せず、戰端を開始した事があらふか」と評してゐる。帝國主義間の戰爭は常に國家自衞の名の基に開始されるのであつてブルヂョアジーの平和論もかゝる意識の上に、健てられるが故に、千度平和論を唱へても何等の效果もない。見よ、口に平和論を叫ぶ××帝國主義國は、頻々として大演習を行ひ、大阪を闇とした空中模擬戰爭の光影の如きは如何に口を極めて民衆を欺瞞せんとしてもこの事實を覆ふ事は出來ない。無產靑年をして軍國主義化を圖るために、靑年團、靑年訓練所等を通じて、第二の世界戰爭に備へんとしてゐるではないか。この最も慘酷を極める帝國主義戰爭によつて、多大なる利權を獲得するものは、帝國主義ブルヂョアジーであつて、このために生命を犧牲にして、互に他國の無產階級を傷け、同胞相喰むの愚を演じ、帝國主義の前に肉體的對照となるものは無產階級靑年である。この軍國主義政策に對しては、全世界のプロレタリア靑年は協力して抗爭すべきであり、反軍國主義鬪爭のスローガンの下には、靑年プロレタリアを動員する偉大なる力が潜まれてゐる。

七

未だ充分に述べ盡されないが、餘りに長くなるために敎育問題を簡單に述べて結論を急がう。經濟鬪爭、政治鬪爭反軍國主義への鬪爭を完全に遂行するためには、先づ一般無產靑年に對して、階級意識を把握せしめなくてはならない。そこにプロレタリア敎育の必要が必然に生じて來るのである。プロレタリア敎育によつてのみ、故もこれ等の鬪爭に一般プロレタリア靑年を動員することが出來る。我々の敎育は、前に述べた如く「學ぶべきであつて戰ふべきでない」の指導方針と根本的に異り、實踐的活動と理論的敎育の結合によつて初めてその目的は達成されるのである。ブルヂョアジーが智識を目して特權となして、プロタリアの敎育機會を奪ふ事は餘りに當然の事ではある。一社會の內にあつては智識を獲得したものは、充ての階級を征服する事が出來る。ブルヂョアが智識を獲得した時、それはプロレタリ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

アを壓迫する武器となる。プロレタリアが智識を獲得した時において初めて社會の進化法則を知り、觀念が社會制度を變革するものでなく、實在が思惟を決定する事を教えられ、ブルヂョアジーの强さ——即ち資本主義社會の現段階——を認識し、それによつて資本主義××の武器とするのである。教育は資本主義に對して如何に闘ふかの戰術を決定するために重大なる使命があるが故に、特にマルキスト理論家は、プロレタリア教育を重大視し、これに對して力を注ぐのである。勿論我々の教育は、實踐的經驗の理論的一般化でなくてはならず、充ての發展過程を物語る社會科學は如何なる場合も、教育的任務の旋回者となるのである即ち、マルクス主義的方法、辯證法的唯物論の方法をプロレタリア青年自らのものとして把握しなくてはならない。然らば果してプロレタリア教育を完全に青年プロレタリアのものとするには如何なる方法によつて成されねばならないか。これは從來ブルヂョア教育に毒されてゐる一般プロレタリア青年に對しては、決定的な重大な問題である。プロレタリア意識を未だ把握しない意識水準の低い青少年を對照とする教育なるが故に、最も單純なもの、即ち工場、學校、家庭、農園の如く常に接觸する明白なる事實の上に建つたものより、漸時復雜のものに移されなくてはならない。それと同時に青年プロレタリアの心理的特殊性に對して美術、文學等の智識の魅惑的方面よりもこれを廣める事も必要である。この手段としては、講習會、研究會、討論會等の機關を利用すると共に、レポート、記事、壁新聞の如きを共同して書くが如きは最も能き方法であらう。

八

青年をもつものは、××をもつものであり、青年をもつものは、未來をもつものである。即ち現在の沈衰状態を打開するものも、又青年の力である。要するに大衆的青年同盟が、前述の如き概念の基に指導し、經濟闘爭、政治闘爭反軍國主義等の闘爭題目の下に勇敢なる闘爭を續ける時我國の青年運動は始めて正しき軌道を走る事が出來るのである。勿論青年運動は資本主義の搾取よりプロレタリア××の長き苦難の途上において、更にプロレタリア社會の健設の過程において大なる困難に遭遇せねばならないであらふ。然しながら、斯る苦難の闘爭を最も執拗に成す事によつて、青年運動は初めて强固なる基礎の上に健てられ無産運動の前衛的役割を果すのである。今や老衰幹部によつて漸く遲緩して來た我國の運動も、青年の勇敢なる闘爭によつて、ブルヂョアジーを恐怖せしめずにはおかないであらう。青年問題は餘りに老大の問題であつて、充分に述べ盡されなかつた恨みはあるが緊急を要する問題であるので簡單に述べ、粗雜に流れた點は讀者諸君の寛恕を乞ひ、何れ後日何かの機會に詳論する事とする。(八月十日)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

資料

○無産黨合同の具體的方法……………………日本勞農黨
○京都西陣準備會の解散と日勞黨加盟聲明……………京都西陣地方準備會
○立入禁止反對の抗議書……………………全國農民團體會議
○對支干渉に對する聲明書……………………無産大衆黨
○同……………………………………………社會民衆黨

無産黨合同の具體的方法

過般大阪に於て無産政黨の統一を標榜して社民、日勞、舊勞農黨各黨有志によつて組織された政治研究教育會が無産政黨合同に關する吾黨の態度、並に合同の具體方策如何の回答を求めて來たのでそれに對し日本勞農黨は左の如く回答した、

一、無産政黨合同に贊成である。

二、(イ)合同は即時。既に結黨せる合法的政黨に關する限り合同に關して無條件である。

(ロ)合同時期尚早に非ず。緊急を要す。

(ハ)具體的方法。

(A)舊勞農黨方面で結黨せる地方政黨、在來の地方政黨、社民黨及吾黨を打つて一丸とする一大大衆黨を再建せんとするにある。この中にて贊成の部分のみにても結黨せねばならぬ程に合同は緊急を要すると考へる。

(B)舊勞農黨幹部の方針の如く『他黨をつぶしてとる或は他黨の幹部を排撃して大衆のみをとる』といふ方法には反對であり同時にそれは空想なりと考へる。吾黨は合法政黨を相互ありのまゝに合同せんとする。他黨の幹部にして合同に反對するもこれをその大衆に排撃せんことを要求するに非ずしてその幹部をして合同に贊成せ

時事日誌

七月廿一日(土)
日本政府不戰條約締結に無條件贊成の旨通告
張學良日本の警告により國民政府との妥協を取消し、內政干渉の聲高し。

七月廿二日(日)
本郷基督教青年會館に無産大衆黨結黨式を舉ぐ、

七月廿三日(月)
獨乙バヴリヤに於てファシストの示威運動あり。共産黨員之に投石し亂鬪起り死傷五十餘名、

七月廿四日(火)
本日より四日間於上海反日大會開催。

七月廿五日(水)
支那關稅自主を承認する旨の米支條約拔驅的に締結調印を了す

七月廿七日(金)
富山縣三日市滑川等に富山電氣株式會社に對する料金値下爭議起る。

七月廿九日(日)

しむる樣努力せんことを求める。

（C）所謂共同闘爭の方法は反て混亂を起す故に他黨の闘爭の場合は指導權を他黨に確保せしめて好意的の應援闘爭によつて相互が接近し吾黨のは他黨に機會を與へる方法を採る。特に幹部同志でも大衆同志でも接近の機會を作つて相互了解をなすこと。新黨の綱領其他は在來の黨の綱領の共通點をとつて作ること。

京都西陣準備會の解散と日勞黨加盟聲明

かつて舊勞農黨を甚だしく毒し、戰線を攪亂し來つた極左翼一派は、、京都地方に於いても亦全國の彼等と共に、舊黨解散後依然としてその非を改めざるばかりか却つて益々反動的にその極左的、宗派的本性を發揮しつゝある。彼等は再建問題のためには、何等積極的方針を建て得ず常に舊幹部派の無定見なる極左的政策に追隨し、ひたすら急激に崩壞し行く自己の勢力の維持にのみ狂奔しつゝある。例へば彼等は始終我等反對派の中傷、逆宣傳を行ひ、大衆との分裂策を弄し、或は舊黨支持團體たりし元評議會加盟各組合の事務所を組合に無斷で移轉し、組合財產を横領し組合名を僞稱する等、あらゆる陰謀と策動をつゞけつゝあるのである、また彼等は去る九日我等反對派を排除して既に有名無實となれる彼等の「準備會」を再組織し、舊幹部派の所謂「新勞農黨準備會本部」の統制に服し速かに結黨して日勞黨と合同すべきことを申し合せた。だがそれは明白に急激なる舊黨員の離反を喰ひ留めんがための全然實行不可能なる彼等の策略に過ぎぬ。今や彼等極左の勢力は全國的に崩壞し、舊黨員大衆は各地に於て彼等に對立して、戰線統一の前提として地方政黨を結成し、或は他の無產政黨に加盟しつゝある。舊幹部派のお膝元に於ける「無產大衆黨」の結成の如き、その好適例である。

當地方に於ける舊黨反極左派によつて成る「西陣準備會」は、舊黨解散以來全舊黨員が一致して再建に向つて進まんことを熱望し、極左一派にその誤謬の清算を促し、

舊評議會關東所屬組合は全國單一勞働組合總聯合關東地方協議會の名の下に第一回大會を本所公會堂に開催三分間にして解散を命せらる。

犯罪都市集中傾向著しく長野縣飯田刑務所に囚人なし。

日本通信從業員聯合大會上野自治會館に開催、二十四時間勤務制廢止を決議す。

七月卅日（月）

サヴエートロシヤ富くじ付内債五億留公募の旨發表す。

七月卅一日（火）

海軍勞働組合聯盟中央委員會社民黨との合同を決議す。

八月一日（水）

床次竹次郎氏民政黨を脫し舊本黨系を糾合新黨組織に着手す。

八月二日（木）

英國マンチエスター紡績聯合會加盟會社はラムゼー紡績罷業價厭策として勞働者五十萬人のロツク、アウトを入月入日を期し決行の所本日爭議解決す。

今日まで最善の努力をつゞけて來たのであるが、以上の如き彼等の態度によつて、今や彼等とは絶對に相容るゝ能はざることが明白となつた、これ茲に我等が極左一派と一切の關係を斷ち、その所信に向つて猛進すべく斷然決意するに至つた所以である。即ち我等は極左宗派主義を徹底的に排撃して速かに合法的組織を持ち、大衆の政治的利益の擁護に當ると共に、萬難を排して一路戰線統一に向つて猛進せんとするものである、然して我等は當地方に於ける現下の情勢は、地方政黨を組織するよりも、寧ろ他の無産政黨に加盟するを以て有利なりと考へる。かくて我等は、現在各無産政黨中、比較的最も忠實に、無産階級の利益を代表し、統一戰線のために奮鬪しつゝある日本勞農黨に加盟し同黨の當地方に於ける黨員と協力して、有力なる支部を創立し同黨の統制の下に同黨を通じて、その目的貫徹のために適進すべく、茲に「西陣地方準備會」を解散する次第である。

昭和三年七月十八日

京都西陣地方準備會

立入禁止反對の抗議書

農村小作爭議が何故頻發するかと云ふが如き問題は今更茲に喋々する迄もない、然るに地主は小作人に對し小作料完納の一片の催告書を發して債務不履行土地賃貸借契約解除と稱しこの小作人の土地に對し立入禁止假處分の申請をなし來ること、近來に到つて益々甚だしいものがある。乍然かゝる假處分が小作農民に對し如何に暴擧であるかは蓋し言語の外である。小作人は昨日迄自己の丹精せる土地に對し今日は一歩も足を入ることを禁ぜられて耕すべき土地を奪はれて小作人と其の一家は何に據つて生計を爲すべきであるか實に立禁處分は小作人一家の生命をも奪はんとする刑罰の如きものである。然るに裁判所はかゝる事實重大な影響を及ぼすべき假處分申請に際し多くの場合は一回の口頭辯論をも開かずして惟々諾々として之を許す官廳は其の執行を完からんが爲、あらゆる努力を惜まなかつたのではないけれ共、斯の如き裁判官廳の

八月三日(金)
社外船員最低賃銀制不履行に就き栗林汽船々員爭議開始

八月八日(水)
支那第五次全體會議南京に開催
林權助大使をして張學良に南北妥協を中止せしむべく强硬なる勧告をなさしむ、
東京モス龜戸工場は請負賃銀準八厘値下に反對、爭議を起す。

八月十日(金)
北海道々會議員選擧施行(政友二七、民政二四、中立六)無産黨全部落選、

八月十一日(土)
東京モス爭議解決。
東京市會板舟權補償問題に疑獄起る。

八月十二日(日)
富山縣電氣爭議同盟會は知事一任の調停案を拒絕し決裂す。

八月十三日(月)
南京事件解決に關する英支協定成立、賠償金一千萬元英國鐵道勞働組合、四大鐵道會社と勞銀

態度は徒らに地主を擁護し小作人を害せんとするに外ならない、成る程冷やかな法律の論理は地主に權利あり小作人は之れに異議を謂ふべき理由なし、若しあらば法律的に之を唱へて壓迫を行ひ爭へば可なりとなすであらう、乍然窮乏の底に痛く逼迫せる苦痛により小作人の眞實の生活に就ては實に恬として一顧だになさぬ態度ではないかのみならず立禁處分を爲す地主の其の意圖は小作人が據りて以て目的の向上を計らんとする唯一の道程たる組合運動を根本的に破壞し小作人をして永久に地主の隷屬のもとに屈服せしめんとするにあり、然らば裁判所官廳と結果に於て地主の意圖の協力者に外ならぬではないか、吾等全國の各農民團體及び各勞農政黨の代表茲に相寄り立入禁止假處分の如き暴擧に反對するが爲に飽まで鬪爭を敢行せんことを盟約するに當り關係諸官廳の諸公が眞に思ひを致し從來の態度を一變されんことを要請す。

昭和三年七月二十三日

全國農民團體會議

中部農民組合　日本農民組合總同盟
東海農民組合　中央日本農民組合
全國農民組合　上下農民組合
社會民衆黨　日本勞農黨
無産大衆黨　新黨組織準備會

無産大衆黨の對支干渉に對する聲明書

一、支那のブルジョア革命を、一應完成し得たところの國民政府は、帝國主義ブルヂョアジー諸國との政治的經濟的利害の新なる關係の設定を全世界に提議した。帝國主義ブルジョアジー諸國は、支那との利害の新なる關係を自國にとつて有利に展開すべく、今や虎視眈々たるものがある。

二、わが帝國主義ブルジョアジーは、滿蒙における三井、滿鐵、大倉、安田の財閥並に原料と販路を滿蒙に依存する、その他のブルジョア群の利害の動搖と安全をひた

二、五パーセレ引下協定成立、向一ヶ年實施。

八月十四日(火)
全國農民團體會議名古屋に開催
山形縣に電氣爭議起る。

八月十五日(水)
支那第五次全體會議終了、共産派擡頭す、賀川豐彦氏等全國非戰同盟を結成す。

八月十六日(木)
第六師團山東派遣軍撤兵。
支那黒龍江省の北部コロンバイルに獨立運動起る。

八月十七日(金)
閻錫山北京の工人會(勞働組合)に共産黨彈壓を目的として解散を命ず。

八月十九日(日)
東京市疑獄進展、日勞黨社民黨糾彈に起つ。
全國勞働組合會議第二回準備會大阪に開會。

八月二十日(月)
富山縣電氣爭議滑川を除き解決す。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

すら確保するために、國民政府による支那統一の内政に武力的干渉を敢て爲した。彼等の意圖が、わが武力の保護の下に、東三省王國を建設せしめ、その貢納を期待するにあるは明白である。

此のことは、支那の民衆に對する戰爭を準備し、虎視眈々たる帝國主義諸國との世界戰爭を準備するものでなければならぬ。

三、わが無產大衆黨は、わが民衆を支那民衆との戰爭、世界戰爭に投げこまんとする一切の企てに反對する、支那の統一を妨げて、東三省王國を建設せんとするあらゆる干渉に反對する。

しかして、わが民衆と、支那民衆との基礎の上に、新なる平等の國際關係を設定せんことを要求する。

わが無產大衆黨は、日勞黨、社民黨との協力によつて、無產大衆の最前線に起つであらう。

昭和三年七月二十五日　　無產大衆黨

社會民衆黨の對支政策に關する聲明書

支那が半殖民地の狀態に置かれ、世界列強の資本と武力との暴戾なる壓迫下に虐げられつゝあることは、支那民族自體の正當なる存立と發展との障害たるばかりでなく隣國たる日本の國際的存立に對する根本的不安の原因であり、且又、世界平和の根底に横たはる暗礁でなければならぬ。故に支那民衆が三民主義による統一的國家改造を斷行して、其の自主的生存權を確保することは當然の大勢と見すべきであつて、日本が此の大勢の進展を理解し且つ援助し以て日支の緊密なる共存共榮の連繫を確立することは、たゞに日支兩國が世界的存立を強固ならしめ得るに止まらず、進んでは東洋各被壓迫民族の解放を實現し、眞實にして公平なる世界的平和の建設に貢献する所以であると確信する。

進め社だより

富山電氣爭議の時、進め社は直ちに富山縣支局に激勵電報を打つて、積極的參加を希望した。

トミデンニシストモクツセズプロノイリヨクヲシメセススメシヤ

ところが四五日たつて、東京日比谷署から呼び出して來たのでM君が出頭すると、署長が下らぬ事を云ひ出した。

『あんな、過激な事をして貰ふと實に困る。今迄、進め社は勞農黨と竝んでゐても、取締りを寛大にしてをつたが、こんな事をして貰ふと、今後勞農黨と同じい樣に取締らねばならん』と。

諸君、考へて見ろ、進め社の電報の何處が社會の安寧に觸れると云ふのだ。

富山縣の大衆が生活權擁護の爲めに、横暴なる電氣會社と戰つてゐる時、常に大衆の爲めに戰つてゐる進め社が同地の支局に向つて大衆の爲めに先頭に立てと激勵したのが何故惡い。

こゝに警察の階級性がはつきり分るのだ。彼等の惡いと云ふのは富山電氣會社といふ資本家及び全國的電氣トラストの爲めに惡いと

吾等はかゝる見地よりして日支條約改訂問題に對しては、日本は自ら進んで改訂の誠意を示し、法權、税權等の回復に對しても、日本は率先して列強を指導するの態度を取るべきであり、條約の末節を以て支那側の條約破棄を云々し、威嚇を以て其の存續を企圖するが如きは、此の重大なる國際政局に處する日本國家の方針として時代錯誤の甚だしきものでなければならぬ。

又最近日本政府の行ひたる警告に至りては、これ明かに一個の内政干渉であつて南北の合理的妥協の形勢に對し、故意に之を阻止せんとする大勢逆行の不法行爲でなければならぬ。

思ふに從來久しきに亘つて我が支配階級は、正しき自覺に基く支那民族の自主的統一を欲つせず、陰に陽に之を妨害し來つたことは明かなる事實であつて、今回の警告の如きも、その傳統政策の一表現たる南北分裂政策の發露でなければならぬ。斯くの如き政策は支那民衆をして東三省を日本の保護領たらしめんとするかの如き疑惑を生ぜしめ、日本支配階級による對支干渉の惡印象を益々深刻化する外何等の效果無きものなることを斷言する。

吾等は茲に斷乎として聲明する。日本政府は現下の重大なる東洋政局に鑑み、我國傳來の誤れる對支政策を根本的に猛省し、一切の行き懸りを一擲し、支那民族の自主的統一運動を理解し、且つ助長しなければならぬ。しかも日本の東亞に於ける重要なる國家的地位を考慮し、むしろ列國に率先し且つ指導して、支那更生の大勢に協力し以て東亞政局に一大光明を投ずる決意がなければならぬ。

吾等は刻下の支那問題が極めて重大化しつゝあるを衷心より憂慮するが故に、我が政府に向つて、對支方針の根本的轉換を要求するものである。

一九二八年七月二十六日

社會民衆黨中央執行委員會

云ふのだ。

食はせろ、働かせろ、電燈料を値下げしろ……こう云つて叫んでゐる民衆の運動をたゞ一個の資本家の爲めに彈壓するところの警察の正體は警察の目的であると云ふ社會全體の安寧の爲めにの存在を通り越して、忠實な資本家の番頭となつてゐるのだ。

諸君、しかし、未來は吾等のものだ。理想は進め讀者の手にあるのだ。

しつかり、やらう。握手しよう。

[勞]勞農戰線の進出的再從の爲めに「無産大衆黨」が生れた事は、戰線統一の爲めに戰ひつゝある日本勞農黨の大いに祝すべき事ではある。

しかしながら、その盟友の出現の爲めに、自己といふものを沒却させて了ふ事は惡い事だ。即ち無産大衆黨の出現の爲めに、日本勞農黨がその後に追隨し、へりくだる必要は毫も無いのだ。

日本勞農黨の機關紙「日勞新聞」の八月號を見ろ、まるで日勞新聞が、日勞黨の機關紙か、又は無産大衆黨の機關紙であるのか、さつぱり見當がつかぬ。

日勞新聞よ、もう少ししつかり編輯しないと人に笑はれますぜ。

無産階級當面の任務

羽田光雄

（一）

日本無産階級は先づ何よりも、戰線の擴大と强力な日常鬪爭の展開をする爲めに、合法政黨が絶對に必要であるといふ確信をもたなければならない。荒れ狂ふ反動の波、就中、舊勞働農民黨が解散されてより猛烈の度を加へ來たつた彈壓の魔手と戰ふ爲めに、合法政黨の必要性は、眞に戰鬪的な勞農階級のひとしく要望してゐるところである。

合法政黨の必要といふ聲は、舊勞農黨解散以前においては論じられた問題ではなかつた。何人もが當然な事として受け入れてゐたからである。然るにこの問題が、問題にされる樣になつたのは、舊勞農黨が解散されてから、舊勞農黨、今の新黨組織準備會の中に、合法政黨を事實上否認する樣な傾向が強くなつて來たからである。この傾向は、**戰線の混亂をふかからしめ、大衆の離散をもたらし、小數**派運動への進展であり、眞に强力な左翼的運動の退却を意味する、

この傾向と戰ふ事は、無産運動の强力な進展を促進するものであり戰線統一の爲めに邁進する事である。されば日本無産階級の上に課せられた最重要な任務たるや明かである。

（二）

では新黨組織準備會は、この合法政黨の獲得に就いてどんな態度をとりつゝあるか。先づ勞働農民新聞、無産者新聞をもつて語らしめよ。——

「さきに吾々は、わが準備會が會員獲得鬪爭の全國的組織に進出し、この鬪爭を通じて結黨を實現する事が可能であり、且必須である事を認め、まづ會員獲得鬪爭週間を計畫したのであつた。」

「それ故にこそ、わが準備會はあらゆる社會民主主義者の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

退却論にも拘らず、斷乎として反動政治と戰ひをつゞけ、支配階級が認めると否とに拘らず、嚴然たる勞農大衆の一戰線を築きあげ、今將にこれが公黨としての合法性の獲得に向つて進まんとしてゐるのである。」

「戰鬪的大衆黨の合法性を要求し、その結黨の準備を進め行くには、吾が準備會は以下の如き明確な目標をもつそれは、第一に各黨派並びに未組織大衆をより容易に、より速かに政治的に結成し、第二に勞農政黨の合同運動の進展を一層容易ならしめ、第三に日和見主義や合法主義者の地方黨組織や、その他の非階級的陰謀を打破せんが爲めである。」（勞農新聞第五十七號社說）

以上によつて新黨準備會が合法政黨再健の必要を高調してゐる事が發見出來る。

然らば、如何にしての問題にふれて見なければならないこの問題を通じて、準備會の合法性獲得の方法が事實上不可能なものである事が發見される。

即ち曰く、「支配階級が認めると否とに拘らず、嚴然たる勞農大衆の一戰線を築きあげ、」「彼等の如何なる彈壓にも揺がざる戰鬪的組織を作りあげ解散命令を一片の空文たらしめる事だ。（中略）吾々の陣容が強まつてこそその合法性は戰ひ取れるのだ。」（勞農新聞五十三號社說）

然して其の實例として

「見よ獨逸の赤色戰士同盟は政府の解散命令に抗し、ベルリンに十五万人の大示威運動をして、遂に最高法院をして禁止取消をなさしめたではないか」（新黨準備會の檄六月廿日）

と。

その心事や洵に悲壯である。然しながら、彼等の夢見る禁止取消は遺憾ながらベルリンである。吾が東京においては、勞農黨解散の時、又新黨準備會の勞働農民黨結社禁止取消請求行政裁判の時においてすら、無產者新聞の幻想せるゼネラルストライキや示威運動が捲きおこつたか、客觀的狀勢を正しく認識するものにとつては、彼等の態度は餘りに小兒病的であつた。出來ない事をしようとする者であつた。この再健方法では何時まで立つても合法性は戰ひ取れない。

三

では勞農黨再健に就いての反幹部派の態度を見よう。

すでに反幹部派は無產大衆黨を結成した。

曰く、「舊勞働農民黨々員諸君

政治的日常鬪爭機關としての勞農黨を奪はれてから、日常鬪爭は全國的に休止した。

此の結果は何をもたらしたか。

一般の大衆は政黨中立から政治中立へ、さらに政治的無關心に陷入つた。組合運動の鬪爭力は萎縮した。その間隙に

乘じて右翼化の傾向は彌漫し、支配階級の彈壓は加重されたのである。

舊勞働農民黨黨員諸君

かゝる傾向と戰ひ、彈壓と有效的に抗爭するには、眞に大衆的鬪爭による外はない。しかも政治的日常鬪爭の機關を缺く限り、無產大衆鬪爭に動員するの困難なるは見易い

新黨準備會の所謂大衆鬪爭の失敗は實に之を示してゐる。而して大衆を眞に動員し得るかゝる機關は少くとも現在の我が國においては合法政黨を除いて他には無い。」

（無產大衆黨より舊勞農黨員への檄）、

「更に又政治的日常鬪爭以外の鬪爭によつて先づ前衞の力を强め、その力をもつて大衆を政治的に組織せんとする――それも誤謬だ。この際の政治的日常鬪爭の放棄は左翼にとつて最も致命的な退却を意味する。先づ前衞の力を强めて然る後にでなく、前衞を强めるためにこそ、直に大衆を日常鬪爭へ動員しなければならぬ。そして、それは直に政治的日常鬪爭の機關の樹立とならねばならぬ。だが、かゝる機關は合法的無產政黨たる事によつてのみ當面の所要の機能を果し得る。」（勞農八月號猪俣氏）

では如何にして、

「舊勞農黨分子による合法政黨の戰ひ取りは異常な困難を件つてゐる。だが、それは決して不可能事ではない」

それは、現在の合法的可能性の最强度の利用によつて可能であると說明する。その條件として、先に勞農黨解散の直後舊日本農民組合の新黨組織方針をかゝげてゐる。

「一、解散の口實を與へざるが如き政黨を樹立する事。

イ、大衆的共同戰線黨なる事

ロ、役員の變更

ハ、黨名の變更

即ち、無產大衆黨はその宣言において、吾黨は前衞黨と混同せられざる大衆的共同戰線黨であり、あくまで合法的なものである事を强調してゐる。

かくして無產大衆黨は結黨した。

かくして、舊勞農黨の新黨樹立に就いての二傾向が截然と對立した。

（四）

以上の二つの傾向を眺める時、前者も後者も共に合法政黨の必要は認めながら、その性質、樹立の方法において全く氷炭相容れざる立場に立つてゐる。

即ち、前者は到底不可能なる方法によるそれであり、後者はあらゆる合法的可能性を利用して再建せんとしたのである。前者は、現在の支配階級の許可する樣な政黨なら作らぬがよい。それは屈服だとして、支配階級がどうにもかうにも許可せざるを得ない樣にするといふのである。その爲めに、大衆的鬪爭を强力に捲きおこそうとしてゐるのである。しかし、それは現在において不可能である事は實踐が示したのであるが、彼等はその客觀的條件が滿たされる

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

時まで結黨はしないといふのである。換言すれば、前衞の力を强めてこそ、日常政治鬪爭の動員があると云ふ。

之に反して、後者は、日常政治鬪爭が强まつてこそ、卽ち合法政黨の機能を完全に果してこそ、初めて前衞の力が强大になるものである。そして、大衆を日常政治鬪爭へ動員する爲めには合法政黨があくまで必要であるといふ。それは例へ一歩退いてもと云ふ。

兩者の論戰を今一度、兩者の言論機關をして語らしめよ

(五)

「かくて、工場、農村の砲壘による戰鬪的勞農大衆の驚くべき鬪爭力と、その犧牲的努力によつて新勞農黨準備會の搖るぎなき基礎は一歩一歩と築かれつゝあつた。これは支配階級の恐怖であり、「勞農」派解黨主義者の豫期せざるところであつた。此の日より蔑視醜と「勞農」一派の取引は成り……………」(勞農新聞五十六號社說)

新黨準備會は合法政黨組織をもつて官許黨であると云ふ

「卽ち無產大衆黨創立當事者の態度は、支配階級の勞農黨に對する——戰鬪的勞農大衆に對する彈壓に抗爭する事を回避し、徹頭徹尾反動政治に屈服し……………」(同)

かくて、準備會は大衆黨の態度を徹頭徹尾排斥し、「官許黨」「退却者」「分裂主義者」の罵聲をあびせかける。

(六)

之に對し、大衆黨側は答へて云ふ。

「一步退らねば打込めぬ時にさがる一步、進み過ぎた前衞を本隊に近づけねば攻擊を續け得ぬ時にする引戻しが敗北を意味する退却ではないことは餘りにも明白である」

「、解散の口實を反動政府から與ふ爲に豫め官憲と交涉することによつて憎むべき「官許」の政黨が出來ると云ふならば、日本のメーデーはすべて憎むべき官許のメーデーであり、官許勞農黨も憎むべき官許の政黨であつた。」

「、新黨準備會は、このヂレンマを糊塗する爲に、第二のデマゴーギを必要とする、曰く、吾々は戰鬪的な政黨を作るのだ。どんな政黨でもよいといふのでは無い。——しかし、これは左翼分子の一般任務と當面任務のスリ換へでなくて何であるか。當面の任務はあらゆる可能性の極度の戰術的利用によつて最も急速に合法政黨を獲得するにある。」

「戰鬪的政黨でなければつくらないと言つて政黨をつくらぬ事は、戰鬪的政黨をつくらない事である。(中略)それは退却のしるしであつて進出の旗幟ではない。」(勞農猪俣氏)

「問題は、合法的大衆黨の組織を放棄すると云ふ大きな苦痛の前に、官憲への多少の屈從の苦痛を堪え忍ぶか?、それとも官憲への多少の屈從も之を甘んぜず、「自己」の小な滿足の前に、合法的大衆黨の組織を放棄するか?に在る。」

(同 青野季吉)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

（七）

以上長きにわたつて新黨準備會と無產大衆黨との論戰辯駁の跡を示して來た。

今や新黨準備會の方針は、洵に小ヒロイズム的に悲壯ではあるが、徹底的な誤謬である。明日のより大なる收獲を今日の日の小な自尊心に妨害されてゐる。合法政黨の必要を認めながら、事實においてそれを作り得ないのは、退却者であり、無產運動の進展を妨害し、それを回避せんとするものである。あくまで前衞黨たらんとして、大衆を離散せしめる觀念的小兒病者より一歩も離脫してゐない。この方針が、事あらば彈壓せんとして口實を求めて止まない、支配階級の、彈壓政策に迎合する以外の何者でもない。之れに反して、あらゆる戰術的技巧をもつて、解散の口實を奪つて生れ出でた無產大衆黨こそ、勞農黨再建の任務と戰線統一の任務を果すものである。しかし、無產大衆黨の舊勞農黨再建の程度はまだ未知數である。準備會と大衆黨は今や互に檄を飛ばして黨員の爭奪を行つてゐる。

（八）

わが日本勞農黨が舊勞農黨の再建の速かなるを要求するのは、それが支配階級への陣營の立直しであり、同時に合同運動の速かなる進展を示すものだからである。されば、その再建の爲に最善の努力をする無產大衆黨の出現を喜ぶのは當然である。「無產大衆黨結黨の理由は、舊勞農黨の再建と、戰線の統一であつたが、後者の任務を果す爲には、前者の急速なる成巧がなければならない。何故であるか。即ち、前者に成巧しないで、何時迄も大衆なき大衆黨で終つたなら、大衆黨結黨の意義はない。そうであれば、何も最初から、結黨の必要はない。日勞黨に入黨した方がましであつたらう、されば、大衆黨が躍起になつて舊勞農黨員の獲得に焦慮するのは必然である。

（九）

合法政黨組織は無產政黨合同への發端である、この事は五月二十八日、新黨組織準備會の細迫、上村の兩氏が、日勞黨を訪問され「新黨組織準備會は結黨せずにこのまゝで日本勞農黨と合同したい」と提議されたに對して、日勞黨は「新黨準備會は合同提議をする前に速かに結黨して、その合法的存在を明示する義務がある」として反對した事に徵しても、合法政黨あつてこそ勞農政黨合同への發端がある事を明示するものである。されば、新黨準備會が合同に誠意があるならば、すみやかに舊勞農黨の再建をなし、其の合法性を獲得すべきであつた。

しかしながら、新黨組織準備會は、その合法性獲得の闘爭を戰ひつゝあるものゝ、それは事實上不可能な方法による獲得闘爭であるからして、何時までも黨の再建は出來

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

す、支配階級内の反動の魔手に喰ひ荒されてゐるばかりである。では、その不可能なる再建運動とはどんな形態をもつたものか。

即ち、前にも書いた如く、大衆闘爭の激化によつて、支配階級を恐怖せしめ、解散命令を一片の空文たらしめんとするものゝ如くである。そして、そのよき實例として獨逸の赤色戰士同盟の例を引出してゐる。しかし、日本には未だこうした××的闘爭は起り得ない狀勢にある。この事は新黨準備會がよく承知されてゐるところであらう。彼等はすぐこうした闘爭の起り得ないのは暴壓が激しいからだと云ふ。けれども、如何なる暴壓でもはね飛ばすだけの力がなかつたら、彼等の所期の目的を達成する事が出來ない。ロシヤ革命は、暴壓をはね飛ばすだけの組織と大衆の戰闘的反抗あつたればこそ成就されたのである。

畢竟新黨組織準備會は、合法政黨の組織を放棄するらしい。

されば、無産大衆黨がこの幹部派の方針に反逆して結黨されるや、「合法政黨は官許黨である。警視廳との取引によるニセ無産黨である。」とデマゴーギを飛ばしてゐる。このデマゴーギは單に無産大衆黨に對するに止まらぬ。戰線統一の發端を愚弄するものであつて、當然、全無産大衆へのデマゴーギであると云はざるを得ない。

戰線統一に眞向から反對する者も、それを表面唱へながら、事實において不可能ならしめてゐるものも、立派な分裂主義者である。

（十）

口には立派な××的口吻をもらしても、それが實際的に退却するものであるならば、無産階級にとつて甚だしき危險な傾向であらねばならぬ。

新黨準備會によつて代表される合法政黨再建の放棄的傾向と戰ふ事は、戰線の擴大を闘り大衆の右翼化を防止する事であり、戰線統一の爲に戰ふ事である。

しかしながら、戰線統一を妨害するものは極左小兒病者のみにとゞまらない。戰線統一を共産主義者の陰謀であるとふれ廻つてゐる右翼の勢力も戰線統一を妨げ、支配階級の分裂政策に呼應するものである。

の梅雨以來の天候の險惡は、米價の昂騰を來たすや明かである。すでに鰻のぼりに暴騰してゐるではないか。

帝國主義戰爭の危機は迫つてゐる。隣國支那に對する日本ブルヂョアジーの彈壓を見よ。亦、治安維持法の改正、朝鮮増兵、之は何を物語るものであるか。

吾々はこの支配階級の彈壓と戰ひ、全民衆の生活を安定せしめねばならぬ。

その爲に、戰線統一を叫ぶ、勞農戰線の再建を叫ぶ、

一切の分裂的傾向と戰へ。

一切の非闘爭的傾向と戰へ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

秋和松五郎、佐野學、佐野文夫の裏切行爲に就て
大山郁夫、細迫兼光の責任を問ふ

福田狂二

秋和松五郎のスパイ行爲

憶ひ起す本年一月下旬の總選擧に當つて、日勞、勞農の選擧協定が成立し、東京第五區に於いて加藤勘十氏を立候補せしめ、各無産政黨が協力しこれを應援すべく、協定せられたるに係はらず、勞農黨執行委員秋和松五郎がこの協定を破りて政友會公認候補畑彌右衛門を援けて盟友たるべき加藤勘十氏の當選を妨害したる事は、世上餘りに明かなる事であつてこれを詳細に述べる必要はないのである。二月一日、秋和松五郎立候補せし際、佐野學の經營する無産者新聞は「秋和松五郎氏は、勞働農民黨の中央執行委員にして、勞働者、農民の階級意識を體現せる日本における第一人者である」同氏立候補せし上は加藤君は潔よく、立候補を取消すべきである」と論じ、細迫兼光の發行せる勞働農民新聞も同樣の論説を掲げて思想的にも人格的にも加藤氏が秋和に劣れるが如くに中傷を浴せ甚だしきに至つては、秋和の政見發表演説會において加藤氏をダラ幹と罵り、加藤氏の演説會場において聽衆に對して「ダラ幹加藤を出すな」の如き奇怪なるビラを撒布するが如き最も卑劣なる手段を執りし事は、其の背後にあつて、これを使嗾せる勞働農民黨の最高幹部ありし事は明かなる事實であり、大山、細迫、佐野等が、その非を覆ふべくいかに詭辯を弄すると雖も、正しき大衆の審判を欺く事は出來なかつたのである。斯くの如く、大衆の前にあつて反階級的行爲を成して憚からざる秋和松五郎に對して、正しき觀察を爲す忠實なる社會運動家は、必然に疑問を起して來るのも當然である。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

巧妙なるスパイは表面にあつては最も戦闘的運動者らしくよそふ事はロシヤの社會革命黨の首領が最も能くその實例を示してゐるが、秋和松五郎は、日本共産黨の幹部であり、舊勞働農民黨の最高幹部であつたが、一方又最も憎むべきスパイであつた事が發見されたのであつた。三月十五日の曉の手入れに際して秋和も共に検擧されたのであるが、數日にして釋放されたのであつた。彼れが共産黨の幹部でありながらも、直に釋放された事は奇とすべきであり、その後における彼の行動を見る時、一層その感を深からしめるのである。彼れは其後東京市電氣局に通勤し車掌運轉士を首切る人事係に採用され淀橋に居を變へて常に周圍は私服巡査に守られ、同志との交はりを一切斷ちてゐるのである。既に前にも述べた如く、秋和が加藤氏の選擧妨害をしたのみでなく、その報酬として、三千圓を受取りし事は、畑彌右衛門の選擧違反の豫審調書によつて明かなる事實であり、今度のスパイ行爲によるのも、彼れが下劣なる金錢の奴隷であつた事を雄辯に物語つてゐる。勞農新聞及び無産者新聞並びに、勞農黨の幹部が、勞働運動者に對する最高の侮蔑を賭つて惜しまざりし秋和松五郎こそ、我々無産大衆が八裂きにしても飽き足らぬスパイであつたのである。（最近勞農黨の幹部は秋和は第二次検擧の爲め身を隱したと云つてゐるがこれは彼等が秋和のスパイを隱匿せんとて大衆を僞る虚説である。）

佐野學の奇怪なる行爲

日本共産黨事件に關聯して何人も考へるのはスパイの問題である。そしてこれが眞相を探究する事は、階級運動者の任務でなくてはならぬ。この度の共産黨事件においても、未だ検擧されざる所の人々の中に、その指導者と目される佐野學のある事も又不思議とすべきである。彼の大正十二年第一次共産黨事件の發覺せしは、佐野學の輕卒の至す所であつたが、彼れは巧妙にもその検擧網を逃れてロシヤに走り、多數の同志を官憲の手に渡し、自からはその重刑を免れたのであつた。今回の共産黨事件に際しても、最も官憲が危險視してゐる所の無産者新聞の主筆であり、果して、共産黨事件の口實の下に反動政府が検擧の手を下すとすれば當然、その首領たる佐野學はそれを逃れる事は不可能なる事であるにも係はらず、再びその検擧を前にして、ロシヤに逃れて、自己の安全を計つたのである。斯うしたありうべからざる事でありながらもそれが實在として我々の目に映じたるに對して、何等かその裏にからくりのある事は想像されるのである。彼の兄醫學博士佐野彪は後藤新平の女婿である事はあまねく世間に知られてゐる事であるが、現内閣總理大臣田中義一の秘書官植田俊吉が彼の從兄であつて、彼れが、共産黨検擧前にあつて、秘かに植田秘書官と會合せる事實を發見されるに至つた。前第**一次共産黨事件當時にあつては、後藤新平は外務大臣であり、今回の共産黨事件に植田秘書官のありし二つの事を綜合す**

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

る時思ひ半に過ぎるものがあらう。

一方には左翼理論を喜び一般無產大衆の正しき發展を妨げ、我國の無產階級運動を攪亂した平素における彼れの行動は荒畑寒村氏の勞農三月號に寄せられた左の一文によつても知る事が出來る。「私は二十年間の最も苦痛困難なる時代を通じてすらも、佐野君の如く同志を賣り、運動を賣るが如きスパイ的行動者としての榮譽を負わなかつた事は、少くとも僕の榮譽であつた。」と云ふて居るではないか、佐野が三月十四日下の關を悠々と去りし事は下の關の各新聞社の盡々く之を知るところにして、佐野に對してその後二ケ月間令狀を發しなかつた事は今なほ日刊新聞記者間の共產黨事件の七不思議と稱されてゐる。

佐野文夫の密告事件

七月十九日、突如、雜誌勞農派の荒畑寒村氏は拘引された。同氏の今回の檢擧は日本共產黨の統制部長の推薦を受けたためであると新聞記者に對して檢事局は發表してゐる。勿論同氏が統制部長の推薦を受けた事は事實であるが、その際は第一次共產黨事件のために同氏は未だ服罪中であり、又、指導理論において常に對立せし荒畑氏が日本共產黨の入黨を拒み、統制部長推薦を拒絕せし事は餘りに明瞭である。荒畑氏は忠實なる社會運動家であつて、勞農派の中にあつても稀に見る純情の人である。私とは不幸にして所屬を異にし、意見の一致を缺きてをれども、同氏が敢つて處刑を恐れるか如き卑怯者でなき事は、推賞にあたへする。戰鬪的であつた共產黨內には又戰鬪的なスパイがあらゆる所に配置されてあつた。この密告者は日本共產黨內において最も重要視され、近視マルキスト小兒病者の渴望の的であつた佐野文夫であつた。これは荒畑氏夫人が、氏を刑務所に訪ねし時荒畑氏が憤慨して告げた事であつた。荒畑氏が極左の指導理論の誤謬を攻擊せしを恨み遂に氏を獄に投じたのであつた。彼等が證言せば司法當局は必ず氏を有罪にする事は明かな事であり、それと同時に、我等の同志を敵の手に奪はれし事に對して我々無產大衆は偉大なる損失を成せし事を悲しまざるを得ない。

渡邊政之輔の舊惡

渡邊政之輔は、舊勞働農民黨の最も尖銳なる理論家として知られ、第一次共產黨事件に際してもこれに加盟して、實に表面戰鬪的勞働運動者を粧つてゐたのであるが、彼れは且つて大正十二年四月總聯合の指導の下に惹起したる汽車製造株式會社東京工場の爭議に際して、彼は總同盟所屬であつたが、工場より買收されてこの爭議の參加を阻みて遂にこの爭議

をして、失敗に終らしめた。これに對して戦線同盟の高尾平兵衛、延島直行氏等が憤慨し、日本刀をもつて彼等一派の裏切りものに制裁を加へんとしたために、渡邊政之輔は謝罪狀を出し事なきを得た。この事は大正十二年六月發行の民衆新聞第一號第二號に連載されたのである。

高田公松等の醜行

一昨年の博進社及び秀英舍の爭議において勞働組合評議會の爭議部長として、働ける高田公松は本年四月保險金を詐取せんとして自家に放火し、しかも隣家の七十歳の老婆が放火せし如くなせしも直に發見せられて、檢擧されるに至つたのであるが、斯くの如きは人道上許すべからざる事であり、社會運動家としての我々の陣營にかゝる人物が、たとへ一瞬時にても介在した事は、最も恥とすべきである。

細迫兼光の不逞無賴行爲

勞働農民黨の書記長として、華々しき活躍を成せる細迫兼光も、その無責任なる點においてその最たるものである。總選擧前において島根縣勞農黨支部長福田理三郎が東京安田銀行より私の弟と稱して金錢を詐取した事實を知り、勞働農民黨に對して抗議せし際、細迫兼光は左の返書をした。

「拜復御手紙拜見いたしました。福田理三郎君の事、黨としてもそれが事實とすれば、大問題であります。今日常任にも話しまして早速調査してもし事實であつたら、斷乎たる處置に出るつもりをしてゐます。もし貴社の方に具體的な證據が擧つてをれば、御示し下さいませんでせうか。右御願ひ致しますと同時に今後も御調査の歩を進められん事を御願ひいたします。一月十四日　細迫兼光　進め社御中（勞働農民黨機關紙編輯部用原稿用紙筆記）

右の回答に接した進め社は即時安田銀行において取調べ昭和三年一月十一日なる事を確め細迫兼光に再度の通告をなしたのであつた。その後に至つても、細迫兼光よりも何等の返信もなく、私も總選擧のため歸國し、進め社も同志の應援のために多忙を極め、友黨勞働農民黨も總選擧中の事とて階級道徳を守つてこれを追及せず、中止してゐたのであつた。

福田理三郎は前記の如く、最も下劣漢である事は述べたのであるが、彼はそれのみに止まらず、島根縣における總選擧中にあつて日勞黨に對立して候補者を擁立せんとして無理に民政黨の壯士戸谷一雄を勞農黨の候補として承認を一月十八日大山、細迫に求めて受託せしめたのである。戸谷一雄は當選の曉は民政黨に入るべく若槻禮次郎秘書木村小左衛門よ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

り二千圓を受取りこの金をもつて立候補せんとしたのであつたが、到底日勞黨と對立する事が出來ざるを知つて私の選擧事務長を買收せんとしたり、又は防害的な聲明書をプル新聞に發表せしために、私の選擧事務長は彼れを告訴したけれども、彼れが到底力及ばざるを知り、立候補を斷念して、應援する事を探つたために、この告訴を取下げたのであつた。この選擧中勞農黨は三度應援を申込み、三度これを破つて、日勞黨の戰鬪力を弱める事に努めた。この選擧を通じて、勞農黨島根支部の幹部は、私に對して棄權すべく大衆に宣傳し、或は事務所より金錢を詐取し、選擧應援に名を藉りて私の弟より金を盜るなど實に卑劣極まる事を爲し、山根某の如きは全國婦人同盟の應援辯士に暴行せんとして、その兄よりの制裁を受け、自己の罪を隱蔽せんとして、この問題に何等の關係なき私の外に五名の日勞黨員を殺人未遂で告訴するばかりでなく、演說會を開きて私が落選したために怒つて山根に暴行した如く發表せんとして、却て聽衆の質問續出し反對の聲が澎然として起り、會場は混亂に陷り遂に解散されるに至つた。この問題は單に島根支部のみに止まらず、彼等は勞働農民新聞並びに無產者新聞勞働新聞も筆を揃へて「落選して氣の狂つたゴロツキ福田狂二勞農支部の事務所に殴り込む。」と恥かしくもなく書いた。私は福田理三郎如き虫けらは敢て問題にするに足らないが、勞農黨の機關紙がその眞相を調査せず無責任にも發表したるに對して、三月十七日進め社の前において大山郁夫を社內に引入れこれを責めた處、調査の上謝罪する事を約し、數日後再び細迫兼光は進め社に來り、福田理三郎一派の裏切り行爲を認め、勞働農民新聞に取消文、謝罪文を掲載する旨を述べたのであるが、今日に至るも未だこれを實行しないので近所でも進め社の前を通行しないのである。然り彼が謝罪せざる理由は明瞭となつた、則ち彼兼光は四月二十六七日頃島根縣の山根積及大山郁夫と謀り、私共を告訴した殺人未遂を少くとも傷害罪にても陷れんと計畫し、島根縣の勞農黨が僅か三十名計りゐるのを强制して裁判所に請願書を出さしめた事は大山郁夫と細迫兼光の極惡非道形容しべからざる程無賴不逞の漢である事を證明する、此事は最近島根縣の勞農黨員より眞相を發表し私に謝罪され、又辯護士が此請願書を取消して來たのである。は大山郁夫、細迫兼光は總選擧に當つて、資本家西村某（特に名を秘す）改造社長山本實彥氏を脅迫して數万圓を取れるが如きは彼等が三月私に放せしゴロツキなる暴言の實行でないか、私がゴロツキか大山細迫等がゴロツキか、これは賢明なる讀者諸氏の判斷に任せるが私を、ゴロツキゴロツキと惡罵せし彼等が今自らゴロツキの實踐した事實を發見せられたのである。其他數へ上げれば限りない事である。）

其他各勞農黨の幹部の中における横田忠夫の如きは且つて進め社に在社中、進め社の攪亂を企て雜誌「進め」の保證金を窃盜したために當時藤江社員は憤つて彼れを詰問すべく連行中、卑怯にも逃走をなさんとして、遂に殴打された事があ

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

つたがその際の如きも、彼は診断書を偽造して、何等この事件に関係なき私達も他の社員と共に殺人未遂で告訴したのであつた。この時代は大杉栄氏が殺害せられた翌年であつて、特に官憲は社会主義者に対して神経を尖らしてゐた折とて、裁判所は好機至れるとなして私に禁錮二ケ月に処すべく検事が求刑せしも、労農党顧問弁護士布施辰治氏の熱烈な弁護によつて罰金刑となつた。斯くの如き裏切りものも其後労農党に入りては、中央委員の栄職を汚してゐたのである。私が以上の如く、と共産党事件に関聯して、スパイ的行為を成したるもの、裏切りものゝ罪状を一般の大衆諸君の前に暴露したる事は、単にこれを糾弾するに止まらず、かゝる反動的行為を為せるもの、出でたる事に対して、又今後の我々の運動上に再びかゝる裏切りものゝ発生を防ぐために、些かにても参考となるから起草したのである。社会運動は言ふ迄もなく一般無産大衆の死活に関する重大なる問題であつて、これに対しては最も深刻の態度をもつて行動しなくてはならないのであるが、今回の如きも、近視マルキストによつて二年か三年の浅い経験の下に軽挙を成したために社会運動史上拭ふべからざる汚点を永久に残すが如き失敗を成したのである。レーニンも社会革命党、メンセイビキ等の行動の誤れるに対しては、常に忌憚なく、猛烈なる批評を成し、甚だしきに至つては、死刑に処せられる同志に対してすらも、誤れる行動はどこ迄も指摘して、再びかゝる誤謬を犯す事のなき様に努める事を忘れなかつた。これをブルヂョア道徳より見れば、許さるべき事ではないかも知れないが、我々階級運動者にあつては情実のために運動を冒涜する事は許されない。飽く迄も誤れる事に対しては容赦なき批判を下してこそ、最も忠実なる社会運動家である。私がこの稿を起さんとしたのは、共産党の検挙後幾何も経ざる時であつたが、一般より支配階級に追随するものゝ態度として誤解されるのを避けて、約六ケ月を経過する今日迄これを延引してゐたのであつたが、長くこれを隠蔽する事は、再びかゝる誤りを犯す恐れあり、遂に発表するに至らしめたのである。もしこの一文が実際運動家のために些かにしても研究の資となれば幸ひである。

× × × × ×

即時大山郁夫、細迫兼光等は佐野学、秋和松五郎、佐野文夫以下の裏切、背徳行為の全責任を無産階級の前に謝すべし、彼のブルヂョア政界においてすら、失敗と過失の前にはいさぎよく職をしりぞくにあらずや。彼等は正義を弄び無産階級をいつはりし罪は、永久に許さるべきものにあらず。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

全土戰報

富電爭議と無產政黨の活躍

富山縣一帶の電力を獨占してゐる富山電氣株式會社、橫暴はつひに縣下無產大衆の奮激するところとなつて、今や縣下は暗黑の地と化した。思ひ起せば、大正七年の夏の米騷動もこの地より最初勃發したのだ。この電燈爭議も又米騷動の如く、全國的に波及しつゝある。

生活を保證しろ、の生存權の叫びが電燈爭議となつて出現したのだ。打てはひゞく切實な血のしたゝる要望が、今や民衆の戰鬪的行爲となつて現れたのだ。無產民衆の先頭に立つて常に勇進すゝ吾が無產政黨は積極的に鬪士を派してこの運動を應援しつゝある。先づその二三の聲明書をかゝげておく。

日本勞農黨の聲明書

富山に於ける電燈爭議は日常鬪爭の模範的な規模を以て進展しつゝある今や爭議は滑川、岩瀨、三日市の諸町村即ち富山市の全郡部に蔓延しつゝあるが、郡山の電燈爭議に鑑みてもその勝負は一に富山市をこの運動の中に引入れ得るか否かに懸つてゐる

吾黨は調査員、應援者を送り全力をあげてこの大日常鬪爭を援助し、特に富山市に於ける運動の組織を協力して遂行せんとするものである。

右聲明す

七月三十一日

無產大衆黨の檄（一）

富山縣民衆諸君！

資本主義制度の下における獨占事業の橫暴は、今や極點に達し、民衆は物價の吊上等、その經濟的壓迫の下に塗炭の苦しみをなめてゐる。而して我國に於ける獨占事業中電氣會社の橫暴は最も甚だしく、獨占業者は全國に亙つて無產民衆に高價極まる電燈料を課してゐる。

見よ！

昨年秋における日本勞農黨の指導下に行はれた福島縣郡山の電燈料値下げ反對大示威運動を!!

又諸君は今や、このあくことなき電燈會社の橫暴なる挑戰に對して、雄々しくも奮起した。

諸君は十數年前、資本家階級の吸血的橫暴に對して、我國の大民衆運動の火蓋を切り、以て全國運動の導火線たらしめ、我國無產階級運動史の第一頁を飾つた。

今やこゝに奮起した諸君はやがて全國に於ける、反獨占運動の下に、料金値下げ運動の魁をなすであらう。

諸君！　吾が無產大衆黨は、その全鬪爭力をあげて諸君の運動を應援支持するものである。

我が黨は、本常任執行委員會の決定によつて、常任委員大道憲二君等を派遣して、諸君の運動に積極的に參加せしむる。民衆諸君の猛烈なる鬪爭力に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

進め

よって横暴なる電燈會社を屈服せしめよ！

民衆諸君の闘爭組織を固めて、不斷の戰鬪機關たらしめよ……！

一九二八、七、二八

(その二)

富山電燈會社の横暴に對して、富山縣一圓に電燈料値下の運動が起つた。滑川町を中心とする大衆運動は白熱化し、電燈會社に對する憤激は刻一刻と高まりつゝある。

この運動は決して最早單なる地方的運動ではない。それは今や全國的意義を有する一大社會問題と化してゐる。電燈、瓦斯、電車、水道等所謂公益事業の美名の下にかくれて、無産民衆を搾取して巨額の利潤をあげつゝある之等獨占事業の横暴は、單に富山縣に止まるものではない。

全國における無産民衆はこの不當搾取のために如何に、その生活を脅滅されつゝあることか！

富山縣に於ける無産民衆の憤起は全國無産民衆の不平不滿の勃發のほどばしりである。

富山縣下における無産民衆の勝利は同時にまた我等の勝利であり、全國における狂暴なる獨占事業の經營の一角の崩壞であり而してそれは、全資本主義に對する全無産大衆の勝利への一歩だ……！

全國全無産大衆諸君！

奮起せる富山縣下の兄弟諸君を物質的に、精神的に支持應援せよ!!

全國的大衆的應援の威力によつて、富山電氣を屈伏せしめよ！　我等の兄弟を勝たせよ!!

一九二八年　八月一日

進め社礪波支局の報告

富山縣に於ける電氣爭議は今や一縣を通じて全面的に展開した。礪波唯一の無産政黨我等の自治俱樂部は、十日夜、城資委員長以下同氏宅に會合左の聲明書を發布した。

聲明書

横暴なる富山電氣に對し秩序整然たる電燈料値下期成同盟會今次の勇敢なる鬪爭に滿腔の敬意を表し吾が黨創立以來の宿願たる電燈料値下運動の撤底を期し吳山以西の電氣消費者の利益を代表し之を擁護せん爲め電燈問題の根本的調査と電燈料値下期成同盟會の積極的援助を爲すことを茲に聲明す

昭和三年八月十日

自治俱樂部

俺達の出産披露

彈壓の嵐と反動の空氣は底深く流れて、過去十年幾多の同志が、血涙の鬪爭を續け來たつた九州の地、福岡市にも久しく期待された日勞黨支部が結成された。

八月九日市記念館に支部創立大會を開き、翌十日九州劇場に大演説會を開催した。本部より麻生久、加藤勘十兩氏を迎え、其他、長崎、大牟田、嘉穗の各支部より同志數名來援し、熱狂せる滿堂の聽衆の中に、例の如く白犬數十匹元氣の無いツラをしてゐた。

刑期五年を終えて出獄せる桑原氏の熱辯は數語にして中止を喰ひ、加藤、片桐、森の三氏同じく中止され、相愛會の金氏、朝鮮民族の解放を叫び、ピアル、スタブリン氏巧妙なる日本語でよく論じ、麻生氏日勞黨の使命を說いて、聽衆の拍手の中に閉會された。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

進め

福岡市は松本治一郎氏等、水平運動に闘ひ、舊労農黨員の少数運動も、雌岡？　幻滅して今や無し。先月の市議増員選挙に社民黨の一市議を得たるのみ、而かもかの中野正剛を大臣にせんと夢想してゐる事、ほど左様に彼等ブル議員の担ぎに毒されてゐる福岡の市民達だ。

文化都市と謂ひ、學問の都と言ふも現在の俺達に何の關はりあらんやだ。この大福岡を築く爲に、筑豐炭坑の地下数千尺に働く兄弟姉妹と、惡税に苦しめられ土地を奪はれて追はれ來つた朝鮮同胞の、血と肉と生命が失はれてゐる事を思へ。

俺達が創造したものを俺達の手に獲得せよ。北九州の天地黒煙は噴亂し、玄海の浪は烈日の下に躍動してゐるではないか。

生れ出でたる日労黨支部よ。

大衆と共に正道を進め。

正義の赤旗を高く輝かせ。

（福岡市　T　生）

小作争議は人民の権利である

今年は、土用の天候が悪いぞ、雨が降りすぎるぞ、これぢや稻作は不作にきまつてゐる。この秋は、不作で減免要求が猛烈に起るのだ！

また、高い小作料のために、貧乏と借金で首がまわらなくなつてゐる小作人が、いつせいに三割まけろと要求して、悪地主と戰ふことは、小作人の正義である。

小作争議は人民の權利だ。

正義の戰ひを、人民の自由なる權利の小作争議を、何んだかだと云つて、オサエつけたのは誰であつたか？　地主と、奴等の御先棒の官憲である。

ことに、この秋は、御大典がある、御大典と、小作争議は何の關係もない日本の充ての人民の食物を作つてゐる三百八十万の小作百姓が貧乏で、作つた米も食はずに、夏の炎天に、にえかへる水田で、おちる汗が眼の玉に付いて、眼をくもらし、脊の皮を三べんもむいで、なみたいていの苦心でなく作つた米が、大部分地主に搾り取られると云ふ法が、どこの國にあるか！　だからこそ吾々貧しい農民は脊に腹は代へられず起す小作米引下げの要求を、悪地主大地主が、頑張るから争議になるんだ。奴等こそ、立毛差押えだ、立入禁止だと小作人を旱干にすることが正義に反し、社會を亂す張本人ではないか！

それだのに、警察は、小作側を壓迫するんだ。

正面から地主の味方になつてやるんだと云つては、彼等の面目玉がツブレるので、今年は、御大典にかこつけてオサエつけようとするかもしれないのだ！

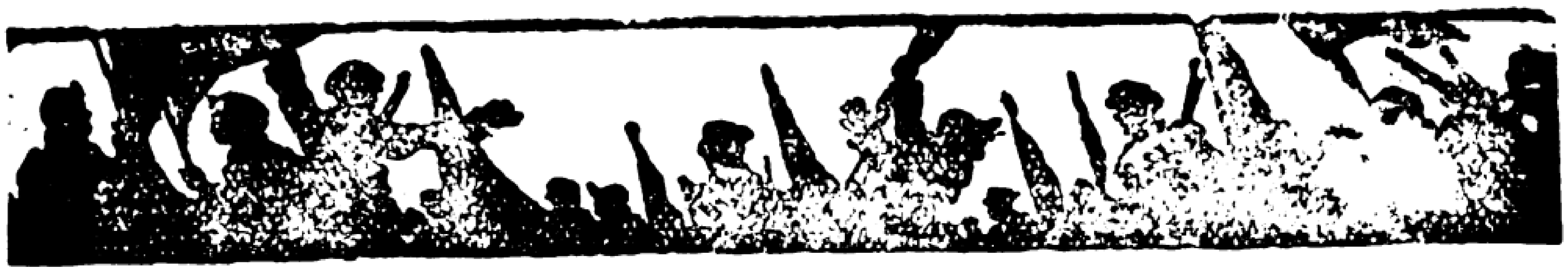
そんなベラボーなことがあつてたまるものか！　だけれど、血迷つた彼等だ、何をするか知れたものではない。

組合の勇敢なる闘士を故なく検束したり、又は、無いことを有ることによつて検擧拘留することは、小作人の皆んなをオサエつけることである。支部長や、執行委員を、壓迫することは、支部の全組合員をあつぱくすることである！

數年の闘爭のけいけんのある組合員諸君！　この事をヨク考へてくれ！

御大典にかこつけての官憲の迫害に對して、御無理御尤もと云つてはゐ

進め



られない。

人民の權利は、御大典によつて益々自由になる筈だ！ 勇敢に、全組合員は一致團結して、小作料引下げや、立毛差押えや、土地引上げと戰ふ正義の軍に忠實に結束をかたくして進め!!

小作爭議は人民の權利だ。小作人の義務だ！

御大典にかこつけて、組合の集會や演說會や、示威運動をオサエるのは、彼等が地主とイキだからだ！ 地主とイキの官憲には反對だ！

貧しい農民や勞働者その他すべての働く人民に自由をよこせ！ これこそ御大典のある年に、當然すぎるほど當然な要求である！

貧しい農民のゆく道は、小作爭議によつて、生活を少しでもよくすることの一つ道しかない。

小作爭議を壓迫する者と戰へ！

惡地主の大地主の搾取に對して戰へ！

地主官憲の逆宣傳にかかるな！．

全國農民組合の旗を高くかゝげて正義の戰ひに進め!!

（全國農民組合）

和歌山の運動

近年來同士の決死的奮鬪によりて異狀に進展しつゝある。和歌山縣下の無產者運動は全國農民組合和歌山縣支部聯合會と日勞黨の和歌山縣支部聯合會となりて和歌山聯合會となつた。その記念として去る七月廿八九、卅日の三日間和歌山公園あほい館にて兩聯合會合同主催にて夏期講習會を開いた。講師は全國農組合常任執行委員長杉山元治郞氏、同常任委員前川正一氏、日勞黨中央執行委員辯護士吉田賢一氏、同關西事務局長山名義鶴氏の四名にて聽講者も各階級より集りて數百名を數へて盛會なりき、その後全農聯合會は支部々々の座談會に、日勞黨は遊說に進んで居る、やがては之等の運動は全縣下に及ぶだらう。

又最近アナキスト連中の結社黑煙社も大衆の心より放れてマスターベイーション的になりて漸次に沒落しつゝあり。以上報告まで

（和歌山支局A生）

秋の暴歴への戰備成る

過般の全日、日農の合同によつて、全國農民組合は表面完全に成立した如くであつたが、長い間の對立抗爭の餘燼全く消ゆる事は難く、地方聯合會の合同は容易でなかつたが、最近に至つて鳥取、島根、京都、千葉、奈良の合同成り、秋の鬪爭に備へつゝあるが、我が新潟縣においても、人事問題等の種々なる問題も起つたけれども、萬難を排して愈々十一日新潟縣合同大會を開く事に決定し、第二回合同協議會の名によつて左の聲明書を發した。

聲明書

近時支配階級の攻勢は、益々急である。

吾等は、此反動期に際し戰線の統一と鞏固なる戰鬪力とを以て之に應へねばならぬ。先に全國農民組合の創立をなせしも實に此の所以に外ならぬ。

我が新潟縣下に於いても階級的正義と必要い前に久しきに亘る一切の行〃りと感情とを一掃し本日此處に一堂に會し完全なる合同協議の成立を見たるは、單に我等の喜悅のみならず全無產階級の名に於いても喜悅と

進め

する處である。

我等は、此兩組合統一の力に依り更に進んで全縣下農民戰線統一に努力せんとするものである。

全日、日農組合統一萬歳

全縣下農民戰線の統一へ

七月十日

こゝに全國において最も多數の農民大衆の支持ある新潟縣聯合會は、その强大なる鬪爭力をもつて、地主階級をして、戰慄せしめずにはおかないであらう。地方農民組合に率先して具體的合同に入つた事を誇ると共に、充ての障害を突破して、全國の農民諸君と完全に手を握つて秋の鬪爭に備へる日の一日も早きを祈つて、筆を置く。この戰報が進めに掲載される頃は新潟縣の合同は成立してゐるであらう。

（新潟支局　秋田秀夫）

立入禁止を蹴飛はす

立入禁止は百姓の咽喉をしめるものだ。吾々は死んでも土地を放すな。……

奈良縣磐城村八十町歩の立入禁止に關する爭議は、百姓達の結束堅くつひに、横暴な地主のおそれおのゝくところとなり、去る七月廿八日でひとまづ左の條件をもつて解決した。そして土地はふたゝび働く者の手に歸した。

一、立禁土地を速時解除して小作人に還すこと

二、昭和二年度は小作料二割五歩减

三、立禁八十餘町歩のうち三十五町歩の本年度小作料は全免

如何にして吾々は勝つたのか、もし吾々組合の力が弱く、團結力がしつかりしてゐなかつたなら、勝つ事は出來なかつたのだ。地主の手にうばはれてゐたのだ。

吾々は爭議が初まるや否や、地主、官憲、裁判所はグルになつてかゝつて來たのだ。裁判所でも吾々の立禁處分異議申立は敗訴になつたのだ。しかし吾々はこれによつてへコたれるどころか、返つて團結をかため死すとも土地をはなすなと誓つたのだ。そして、子供も老人も、婦人も、未明から約三里の道を歩いて八木町の地主河合の家を襲つて大いに糾弾して、其地主を縮みあがらせた。

一方奈良臨時縣會の開會されると聞くや、數百名の組合員は一擧に縣會議事堂におしかけ一大抗議を投げつけた時、知事、警察部長、議員一同は青くなり、「是非仲裁するから引上げてくれ」と泣きついた。そして一方警察はおどし文句で御大典と爭議をゴッチャにして、「検束するぞ」とぬかしたが、組合員の意氣は益々高まるばかりで、どんな運動が起るか底が知れぬ有樣であつた。これを見た地主の一味はつひに屈服した。彼等は土地を俺達の手から取上げる爲めに數万圓の金を費つたのだ。しかし、組合の固き力の前には彼等の力や何者ぞ。

しかし、諸君安心してはならない。奴等は機會を向つてゐるのだ。より以上のおそろしい魔の手が時を待つてゐるのだ。少しでも團結がゆるんだなら奴等は時こそ來たれと手をのばすのだ俺達は今日は昨日より明日は今日より毎日毎日力をつけておかねばならない。

全農民戰線の合同へ、

全勞農政黨の合同へ、

（奈夏縣支局植田）

進め

何故の犠牲ぞ

安全週間とは何だ。俺達勞働者に惡い勞働條件と惡い設備の工場に働かせて、安い賃銀でヘロヘロになるまで働かせて、それで怪我でもしたらみんなお前達が惡いんだとして、自分達の爲すべき義務はコツソリ棚へ上げようとしてゐるのだ。

ゴマカシ安全週間だ。
工場設備を完全にしろ
八時間勞働にしろ
生活賃銀を保證しろ

こうした聲は吾等無產大衆の「安全週間」に對する鬪爭であつた。

果して資本家の「安全週間」はイイカゲンなゴマカシであつた。「安全週間」の二日目に起つた東京の大曲の電車衝突事件は何だ。左の激文の中にある樣に、不完全な電車を使用させた爲めに、あたら妻子ある從業員はこの世を去つた。これを不可抗力だと辯明する市電當局者を吾々は斷じて許す事は出來ない。吾々市電從業員はこれから先不完全な電車を使用させられて、事故ある毎に吾々に責任を轉嫁されてたまつたものか。激文を掲載する。

各新聞報通の通り三日大曲に於る電車衝突事件に對し吾本部は三日午後七時緊急中央委員會を開き一大抗議をすることに決定した、此の根本原因は最早明白だ。各新聞及び市民は電氣局の醜態を非難し各方面から續々として抗議がなされてゐる。

電氣局では全從業員の勤務時間を改惡し、車體を減じ、不完全極まる車のみ使用させ、更には監督事務所の不當報告小サナ事故に對する嚴罰を行ひ、從業員を壓迫、搾取し殴々として營利にのみ走つて居る。

だからこそ大慘劇が生じ吾々の兄弟は傷ましくもこの犧牲になつたのだ。

事件發生の當時電氣局理事者は何處へかかくれて吾々の犧牲者を慰問しなかつたではないか。

かへつて當局は此の責任を車掌運轉手に轉嫁せしめようとしてゐるのだ此の陰謀と無責任極まる態度に憤激した早稲田、錦糸堀の支部員の一大抗議運動がなされんとしてゐる。

各支部は即時組合役員會をひらけ！

當局に抗議文、要求を叩きつけろ

早稲田、錦糸堀支部大衆に應援の檄を送れ。

錦糸堀早稲田兩支部は即時組合役員會を開らき一大抗議運動に依つて我等の兄弟を救はねばならぬ。

△犧牲者と家族に對する充分なる慰問

△完全なる車體を運轉させろ

△監督事務所の撤廢

△衝突の責任は電氣局だ

東京市電　黑川生

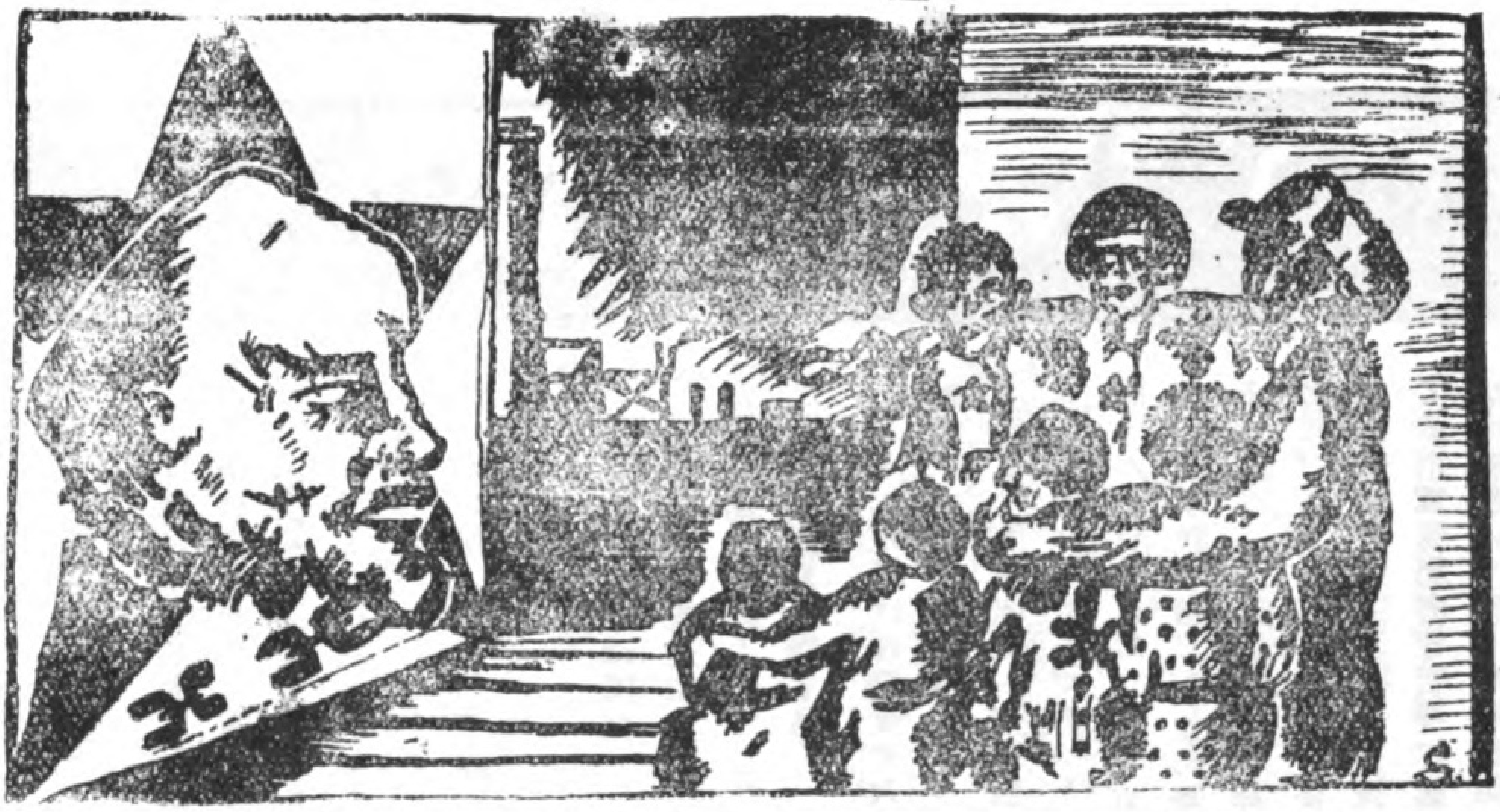
全才戰報をどしどし送つてくれ!!

農村から、工場から、鑛山から、海上から、いやしくも資本家と貧乏のあるところ、地主と飢餓のあるところ、必ず不平不滿のあるべき筈だ。

「進めポスター」……

……申込め!!

編輯部



女工たらんとする少女達へ

吉田はつ

小學校を了へて現に女工となり、又ならんとせられつゝある少女達よ！否小學校を了ると同時に女工とならねばならなく運命付けられてゐる少女達よ！

貴女達は何も心から自ら求めて女工となられるのではあるまい。出來ることなら女學校にも行きたからうしお裁縫も習ひ度からう。そして兩親や兄弟等とも離れ度くもなからう。

それだのに、何故に貴女達は、兩親の膝下を離れ、兄妹に別れ、お針も習はず、勿論女學校等には夢にも行けないし、しかも遠い西も東も分らぬ他國に出稼いで女工にならんとせられる結果となられたのか。

先づ第一にそれは家が苦しいからであらうし、又よしひどく苦しくなくとも、嫁入の着物の一枚位は少くとも自分が拵へねばならぬ必要に迫られてのことではあらう。

そこで、貴女達は、無論兩親からも話しもあつたであらうが、兎も角も健氣にも女工たらんと決心せられたものであらう。

ところで、貴女達は、兩親や兄妹等に別れ、お友達にも別れて、懐しい村のお宮の森や、お寺の屋根を振り返りながら、村はづれの停車場から汽車に乘つて工場に來て、愈々女工となられたのだ。そこには、貴女達をどんなものが待ち受けて居つたか、何が貴女達を迎へたか。

冷い狹い穢い寄宿舍の部屋と、今に身體を捲き込んで仕舞いそうな機械と塵芥だらけの工場と、意地の惡い監督者であつたらう。そして與へられたものは何であつたか、安い給料と、身體の不自由と、蚤だらけの蒲團と、不味い賄とではないか。

そして意地の惡い會社の奴等はどんなことを言つて聞かせたか、日給の安いのはお前達はまだ年が若いから一人

前の仕事が出來ぬから、賄もなか〱此の頃は物價が高いから、外出をさせぬのは親達から嚴重な監督を頼れたから、寄宿舍は會社が儲かればどん〱改良するから、會社の儲かるように勉強して働いてくれ等々と竝べたてたであらう。

けれども少女達よ！　考へて下さい彼等の、そういう裏面には次のようなカラクリがあるのです。

貴女方の從事する仕事は貴女方でなければ出來ないのです。試に考へて御覽なさい、紡績にしても、製絲にしても、貴女方の代りに働き盛りの男子が從事したとて、絲取りやハタ織が出來ますか、出來ないでせう。そうすれば貴女方のする仕事は、貴女でなければならぬのです。然らば例へ貴女方が年が若くても、その仕事に就ては一人前でありませう。從つて、一人前の仕事には一人前の賃金を仕拂はねばならぬのです。それにもかゝはらず彼等は、只年が若いと云ふ言ひがゝりの下に安い賃金しか拂はぬのです。即ち貴女方少女を雇ふことに依つて今日の資本家は二重に儲けてゐるのです。第一仕事が若い少女でなければ出來ないことだから、貴女方にさせればよく仕事が出來ること、第二に年が若いから一人前でないとて安い賃銀で胡魔化せること等です。

ところが、彼等資本家は貴女方を雇ふことによつて二重に儲けているだけではありません。寄宿舍に入れておけば都合のよい時間だけ自由に何時でもコキ使ふことが出來ます。そこで彼等は『親達から嚴重に監督を頼まれた』と云つて、寄宿舍に押し込めて、暗い内から暗がり迄酷き使ふのです。そこで貴女方を使ふのは一人前の大人を使ふよりも、これで又一つ利益があるのです、即ち三重の利益があるのです。

寄宿舍も立派な設備をするよりも穢い狹いところに放り込で置けば第一金がかゝらない、そして、よく働いてくれゝばもつと立派な綺麗な設備をすると言つて聞かせれば、純眞で正直な貴女方は一生懸命働くから第二に會社が利益を餘計に上げることが出來る。これで會社は五重に儲けがある。

彼等資本家が、貴女達に向つて、よく働けとか、勉强せよとか言ふときは極つたように、國家の爲めだとか、社會の爲めだとか、言ふでせう。若し朝から晩迄暗い内から暗がり迄働くことがそれほど國家や社會の爲めになるのなら、彼等資本家は、自分達の娘さん達も何故に國家や社會の爲めに働かせないのであらうか。彼等の娘は三味線やピアノや生花を習つたり、暇と金にアカして、海水浴だ、溫泉だと遊んで歩いているのが果して國家や社會の爲めであらうか。

嘘の皮です。國家や社會の爲めでは斷じてありません。皆彼等の爲めです。貴女達の働きなくしては彼等資本家は立つて行けないのです。實に彼等を生活せしめ贅澤せしめてやつてゐるのは貴女達である。

故に貴女達は彼等資本家を生活せしめ贅澤せしめる力があるのだから、又彼等を贅澤せしめないようにする力も

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

持つてゐる譯である。
女工たらんとする少女達よ！
貴女達は、其の貴女達の力！ 即ち資本家を贅澤させたり、又それをさせなくさせたりする力を充分知らねばならぬ。そしてその力を最も強いものにするには、その力を最も大きなものにもせねばならぬ。
貴女達の力を最も強く、最も大きくするには團結することである。
貴女達の力を強く大きくする爲めには、勞働組合が貴女達の來り投ぜられることを門を開いて待つてゐる。
眞に貴女達の味方として、貴女達の利益を代表して、贅澤三昧をしてゐる資本家と鬪つて、貴女達を貧乏から救ひ出すものは勞働組合である。
女工たらんとする少女達よ！
貴女達は、會社の門をくゞる迄に、女工と成る迄に、必ず、先づ勞働組合の門をくゞらねばならぬ。
女工たらんとする少女達よ團結せよ！

勞働者たらんとする少年諸君に與ふ

吉田源藏

勞働者たらんとする少年諸君！ と私は今諸君に呼びかける。私の今呼びかけてゐる少年は、既に小學校を終へて工場なり會社なりへ這入つて働いてゐる諸君と、遲かれ早かれ小學校を出たら、會社なり工場なりへ雇はれて働かねばならない境遇にある少年諸君を指してゐるのである。
諸君は學校で先生から、働けば金も儲かるし、勉强すれば偉い人にもなれると敎へられたであらう。
諸君はそれをほんとうだと思つたかどうだ。それに付いて考へて見たことがあるか、諸君は先生の敎へてくれたことを、ほんとか嘘か調べたことがあるか。何故調べて見ないのだ。私は世の中の事が諸君等の先生が諸君に敎へた通りになつているかどうかを、諸君と共に研究して見度ひと思ふ。そこで第一に私は諸君に尋ねて見る。
「諸君のお父さんは怠け者か、働き手か。諸君の兄さんは兵隊に行つて勉强したか、遊んでいたか。諸君の姉さんは紡績會社や奉公先で怠けているか、よく働いているかどうだ」
恐らく諸君のお父さんは朝暗い内から辨當を持つて、割引電車で勤めに出て行き晩は電氣が燈つてから歸つてくるだらう。そして雨が降つて風が吹いても休まずに一年中働いているだらう
諸君の兄さんは兵隊に行つて眞黑になつて瘠せこけて、フラ〳〵になつて除隊して來ただらう。諸君の姉さんは紡績で夜となく晝となく働いているだらう。
そこでだ！ 諸君！
諸君のお父さんはお金持になつたか？
諸君の兄さんは陸軍大將にでもなつて歸つて來たか？
諸君の姉さんは着物でもどつさり拵へたか？
諸君！

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

若しも、諸君のお父さんが、それ程働きながら、貧乏していたとしたら、若しも、諸君の兄さんが兵隊に行つてから歸る迄眞黑になつて瘠コケる迄勉强しながら一兵卒で歸つて來たとすれば、

若しも、諸君の姉さんが朝から晩迄晩から朝迄。夜となく晝となく働いてゐながら着物一枚買へぬとしたら、

諸君！

勞働者たらんとする少年諸君！

諸君が學校で、先生から敎へられたことは皆嘘だ！嘘の皮だ！

諸君！ 胸に手を當てゝよく考へて見給へ、働いて勉强したるものが必ず金持になつたり、偉い人になれるときまつていたら、諸君のお父さんも、諸君の兄さんも、諸君の姉さんも、諸君のお友達のお父さんや兄さんや姉さんも、もつと〳〵多くの人達、即ち勞働者達は全部、社長や、陸軍大將や、お孃さんになつて仕舞ふだらう。そうすれば、電車を運轉する人も、戰爭する兵隊も、反物を織る人もなくなつて仕舞ふだらう。そんな事がほんとうならしまいには世の中は暗になつて仕舞ふではないか。

そこで、こうゆうことが云へるだらう、『世の中が暗にならずに、澤山の人が生きて行けるのは、皆が働いているからだ』と。そうすると こんどはこうゆうことになつてくる。『人間が世の中で生きて行く爲めには、皆が働かねばならぬ』と。だから若し働かない人の分を誰かゞ働いてやらねばならない譯なのだ。

諸君！ 金持や、金持の息子を見給へ、奴等は何一つ拵へることを知らないだらう、それだのに奴等は諸君等や諸君のお父さんや兄さんや姉さん等より贅澤な生活をしてゐるだらう。それだから働くものは貧乏しなくてはならぬのだ。この譯を、も一つ分り易く言つて見よう。

此處に三人の人が居て、甲は一日五合の米を食ひ、乙も一日五合食ひ、丙はやつぱり一日に食ふのは五台で、外に一升蓄めて置き、まだその外に五合小鳥にでも食はすとするのだ。そうすると丙は結極一日に二升を費ふ譯である。そうすると、三人で一日に三升いる譯だが、此の三升を三人が働いて得るものとすれば一人が一升稼げばよいのである。それにしても甲と乙とは五合宛損をし、丙は一升儲けているのである。ところが此の贅澤をしている丙が働かないで毎日二升宛を費ふとしたら甲乙の二人が丙を見殺しにせず、生活させてやらうと思へば甲と乙とが毎日一升五合宛を働かねばならぬ。だから甲と乙とは一日一升五合働いて、五合しか取らぬから一升損をし、丙は遊んで居つて小鳥のようなもの飼つて樂んで貯金迄するのだから二升丸々儲けているのである。

今の世の中もこれと同じである。遊んでゐる奴が贅澤をするから勞働するものは年中損をしている、それだから勞働者は貧乏なのである。

それでは貧乏をなくするにはどうしたらよいか？ と云へば、それは分り切つているだらう。遊んでいる奴をな

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

くするのだ。皆が働いたらよいのである。若し働くのが嫌だと云ふ奴があればそんな奴には、たとへ金を持っていても何も貰はせないようにすることである。それでは、そうするにはどうしたらよいか？　それは勞働者が團結したらよいのである。團結はどうしてするか？

勞働組合へ這入るのである。勞働組合は何をするものだ？

勞働組合は、働く者を大事にする爲めに、勞働者の利益の爲めに、勞働者を虐めたり、勞働者を誤魔化したりして勞働者の上前を刎ねてゐる奴等と戰ふ爲めに共同一致する勞働者の團結なのである。

だから、諸君が一人前の人間らしい人間として普通の生活がたてたいなれば、何をおいても先づ第一に勞働組合へ這入らねばならぬ。

勞働組合は勞働者の學校である。

――（完）――

大阪勞働學校取次圖書目錄

各一部十錢送料二錢

阪本	勝	一錢銅貨物語り
村島	歸之	勞働問題早わかり
野田	律太	勞働者の明日
山川	均	タンクの水
住谷	悦治	プロレタリヤの使命
堺	利彦	一休と自來也
中川	重吉	勞働組合早はかり
野阪	龍子	婦人と勞働組合
東	天紅	政黨運動の一資料
吉田	賢一	町村制の話
堺	利彦	社會主義大意
山川	堺	社會主義の婦人觀
河野	密	人一生の經濟學
河上	肇	唯物史觀の略解
小岩井	淨	小作調停法の話

大阪市此花區吉野町一丁目三十六番地

大阪勞働學校出版部

振替大阪七四三三六

讀め社會民衆黨を支持する

月刊

日本民衆新聞

一部五錢
二十日發行

發行所

東京市芝區三田四國町二の六

日本民衆新聞社

電話高輪三二九〇
振替東京七〇二一

最新刊

日本勞農黨國際部長 上條愛一著

無産黨の戰術

定價壹圓 送料無料

普選によつて八名の黨員を議會に送つた新興無産政黨は更に急角度を畫いて既成政黨の牙城に肉迫せんとして居る。

今や好むと好まざるとに拘らず、國民は無産黨の内容を徹底的に知らねばならぬ秋に直面して居る。

見よ!! 彼等の鬪爭の跡と、而して彼等の戰術とを。

―内容―

無産黨小史 △明治時代の無産黨運動△普選運動と議會の否認△農民勞働黨の誕生。

對立無産黨の出現 △無産階級陣營内の對立鬪爭△宗派分裂主義とは何ぞ△勞働農民黨の結成と分裂△日農、社民、日勞各政黨の結成

無産政黨の内容 △各黨宣言△各黨の綱領△各黨の政策△各黨の幹部△支持團體及勢力。

府縣會選擧に於ける無産政黨の戰術 △選擧戰に對する各黨の戰備△各黨の選擧政策△府縣會選擧の戰績。

總選擧戰に於ける無産黨の奮鬪 △總選擧戰に對する無産黨の陣容△各黨總選擧政策△各黨總選擧協定△總選擧の戰績△總選擧戰績の批判。

日常鬪爭と其の戰術 △日常鬪爭の意義△勞農黨の日常鬪爭△左翼の戰術△日農、社民、日勞の日常鬪爭△現實派の戰術

戰死せる勞働農民黨 △第二次日本共産黨の檢擧△第二次日本共産黨とは何ぞ△勞働農民黨の解散。

第五十五議會に於ける初陣の無産黨 △議會内に於ける活動△院外に於ける民衆運動。

無産黨の將來 △無産黨の合同問題。無産黨の石炭問題△日本無産黨は何處へ行く？

東京麴町内幸町一の六

第一出版社

振替東京六八〇九〇番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大阪窯業セメント爭議批判

永田繁澄

約二ケ月に亘り正々堂々と戰ひ、遺憾なき迄に吾等の組織されし强大なる力を示し、彼等支配階級を戰慄せしめし爭議も大阪府特高課長田中某に依り强制的？に調停をやられ又爭議團も此以上永びく事の不利なる事を知り一先づ鉾を鎭め機を待つ事になつた。

此の時に當り、此れを批判研究する事は、今後爭議の時の一助となり、是非實行せねばならぬ事である。

今その要求書を見るならば

一、江崎房雄君の復職
二、賃銀三割値上げ
三、最低賃銀壹圓六十五錢
四、樽詰部單價五割値上げ
五、皆勤賞與　四人分
六、解雇手當　壹ケ年未滿五十日分、壹ケ年以上壹年毎に三十五日分
七、退職手當解雇手當の七割

の以上であつた。

而して解決條件として

爭議團員百三十七名解雇
解雇手當壹万七千百圓

である。

同會社が如何に横暴であるかは等しく町民の認むる處で現在同會社附近はセメントの飛來で瓦の如きは眞ツ白くなり、洗濯物を干すにしても物干竿の上は眞ツ白になり、時としてはセメントで變色するぐらひである。此れに躍起となり町内の會が嚴重抗議せし處八月中にて絶對に散亂せざる樣設備すると辯明せしも未だ何等設備に着手する模樣すらなく、附近住民は實に莫大なる損害を蒙りつゝあり、過日も社會民衆黨が此の問題にて町民大會を開催せんとせしも、彼等資本家及び官憲に依つて阻止せられ開會出來ず散會せり。

のみならず同工場は屈指の惡設備の處にして、爭議團員の談に依れば一日平均三人の負傷者を出し、此等負傷者に對する會社側の態度は實に慘酷なるものありたる樣子なり

又ストライキ前迄は大阪窯業セメント勞働組合總同盟加盟を切り崩す可く、組合員に甘言又は威迫を以て脫會を强要せしも、何等效を奏せず、新に昭和會なるものを作り此れに對抗せしめ或は組合員の職場を替へたり、些少の過失を楯に給料の値下げを行ふ等あらゆる方法を以て切り崩しに狂奔せしも何等得る所なきのみか、却つて從業員の反感を買ひ、愈々强固なる組合となつたのである。

そこで會社は突如江崎君の解雇を發表したのである。茲に於てか從業員は餘りの橫暴に猛然奮起しストライキに移つたのであつた。

此の間何人かの調停者も出でしも會社側の態度に愛想をつかし手を引くの止むなきに迄至つたのである。又同社重役××某は何人かの爲に下駄にて强打されるの、彼等の態度は實に言語同斷のものばかりであつた。

而して前記の解決條件を見る時、此のストライキは全く失敗に歸したものであると云はざるを得ないであらう。平

均一人當り解雇手當九十圓內外、然も此の不況裡に百三十名の解雇は如何に見ても不成功と云をはざるを得ないのである。斯くして同志は愈々貧困のドン底に蹴落され行く姿を見る時、餘りも多數の犧牲者に驚くであらう。

此の不成功、失敗を批判研究する事こそ、今後の爭議の一助とせしめねばならぬ。

その理由として

爭議團に熱がなかつた事、

他組合より應援がなかつた事、

爭議團に勇氣がなかつた事、

を數へられるであらう。

爭議團に熱がなかつた事は最大原因と見る事が出來る。示威運動すら碌々行はず、糺彈演說會の如きも會社附近にては一回も行はず公會堂にて三四回（？）開會したのみ、他組合より應援のなかつた事は誠に遺憾で、此れに依つて熱を煽り損ねて益々意氣を消沈せしめたのである。

爭議團に勇氣の無つた事同工場には創立當時より暴力團を拘へ、表面は人夫供給とし、實は工場の用心棒に外ならぬ、斯の如き者が工場門に居るのでベケチングも恐れて役目すら果す事を得す、意氣愈々上らなかつたのであらう。示威運動の如きも何月何日行ふ等早くより發表し、その爲め折角集まりしにも不拘多數の檢束者を出し解散を喰つたり、又大阪聯合に米を取りに行つた時の示威運動を見るも三菱の荷車の內僅か一臺のみ工場の門前を唯一回練つたぎり、組合旗も持たずに行く等他から見ても餘りに意氣のないのに齒痒い感がしたのであつた。

斯く考へ來る時、吾々のストライキは「喰ふか、死すか」の二途あるのみならば番犬共や暴力團が居やうと決して躊躇す可きではない喰ふ爲だ、生きる爲だ、斯の如き者共に摑えて居るならば、結局は飢だ死だ、吾々は飽く迄も勇敢に突進せねばならぬ、又示威運動を早くより發表する等は最も愚の至りと云はざるを得ない。

此れを要するに一口にして云ふならば、總同盟大阪聯合會の指導の宜敷を得なかつたと云へるだらう。

總同盟の所謂現實主義も、此れでは甚だ心細い次第である。

萬國の勞働者同志よ。

・爭議は生か死かの重大問題であるならば、勇敢に、熱を高めて、飽く迄彼等を屈服せしめねばならぬ。

萬國の勞働者團結せよ。失ふものは鐵鎖のみ得るものは全世界のスローガンを忘れるな。

（八、十六）

同志赤尾を守れ

反帝國主義運動、帝國主義戰爭反對の聲が漸く高まらんとしてゐる時、突如吾が社同人赤尾君は松本第五十聯隊にて兵卒を非人間的な取扱ひ方をしつゝある上官に反抗し、兵卒の爲め全無産階級の爲め、××して横暴と戰つた。この赤尾君の勇敢な行動は、つひに兵卒の同情を得塚田一等卒の如きは、某軍曹が平手で毆つたのに反抗し、さんざんに軍曹をなぐりつけて凱歌を奏した。

今や、赤尾君は軍法會議に廻されんとしてゐる。同志赤尾を彼等の魔手に奪はれるな。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

講座

唯物論及び唯物史觀

神庭仲之助

世の中の移り變りは、唯心論者の說く樣に人の思想の變化が原因となつてゐるだらうか。社會主義は是れに向つて否と答へる。社會變革の原因は、各人の思想の上には求める事が出來ずして、經濟的條件に求めるのである。かくの如く社會進化の原動力を物質的動きであると爲す考へ方歷史の見方が唯物史觀である。この考へ方から行けば、各人の思想も法律も藝術も、皆この經濟的條件を土臺として立つてゐる。もし、一朝この土臺がぐらつく事があれば、たちまちにして、思想、法律、道德等の上部構造も變革されて行くのである。人の思想が經濟的條件を決定するのでなくして、反對に經濟的條件が人の思想を決定するのである。

唯物史觀は哲學上の唯物論の上に樹立されてゐる。唯物論は唯心論に相對してゐる。唯心論によれば、精神があつて初めて物質がある。精神なくして物質は存在しないと主張する。**反之、唯物論は精神は物質の影にすぎない、物質あつて初めて精神が生れるのである**と。

唯心論はその當然の結果として人間の意志は自由であるとするに反し、唯物論は自由意志を認めない、精神以外の何物にかよつてその意志を決定されると說明する。この問題に就いて、ブハリンは最も明快に說いてゐる。

『一例を擧げる。君が集會において一人の辯士を見たと假定する。彼は卓上のコップをとつて貪る樣に飲んだ。コップを手にする時、彼は何を感じたであらうか。彼は自らその水を飲まうと決したのであつて、何人も之を強制したのではない。何人も彼をして斯くなさしめたのではない、何人も彼に強制したのではない。彼は全然その自由感をもつ彼自らが水を飲まうと決心したのであつて――例へば――踊らうと決心したのではない。彼は全然その自由感をもつ處でそもそもこの場合彼は何等の原因なくして行動し從つ**て彼の意志は實際獨立であつたものと稱する事が出來よう**

か――決してそう‖ではない。理性を具へた者であれば誰れでも直にその眞相を知るであらう。彼は斯う云ふだらう。熱辯士は咽喉が乾いて居る。それは何う云ふ意味か、熱辯を振ふに際しては辯士の咽喉に一杯の水を要求する樣な變化が生づるのである。これが即ち原因である。生體における變化即ち生理的原因が一定の願望を生ずる。そこで人は、意志自由の感情、即ち獨立の感じと無原因、人間行爲並に、願望の無制約と云ふ事とを混同してはならぬと云ふ事になる」

「人間も生體が發育して來れば戀を知る。思ひ塞られて暗い絶望に陷るのである。約言すれば、人間の感情なり意志なりは彼自身の生體の狀態なり又有らゆる環境なりに倚存してゐるのである。」

右はブハリン著唯物史觀の決定論、非決定論の項の中から引用した。我々は精神の獨立の有得ない事を知つた。我々は尚正確を期する爲めにブハリンの所論を展開して行かう。

『第三に、一定の方法で組織された物質が現れ初めて「精神」が現れるのである。

思考するのは空無ではない、孔のあるビスケットではない、孔ではない、一切の物質のない「靈魂」ではない。思考するのは人間の腦髓である。人間の一部分である、所が人體は非常に複雜に組織された物質なのである。

第四に、上に述べた所からして、何故に精神なき物質が有り得て、物質なき精神が有り得ないかと云ふ事が明かになる。物質は思考する人間が出現した時よりも前に存在してゐた。地球はその上に何等かの「精神」が出現した時よりもずつと以前に存在してゐた。換言すれば。物質は客觀的に、精神から獨立に存在するのである。これに反して、心的現象即ち所謂「精神」は何時でも又何處でも物質なくしては、即ち物質から獨立に存在しない。思想は頭腦なくしては存在せず、希望は希望する者の生體なくしては存在しない、精神は恒に物質に堅く結び付けられてゐる（只聖書に於いてのみそれは獨立に奈落の上を疾走してゐたのである）或は心的現象即ち意識の現象は一定の方法によつて組織された物質の固有性換言すればその「機能」に外ならぬものである。（或大きさの機能――これは物質に倚存する他の大きさである）人間の例を取つて見よう。それは非常に微妙な組織をもつたものである。人がこの組織を解體し相互に其の構成部分に分解し、之を解剖すれば――精神は無くなつて了ふ。人體が再び働き出す樣にこの全體制を新たに再健する手段があるなら、換言すれば、人間がもし物質の小部分を再び元の如く組み立て、新たに、組織し、分解した時計を組立てる樣に、言はゞ人間を再び組み立てる手段を得るならば、意識も亦再び還つて來る事であらう。時計を修繕すれば時計は更に運轉し始めてチック／＼と音を出す。人體を再び組み立てれば彼は思考し始めるであらう。偶に、人間は未だそこまで發達しては居ないのであ

る。併し乍ら吾々は既に決定論の問題を考察するに當つて「精神」の狀態即ち意識の狀態が人體の狀態に倚つて居る事を見た。酒精を以て人體を毒すれば、意識も亦亂れ「精神」は醉ふ。人體を正常態に復せしめると（毒に對して解毒劑を用ふれば）――精神は更に毒を受けなかつた時の樣に動き始める。茲において意識が物質に倚存するといふ事換言すれば「思惟の實在」に倚存するといふ事が證明されるのである。」

諸君は以上によつて唯物論は、精神は物質によつて存在する事を主張するを知られたと思ふ。

社會學としての、唯物史觀は、この哲學上の唯物論の上に立つてゐる。

唯物史觀は社會の進化變革を經濟的條件の如何を基準として說明しようとする。さて、その經濟的條件とは何かと云ふに、それは生產方法と、其の生產物の分配を指してゐる。例へば、生產力が未だ幼稚にして一人働けば漸く一人分の生產しかなし得ない狀態にあつたなら、決して階級對立の社會組織は實現する事は出來なかつたのである。階級が出來る社會は一人の働きによつて三人四人もの生產を爲す事が出來る樣にならねば實現しない。以上によつて其の大體がうかゞはれる如く社會進化の原動力は經濟的條件である。

マルクスの經濟學批判の序文の中には唯物史觀の大要が極めて明快に書いてあるから引用しよう。

唯物史觀は如何に社會變革を說明するか

以下掲載するのは唯物史觀の公式と呼ばれてゐる部分である、唯物史觀によつてのみ、吾々は社會生活の推移が研究出來、社會現象を正確に認識する事が出來る。敢へて唯物史觀公式を掲げる所以である。

◇

人類は、彼等の生活の社會的生產に於いて一定の必然的の、彼等の意志より獨立した關係に、即ち彼等の物質的生產力の一定の發展階段に適應する所の生產關係に入り込むのである。此等の生產關係の總和は社會の經濟的構造を成すものであつて、それは法制上及政治上の上層建築が據つて以て立つ所の、又一定の社會的意識形態が之に適應する所の眞實の土臺である。物質的生活の生產方法は一般に社會的の政治的の及び精神的の生活過程を條件づける。人類の意識が其の存在を決定するのでなくて寧ろ之に反し、彼等の社會的存在が其の意識を決定する。

社會の物質的生產力は其の發展の一定の階段に於て、そのものが從來その內に活動してゐた所の當時の生產關係又は單にその法的表現である所有關係と衝突することになる。此等の關係は生產力の發展形式から變じて之が桎梏となる。是に於いて、社會革命の時代が到來する。經濟的基礎の變

動に伴ふて巨大なる上層建築の全部が徐々と或は急激に變革し了はる。

　斯かる變革の觀察に當つては、吾々は常に自然科學的に忠實に論證する事が出來る。經濟的生産條件の上に起つた物質的の變革と・人類が依つて以て此の衝突を意識し、且つこれが決戰を爲すに至る所の法制、政治、宗教、藝術哲學上の簡單に云へば觀念上の諸形態とを區別しなければならぬ。斯かる變革時代をば其の時代の意識から判斷するのは、恰も或る個人が自分自身をどう考へてゐるかによつて、その人を決定せんとするに同じく、啻に得る所がないのみならず、寧ろ此の意識なるものが、物質的生活の矛盾から社會的生産力と生産關係との間に現存せる衝突から、說明されなければならぬのである。

　一の社會組織は總ての生産力が其の組織内に餘地あり限り發展を爲し遂げた後にあらざれば決して顚覆し去るもので無く、又新なより高度の生産關係はそのものゝ物質的存在條件が古き社會の胎内に孕まれ了る以前において、決して發現し來たるものでは無いのだから人間は常に解決し得る問題のみを問題とするものである。何故と云ふに一層正確に之を觀察するならば。問題自體は其の解決に必要な物質的條件の已に存在してゐるか又は少くとも、其の成生の過程に在る場合にのみ、初めて發生するものだからである。

　吾人は極大づかみに亞細亞的の、古代的の（ギリシヤ、**ローマ）封建的の、及び近代の有産者的の生産方法を以**て、經濟的社會構成の進歩の階段と爲す事が出來る。

　而して、有産的の生産關係は、社會的生産方法の敵對的形態を採れるものゝ最後である。茲に敵對的と謂ふのは個人的敵對と云ふ意味にあらずして、個人の社會的生活條件から派生する敵對を意味する。併し有産者的社會の胎内に於いて發展した生産力は、同時に此の敵對の解決に必要な物質的條件を作る。されば、人類社會の前史は、此の社會構成を以つて終局を告げる。」

　即ち、物質的生産力の一定の發展階段、これが社會を形成する土臺となる。其の一定の發達階段に適せる生産力に基いて、分配交換の關係が定められ、それらの總和が社會の經濟的構造を形成する。各人は生れるや否や必ずその生産關係の中に入りこんで了ふ。それは彼の意志の如何に關せずして、そうなつて行く。此の經濟的構造の上に、所謂宗教や、政治、法律の上層建築が形成されてゐる。社會の變革は生産力の進歩から初まつて行く、

　「社會の物質的生産力は其の發展の一定の段階においてそのものが從來その内に活動してゐた所の當時の生産關係又は單にその法的表現である所有關係と衝突することゝなる。此等の關係は生産力の發展形式から轉じて之が桎梏となる。是において社會的革命の時代が到來する。經濟的基礎の動搖と共に巨大なる上層建築の全部が、除々と、或ひは急激に變革し了る。」

生産力の不斷なる進歩を遂げつゝあるに反して、社會組

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

織は固定的なものである。歴史的なものであつて、永遠の性質をもたない。一時的に過ぎない。一の社會組織は生産力の發達程度を土臺として形成さるゝものであつて、初めの中は、その生産力と適應した形式であるから生産力の進歩を促進して行く。しかし生産力が進歩するにつれて、先の社會組織とは次第に均衡が取れぬ樣になつてくる。矛盾が生じて來る。以前までは生産力の發展を助けてゐたのが、反つて生産力の桎梏に變じて來る。されば再び現在の生産力に適應する社會組織が必要となつて來る。こゝに社會變革の時代が現出して來るのである。即ち生産力の變化は、必ず經濟的構造の變化となり、それに伴つて巨大な上層建築が除々と或ひは急激に變化して來る。かの封建制度の破壞されたる所以は、偏狹な社會組織によつては到底進歩せる生産力と歩調を一にする事が出來なかつたからである。生産の増大は封建制度の垣を破つて廣い世界に手足を伸ばす事の出來る資本主義社會を招き寄せたのである。資本主義社會は生産力をいやが上にも發展させた。技術の進歩、機械の發明、交通の完備、通信の自由、そうした條件と共に洪水の樣な富をこの世に出現させた。しかし、それも一時的のものに過ぎなかつた。やがて資本主義社會組織も荒廢の期に近づいた。現在は正にその時代である。生産力と社會組織との矛盾からして、非痛な生活苦をあらゆる人々に與へつゝある、資本主義社會と矛盾衝突する樣になつた生産力に適應する社會が望ましい事となつた。その社會は社會主義社會である。封建制度が破れ、資本主義が生れ、その資本主義亦破れんとして社會主義の實現の期は近づいた。社會主義は資本主義社會の中に孕まれた子供である。人間の子供が月滿ちて漸く生れると等しく、社會主義も母人たる資本主義社會が充分行きつく所まで行きつかねば生れて來ない。

マルクスは云つてゐる。

「一の社會組織は總ての生産力が其の組織内に餘地ある餘り發展を爲し遂げた後にあらざれば決して顚覆し去るもので無く。又新なより高度の生産關係はそのものゝ物質的條件が古き社會の胎内に孕まれ了る以前においては決して發現し來るものではない」

即ち（資本主義の場合を例に取らう）社會主義は資本主義の胎内において生れるに可能な準備をした後にあらざれば決して實現するものではない。未だ其の孕まれざる以前において、社會主義をこの世に實現しようとしたとて、それは無駄な事である。かの所謂空想的社會主義者は、未だ資本主義の發達の可能性のある時代において出現した。社會主義社會に至るべき條件が未だ孕まれてゐなかつたのである。彼等は社會主義が如何なる經路を辿つて實現されて行くかを知らなかつた。資本主義社會の自己運動が社會主義を孕んで行くかを見る事が出來なかつた。しかし、それは止むを得ない事であつた。當時の資本家的生産方法がそれに伴ふブルヂョアジイとプロレタリアとの對立は、ま

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

だ頗る不充分な發達であつた」のである。かゝる時代において出現した。サン、シモン、フーリエ、オウエンの三大空想社會主義者は、自己の頭惱に社會主義國家の樂園を畫き自己陶醉に耽り、科學的に社會の動きを見るを得なかつた。彼等偉大なる思想家を空しく空想家にすぎない者となしたのは、實に其の時代の社會狀態であつた。

反之、科學的社會主義者と稱する人々は、社會主義をして空想の夢として見る事なくして荒々しき現實の社會の流れの上に其の成立せざるべからざる事を發見したのである。されてその科學的社會主義の父は誰れであるかと云ふにそれはカアル、マルクスである。マルクスは、かの初期社會主義者の様に將來の理想社會を一つの希望として自己の腦裡に畫いてゐたのに反して、社會主義は、嚴然たる歷史法則の必然に生み來たる事を發見し、その來るべき經路を科學的に分析したのである。マルクスによれば、社會の變革は人々の思想によつて行はれるのでなくして、生產力の發展と共に行はれると爲す、その生產力に應じて一定の經濟的組織が形成され、その上に所謂上層建築が立てられる。手車でブンブンと綿を絲にしてゐた時代には封建制度が行はれてゐた。古ぼけた時代の遺物が私達の故鄉には未だに保存されてゐる。大機械の發明はこの封建制度を倒し、資本主義社會を建設した。即ち、社會の生產力が變化すれば社會組織も不應なしに變化する。マルクスはこうした新しい歷史の見方を發見したのである。前述した唯物史觀がそれである。科學的社會主義は、社會主義をして歷史的な必然のものであると見た。社會主義は決して二人や三人の思想家の考へによつて來るのではなくして、實に社會の經濟的變化によつて來る。

東京市會瀆職問題に關する聲明書二つ

板舟權問題、京成電車乘入問題、東京瓦斯報償契約更新問題等を機會として東京市會はその朽廢性做に徹せることを曝露した。今日堂々たる市會議員が頭を列ねて瀆職罪の罪名の下に收容せらるの事實は心ある市民の正視するに堪へざる所であらう東京市會は全く利權漁獵者流の亂舞場となり醜怪汚辱の伏魔殿と化し去つたのである。然し斯くの如き事態の由つて來る源は遠い。我等は民衆の利權を度外した政治の一歸結を眼前に視る心地がする。民衆に立脚する東京市會の再建こそ目下の急務であり、また市會を革正する唯一の途徑でなければならぬ。我等は民衆の名に依て現市會を糺彈し市當局の辭職を要求すると共に普通選擧に依る市會議員選擧の即時施行、市民の一般投票に依る市長の選擧を要求するものである。

昭和三年八月十八日

日勞黨東京府聯合會

我等は東京市の利權政治の正體に就いて、從來機會ある毎に發表し警告し來つた處であるが、今回司直の手に依つて醜惡なる市會政治が公然白日の下に暴露されるに至つた。

然るに昨今司法に向つてもみ消し運動の擧あり、過去に於ける市議檢擧の跡を觀るに事件の中樞人物を逸し、所謂雜魚のみを追ふ傾向がある。

我等は此の市會淨化の絕好の機會に際して、司直の府が政治的牽制に累はさるゝことなく徹底的檢擧を斷行して其の禍根を一掃し、以つて、東京市會の更生を圖らんことを要求す。

我等は今後、全市民の正義心に訴へ、且つこれと協力して市政大改革の烽火を擧げ公正なる新市會の建設を見るまで全力を擧げて奮鬪せんことを誓ふものである。

一九二八年八月二十二日

社會民衆黨東京府支部聯合會

板舟權問題に就て

去る六月末より七月にかけて檢擧したる右翼反動團體の取調よりはしなくも帝都の伏魔殿たる東京市會の疑獄事件が發覺し以外にも大きな波紋を抽いて擴大して行きつゝある。板舟權問題とはそも如何なるものであるかを簡單に述べるならば此板舟權は板舟權、平田舟權等の權利の總稱であつて、舊日本橋市場で魚類を販賣するために使つた巾三尺、長さ一尺の板一枚の權利であるが、その權利は一枚三千圓、平田舟權も魚類の販賣に使用する船から河岸に渡した板の權利である、これが警視廳の行政命令によつて震災後日本橋魚河岸市場より芝浦に移され、その爲に舊板舟權總額二千万圓が無くなつたためそれを東京市に保償させんとしたのがそも〳〵この事件の發端である。これに對して東京市民は他に多くの社會事業が財政困難のために遷延されてある時に當つて一部の權利保護のためこれを負擔する事は出來ない理由のもとに猛烈なる反對運動を起したために東京市會に提案されてより數年に亘るも常に否決され、中村市長時代に百万圓保償が否決に遭い、西久保市長又九十万圓に減額し上提したるも遂に否決されたのであつた。然るにこの案が三月三十日の市會において七十万圓保償として上提されるに至つて遂に四十票對四十二票の差をもつて市民の反對を無視し可決されるに至つた。この板舟權保償案の通過の裏面には過般の總選擧に際しても候補者に贈賄したる形跡あり、上提以前における暗中飛躍は以外の效を奏し、上提以來反對し通した議員の寢返り、組合基金數十万圓の支出不明等に關聯して、この間にあつていかに醜怪極まる行爲が演ぜられたかを推斷する事が出來る。今やこの問題も司局の手に移つて十一日突如關係者方面の搜査を開始し、芋蔓的に檢擧されつゝある。既に、高村、相川、坪野、今津、小板等は、強制處分によつて市ケ谷刑務所に收容され、愈々起訴する事に決定してゐる。尚片山、田中、栗山、茂木の四市議、大野代議士等にも拘引狀を發し事件は益々擴大しつゝある。從來市當局は豫算なしの理由のもとに、市從業員・市電從業員等々の待遇改善の要求は事每にこれを斥けて、ために市從業員、市電從業員の生活は愈々窮迫してゐるをも顧みず十數年來利權のために紊亂を極めたる市會が、はしなくもほんの一部の人々を利するに過ぎざる板舟權問題のために始めてその醜狀が暴露されたのである。我々はこの摘發檢擧に對しては當局を充分に監視しなくてはならないとともに、この問題の責任者たる市長の辭職と現市會の即時解散を要求して普選によつてこれが淨化を期せねばならない。

（八月十七日）

板舟權や京成電車乘入問題にからんで曝露された東京市の腐敗に各無産政黨が敢然として立つた。その片鱗として講座の末尾に聲明書の二三を揭げておいた。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

移住地を流れる歳月

本庄陸男

トンペツに知人があるので、その方に女中奉公に出す。男は漁場の主人である――といふことは、相當の成功者である理由になり、お梅の出先に暗陰は更にないのだ。荒仕事をしなければ、容貌も冴えるだらう、と噂した。とに角お梅は部落を出るのだ。

勿論、隣の家がそれを信じようとどうしやうと、口實さへ明瞭であるなら、あとはどうにでも處理出來る。彼等――お梅の兩親は、それをすつかり肯定してゐた。女の子は概して役に立たない。こんな伐木と開墾に酷使するのは、その親に似ない色白が、却て不生産的である。女の元手で儲かる仕事が漁場に澤山轉がつてゐる。

何だ？　何が辛いといふんだ。まだ行つて見もせんで、何を吐かす。序に面白い思ひをせんでもないぞよ。阿呆奴！

親爺の一存は、一切を躊躇なく片附けた。そしてお梅は村を出る。出さねばならぬ理由を歪曲してゐる、眞實のことを隠せるだけ隠す傳統の道義心を持ち合せてゐた。お梅の色白に惚れて、横眼を使ふ若い男も居たには居たが、高が一戸分や二戸分の自作農に、なれるかなれんの見え透いた境涯だ。そんな者に遣られるかと痩せ我慢を吐き出した。事實は此の時、彼等の生活に、ヒビが凄じく割れてゐたのだ。

新開地には、金と成功が待つてゐると云ふポスターが、内地の役場に貼り出された。祖先代々の煤けた家屋だけ――それをすつかり小作米の抵當に綺麗に渡して、海を渡つて來たのである。再三再四、拓殖課の役人に泣きついて、依托された原野を、三年間に開墾し、耕地にすべく命令された。三年間に、立木がすつかり伐採せられて、この森林に見透しをつけなければ下附にならぬ、――その條件を餘儀なく承認した彼等である。三年目に五町歩にしろ、土地所有主になるであらうと云ふ、果敢ない希望を確かり握つた。娘が居た、倅が居た、童が居た、赤子が居た。しなびた四十の女房以下の一隊を引きつれて、親爺は此の狹谷の

、川口近く小屋を編んだ。そうして、三年間に、十町歩の開墾地を實現しようと目論むのだ。總動員して働いた、草の根を掘りかへして胃の腑に押し込んだ。

だが、そうして働いても、十町歩の見透しは着き兼ねる嬶はそれでも子供を産む、―營養不良で我鬼が死ぬ――自棄で伐り倒して見たが、大きな根木の交錯は、焦るけれども、薩張り匂ひの高い黒土の畑地とはならなかつた。

川に沿ふた澤地の沖積土であつた。生れた内地を喰ひ詰めさせられた一つ一つの家々が、三本伐り拂つたも木の間に小屋を掛けた。そして、此處に小さな移住部落を創くて行つた。家と家とは遠かつた。お梅の若さと娘さとが、それでも、一本の路を歩く時折りの人間に印象した。だから若い男は、鋸を立木の胴に挽き入れて、その手を止めておお梅の瞥視を想ひ出した。若い男――清造は、お梅の開墾小屋の屋根に、僅な煤が黒くなる次の年、その奧の地を拂ひ下げた。高臺は、白樺の林の間に煙を飼はせた。その新移住者の家にも、親爺、お袋、それ以下五人の餓鬼どもが巣喰ふて行つた。

高臺から見下して。お梅は十七？ そうすると、清造の十九と大して差違ない。熊笹をやつと切り開いた一本路、それを抱へてゐる未墾地の二つの家が、六百間の距離を置いて煙を立てゝ居た。

三年間に未墾地が認められた場合には、その未墾地に相當する立木の木代を賠償しなければ附與にならない。三年間・とにも角にも、鋸一本で開墾した土地だ。――黒い土壤に、水々しく成長する青豌豆の丸い葉の色だ――檢査官が來て調査して、そして不許可と認定されれば、それ迄になる。これは重大問題である――木代、木代……木代を拂へば附與になる。土地を自分の所有に出來る。

三年目だつた、お梅が十九の生娘となつた。附與地にしなければならないための木代に替へて、お梅は嚴然たる親爺の命と、母親の懇願にほだされて、女中奉公に行つた――トンペツと云ふ漁港に、荒い渡り漁夫の群の中に投げ込まれて行つた。

六百間奧地の清造は、原籍地に舞ひ戻されて、其處から所屬の聯隊に、謹直な忠節を抽んでてゐる兵士であつた。一遍の別れを告げ合ふひまもなかつた。奉公である、奉公である――その中、よい嫁の口でも見つかるだらうと慰められた。お梅は、雪に埋もれた一冬中に、洗はれて綺麗になつた白い顏を、縮緬のお袋讓りのお高祖に包んで七里の路を馬車に搖られた。停車場までの道々を、彼女の父親は、馬車の後から徒歩でついて來た。殊勝な娘は、金は取れるし、面白い思ひはするし――といふ土地に運ばれた。

馬車に搖られて頭が重く痛んだ。その一晩を、煤けた部屋だが、幾年振りかで、お梅は熟睡の上によく寢入つた。翌朝、稍々に氣の毒そうな親爺の顏に、輕便列車を見送らせて朝の一番でトンペツに行く。トンペツは海岸で新しい魚を

食ひ放題だと云つた。汽車も来てゐるし、汽船も毎度碇泊するし、都であると聞かされた。

部落は、一本の立木が姿を消失する毎に、拓けて行つた。伐り倒される木が地響き打つた。一本の路は蔓のやうに奥地に延びて、一年毎に家を殖して行つた。

附与地に収穫が積まれて行つた。

馬をおのおの買つて育てた。馬の嘶きや鶏のときを作る音が、村を落ち着かせた。

編み立てた、拜み合せの小屋を、柾葺きの木の生々しい家に建て替へた。

伐られた立木の跡に、さゝくれた切株が透かされて、部落の家が数へられるまでになつた。

部落戸数二十五を計上した。勿論、其処には、自治機関も発生的に設けられた。そうして、これは此の○部落の草分けの、お梅の父親奥村耕助と、清造の父親田部金作である。

高田の清造は、上等兵の星が三つで帰つて来た。お国のために忠良なこの兵士は、三年間の勤務に、在郷軍人となつたカーキー服を珍重された。だが、云ふまでもなく、此の流れ寄つた移民達には、心からの尊敬は決してなかつたけれど、立派な帝国の軍人ではあつた。なつかしい先祖代々の生れ故郷を追ひ立てて呉れた、あの余儀ない脅迫を守成する、此の帝国の軍人ではなかつたか。二十五戸の子弟に讀み書きを法定教授細目を誤魔化してする○部落教授所の代用教員吉田を中心に、清造の名誉は表彰されねばならなかつた。酒とそうめんの饗応があつた。

開拓されて行く村と一緒に成長した、若い者の統帥者である田部の清造さんは、内地に居る時高等小学校も出て居たし、それから兵隊では上等兵である。部落のインテリゲンチヤは、けれども軍服をすつかり投げ棄てた。世の中の裏から裏を勉強して、狡猾な眼を窩の底に片よせた。彼は太い手に銭と鍬を持つて伐木に出た。田部の家では、馬小屋の隅に密造した味噌醤油の、税金のがれの、僅かな身上が積つて行つた。あんな伜を持つた田部さんは倖せだ。一足先に、内地に帰れるといふものだ。伐り拓かれた木立の合間に、陽先が充分に注ぐ、作物は処女地に生き〳〵育つのだ。高原の家は、周囲に密生してゐた白樺の木立をすつかり征服してゐた。新しい柾板葺きの家が、陽先にキラ〳〵した。

だが十年間——其の間に、都市集中に搾り切られた敗残者の、急激な移民の群が、未墾地を埋めた。そうして其処には、新しい競争が、罪無い立木を殺戮した。原野はだんだん明るくなつて来た。官庁との契約に、三年間を反古にしないためにも、開拓されて行かねばならぬのだ。平衡が其処に見えた。呼吸を一度、皆が深く吸ひ込んだ。そして此の時初黎田に鍬を投げ込んだ人々は、十町歩の畑地の持主であつた。夏中骨身を削つて働いて、冬中吹雪を見込んで森林主事を酔ひ潰した、その隙間の素早い官有林盗伐に、

思はぬ金儲けをしたかのやうに北叟笑んだ。

成長した子供は、次の時代に這入らうとして、お互ひの嫁取り婿取りを談笑し出した。

荒地と立木に戰ひ拔いた彼等であつた。そうして今は、官有林に手をつける以外に、手の出し所がないのだ。

此處で偶然と部落の人達は思つた――やつて來た騷亂の緒は、田部清造が掠奪されたことである。此の國が、外國と戰爭を初めたといふことである。

青年會の、處女會の――勿論そんな名稱はなかつたが、その立役者であつた清造が召集されたのだ。

何あに、あれは機動演習だ――と云ふ者もあつた。

何あにあれは內地に嫁を搜しに出かけたのだ――と云ふ者も居た。

が、間違ひないことは、原籍の司令部からの召集であるお政府の召集に、怱惶と出かけたすぐ後で、單級小學校に昇格した吉田先生をたづねて、戰爭が始まつたことは、確實である、と言明された。

勿論、日本は連戰連勝さ。

當り前よ、地球の裏では、ドイツを眞中に据えて、世界中が攻めて居るんだ。

新しい時代に觸れる新聞を讀みまはつて、それだけを承知した。

薄荷油が暴騰した。

青豌豆の賣却に、濱の市街地まで行つて、歸りがけの奧行耕助は、重大な素張らしい計畫を抱いてゐた。濱の市街地では、來年鐵道が開通するといふのだ、そうすれば、五里の近さに都會が接近する。

濱の市街地隨一の雜穀仲買商㊂の、一番の上席番頭は、ズブリ／＼と俵にほぞを突き立てて、青豌豆の艶と乾燥を調べた。それを店先で待ち乍ら、耕助は、凍結した海水の上を吹きつける風に、鳥肌立つてゐた。鼻汁を手指でかみ捨てながら、蒼白い顏の番頭が、うすい唇の間から、三等品の宣告をしないかと冷や／＼した。が、まづ二等品だと齒を見せて笑つた。愛想よく話しかけた。

――戰爭が初まつとるんでなあ。奧行さん。澱粉が、えらい景氣が出たぞよ。あんたん所は、馬鈴薯がよう出來るんぢやろう。あれから澱粉を取つて賣り出すと、一儲けになるがなあ――

耕助は返事をしなかつた。

――今が、やるなら遣り時ぢや。此の戰爭は、大きいから、中々長びくわ。しかも澱粉は輸出品ぢや。外國相手の商賣ぢや。

外國相手？

あゝ、つまり外國人の、是非要る品物なんぢや。何しろ世界は廣いからな。これは屹度儲かる哩。サックルの方ぢやあ、もう工場を造つて今年から初めとるが。㊂なんかも

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

何處かに澱粉はないかと血眼ぢや、値を好う買ふがな。

奥行耕助は、馬橇の上で、風に吹かれて腐心した。一握りに摑み取れる千金を豫想することが出來た。ジャンシャン／＼と、馬橇の鈴音を立てながら、彼は馬を追ひ立てゝ家に歸り着いた。

川部金造に相談を持つて行つた。

これは屹度儲かるよ。共同でやつて見んかい？

――だがな。㊂の番頭の言ふことぢや。何を企らんでゐるか分らんぞ。拔け目のない商賣人ぢやからな。俺は止めとこう。

駄目を押して、素氣なく斷られた。

――なら、なら、何もお願ひせんわい。俺一人でやつて見せるさ。吠面搔くな。

雪路を蹴立てゝ、學校の教員を訪ふた。

勿論、それは本當であつた。又々暴騰――天井知らず――といふ初號見出しの相場記事を、教員はストーヴの上に翳して見せた。

奥行耕助は、暗いランプの下で、覺束なく字を拾ひ讀みした。すると其處には、澱粉と並んで、青豌豆の相場が出てゐた。百斤、十五圓五十錢也――

十五圓五十錢なら――それなら㊂に六圓も儲けられとる一俵六圓儲けられとる！澱粉は？なあ、先生。澱粉工場を建てたいと思ひ立つたんぢやが儲かりませうかいな？

さあ――と、教員は首を捻つた。――この景氣が何處まで持ち耐へるかなあ――だけんど、世界戰爭ぢやからなあ損にはなりますまいよ。

耕助は、斷然、決意して家に歸つた。彼は新聞の相場欄に眼を通して、世界が廣くなつた。翌日耕助は、橇に青豌豆の荷造をしながら、㊂に強談判をしようと思ひ立つた。

不當な商人だ！俵六圓の利得。

雪の一本路は、橇の裏金が凍つて光つた。品質を調上げて、二三粒黒いのを殊更に店の土間に投げ捨てた。そして番頭は、

二等品！やつとぢや――

今日は一俵、何ぼに買ふて貰へるんですかいな

今日は？　今日は云ふても昨日と同じに頂きます。

そこで耕助は落ちついて、首に卷いてゐた襟卷を握つて膝引きの上にたゝんだ。見縊るなと抗議し出した。

――でもね、新聞によりますと、十五圓五十錢となつてをりますが、あれはどうなんでせうかな。

薄い唇が初め歪んだ、がすぐ愛想笑ひとなつた。

へへ……ありやあ、貴方、横濱の輸出相場ですぞ。あそこの相場と、此處とを一緒にされては困りますぜ、へへ……

――いや、横濱ぢやありません、小樽の相場ぢや。

小樽にしろが――と。もう番頭は、作り笑ひをしなかつた――此處から船と汽車でどれだけ手數を掛けますことか

それに又、此の相場といふ奴は、一時間際に、大きに變動するものぢやあしなあ——全く、そうは行きませんや。汽車でも來りや又…………

それから、急に開き直つて番頭は上手に出た。

——そんなら、㊂では安すぎると仰言るんですな。安過ぎますなら、無理に賣つて貰はないでもよろしいんで、どうぞ、もつとお高い所に運んで下さい。たゞね、此の盤ぢやあ、何處に行つても此家より高くは買ひません哩、へへ小樽にでも行かな、へ。買はして貰はんでも、此家では、お前樣に貸した金さへ頂けりあ、外に言ひ分はありませんや、

——いや、いや——と、耕助は慌てゝ、手を振つた——そんな譯では決してありませんので、口が出すぎました。どうか、此處で取つて貰はな、俺は困りますので。濟みません。慾の皮がゴウ突く張りまして——

これで貰ふても、此家では、引き合はん位でございますが——と、空嘯いた番頭を、店の土間まで追ひ付いた。

もう、年を取つて出すぎました。こらへて下さいな——所で、昨日の話、あの澱粉をね、今年から目論んで見ようと思ひますんでな。大丈夫でせうな。

あゝあれか、あれは大丈夫だ。

そしたら、又、お宅で買ふて貰はならんのですから、

買ひますとも！

耕助は、橇の上に、莚、叺を仕入れて馬を追ふた。具體化されて來た計畫に、素張らしい魅力を覺えた。そこで耕助は、忘れてゐた長女のお梅に愛情の流る餘裕を感じた。

嚊が、圍爐裏框で泣いてゐた。

長男に手傳はせて馬を小屋に休ませた。橇の上の荷物を土間の隅に積み上げて、裝束の雪を拂ひ乍ら、焚火の爐端の中に踏み込んだ。彼の計畫を話そうとする時女房の赤くただれた眼が見上げた。

——お梅がなあ、お前、病氣になつてなあ——歸にたい歸にたい言ひよるぞ。今日手紙が來たわ——これに（と長男を顧で示して）讀んで貰ふたが、思へば可哀相で可哀相で。

病氣か？ 何の病氣と云ふとりやあ？

何や知らんが、病氣が苦しいと…………

耕助は略々見當をつけては居た。が、今時そんな問題ぢやなかつた。もつと此方に大切なことが山程あつた——だが女房は續けた

それになあ、梅は奉公先から嫁に行つたと云ふてはあるが、皆世間の人もそう思ふとるが、今更なあ——可哀想に。

——今戻つたとて仕樣があるか、もう少しだまつとけ！

それから耕助は、金儲けの計畫を話して、すぐに工事にかゝると宣言した。田部の小財産位、直ぐに負かして了ふぞ！

貴方！ そんな事業やなんかして、又、どうにもならんやうになるぞ——

つべこべ言ふな！ 今に見とれえな！

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

翌年。奥行耕助の持地十町歩と、川下の借地五町歩は、悉く馬鈴薯畑となつた。それはそよ／＼と地味な白い花を咲かせて繁茂した。

川に沿ふた新らしい柾葺きの家からは、港からはる／＼傭ひ入れた大工達が、水車の製作を初めた。冷笑と羨望が飛び交ふた。お柾を賣つた時と、同じ意地で耕助は働くのだ。水車小屋で、大工とふざける娘を怒鳴りとばした。シヤブ／＼／＼とまはり出した動力に、耕助は活氣づいた。

彼はそのために、十年間の血水の姿である十町歩の畑地を他人名義に書き替えねばならなかつた。利子は複利で膨脹して行つた。月二分の驅足で。見積られた地價がそれに喰ひ込むのは目に見えた。

だが、水車は廻轉した。爭鬪の花は摘み捨てられた。山に木の葉が飛びあがる頃、異彩をはなつた馬鈴薯畑は、ヘローにかけて、搔き集められた。

そして――秋
〇部落單級小學校の教室で、賀宴が張られた。酒と、そうめんと、今度は鰯が燒き添へられた。田部淸造は室の中央に居て醉はされてしまつた。

山に、木の葉が散亂した。

一本路が、夜露に恐ろしく冷えてゐた。內地から連れて來た新嫁が、森の陰で蹲まつて待つてゐた。水車の音が路に響いた。

馬鹿らしい戰爭だな。お互に殺し合つてよ――おゝ寒い！

女は男に身を顫せた。身體を寄せ合はなければ、醉ひ醒めが襲へ上るほどであつた。

――今年の下落は、止むを得んよ。休戰だからな。然し世界がドイツをたゝきつぶすと言つてゐる間は、まだ此の値は持ち上る。私は、その方の專門だ。大丈夫だよ。

㊂の番頭は、發表出來ない信賴であつた。然し耕助は背水の陣だ。二束三文に賣らねばならなかつた。

そして翌年馬鈴薯は、淸楚な花を、畑一面に咲かせた。

戰爭は終つてゐた。雜穀は暴落した。

生憎、耕助の一家は、食ふべき麥を畑へ蒔き付けてなかつた。

又、翌年――

もう一つ瀨を越えて、植民地に行つたといふ耕助一家の噂話しが消えた。其の土地は、六百間隣の田部に所有されてゐた。

高臺の家から、淸造は分家して來た。納屋一つ建て增した。

水車は川端で、ゴト／＼廻つてゐた。その動力は、腕木の先で杵を上げ下げした。終日終夜、麥を搗いた。黍をこなした。粉をひいた。全部落の賃搗仕事を引き受けてゐた

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

夕方清造は女房と二人で座繰をまはして糸を出した。

お梅の五度目の妊娠は、清造の手で破り棄てられた。

病弱に身體を腐らせ乍ら、十町歩の畑地に居るであらう親達を振つたのだ。歸つて死にたい。汗水流して働いた家の下で死にたいと書かれてあつた。

お梅は賣り捨てられてゐた。だから、消滅した家を知らなかつた。女が三十の坂に登りつめたら、身勝手に處置すべきであつた。

六度目の妊娠が、ビリ〳〵破られて、汚れたもののやうに焚火に燃え上つた。

娼婦の宿の不用者になつたお梅は、病軀を強いて、客に提供する力を失つてゐた。漁場の荒くれた男達に踏みにおられたお梅の肉體から、金になるものは、皆、搾り取られてゐた。そして肥料にさへならない腐肉を、男の前へ陳列して、その狂暴な食慾にそなへた。だが饑え切つてゐた。

吉田ドラックの請合藥も效果がなかつた。

お梅は、夜、逃げ出した。這ひづつて夜汽車にころげ込んだ。

歸りたい！　歸りたい——

それは八月の明るい列車でなつた。

涼しい奥地の平原を走つてゐた。清々しい窓外の風光は四角に區切られて、すい〳〵と應接した。

觀光旅行の學生連が、一團となつて、愉快な會話を縺れ合はせてゐた。一番、便所に近い隅に、お梅は尿球で呼吸づいてゐた。汽車の動搖を防ぎ兼て、床に尻を下した。クッションに頭と腕とを載せた。

十時間目——お梅は、列車の動きを感じなかつた。世界を失つてゐた。

うつすらと、電灯のあかりを黄色に見た。空間にある驛が搖れてゐた。

歸りたい！　歸りたい！

途中から一日掛の旅費を取つた、駐在巡査が、白つぽいサーベルを鳴らして部落の入口の小學校を覗いた。吉田教員は、四十人の全校生徒の授業を止めた。教室の窓から、巡査と會話の交換をした。

奥行——といふ家は、三年ばかり前にありましたがね。

フン、と首を曲げた巡査に、教員は附け足した。

——あの田部といふ家で聞いて見ると分りませうよ。

そして、窓から首を重ねて出してゐる子供達をどなりつけた。

コラッ!!

そして、禿た頭を一度なでまはしてから授業に取りかゝつた。

巡査だぞ！

森林主事の髭より長くて、よく光るな。
田部さん所へ行つたぞ！

——お梅さんが。清造はそう云ふ。爐端で女房が茶を入れた。巡査はそれを甘そうに呑んだ。

——それぢやあ、警察で死んだんだね。そんなに歸りたかつたなら、お骨だけでも埋めてやらう。此處は俺等の故鄕なんだからね——

私娼か何かをやつてゐたらしい。惡い病氣だ——巡査が事務的に言つた。

まあ——と、女房は汚らしく口を歪めた。

迎へに行きませう。清造は、青年達と相談をいたしまして。——

立ち上つて、附與の金のために賣られた女を想ひ出した。兵隊にさへ行かなかつたら、少し運氣が狂つたかも知れないと思つた。——この地所でしたから、そして此の家でしたからね、此の家の近くに埋めてやりませう。

ひやあ——氣味が惡い、

奇特なことですな、功德になりますな。

——埋めてやるさ。明日、警察の方に出向きます。何でもよいよ、とに角相談しよう。

——よう、田部さん。名譽なことですな。ちやあんと、此處に載つとりますぞ。

吉田教員は、清造の畑に駈けつけて、封を切つたばかりの新聞を擴げて見せた。

○青年團長田部清造氏は云々——と、最上級の言葉を五行ばかり並べてあつた。だが其の上には、三段抜きの大見出しで、A開港場海運勞働組合のストライキが記されてあつた。勞働者大勝——だがそれには目を止めないで、教員はそは〳〵してゐた。

——名譽でもないでせう——

清造は苦笑して草取りを進めた。

お梅さんも、こんな好い腓脛を持つて、幸福なことちや——なあ、内儀さん。

えゝ。

然し、記事の通り、お梅の骨は埋められなかつた。市街の說教所の方がよいと理屈をつけて其處に預けたので。

俺の土地だ、他人の骨なんかを埋めておかれるもんか、なあ、馬鹿臭い！

薄荷油の値段が出て、畑は一面に目にしみる薄荷草の濃綠であつた。風が動いて、紫の小さな花が葉裏に見られた。

——（三、六、二〇）——

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

放浪者の手記

中島安太郎

ながい間、私と一緒に働いたことのある、文學士工の横田三次郎君が北海道の流送會社へ流材に出かけたのは今年の春でした。パンに追はれてあくせくしてゐる私達の生活のせちがらさ、横田君にしても私にしても別れて以來ろくに文通もせづにとう〳〵それが、永遠の別れとまでなつてしまひました。

今でも少くとも一生――忘れることの出來ない惡意のない横田君の笑顔。自由勞働者の常として長い着物にえんがなくぼろぼろのしるしばんてんを引かけて赤旗の唄をうたつたりしてひよこり思び出したように訪れて來る横田君。――一滴の酒も呑まず一本の莨ものまない物固い横田君。私や私の友達の前からこの横田君は永遠にさよならをしてしまつたのです。放浪兒横田君の死は私に取つてまたとない悲しみの一つです。日高の國は不幸なるこの横田君の戀の、その生前と等しく漂ひの旅に盡きぬ恨を永久に留てゐる國であります。妻なく子なく兄弟なく、勿論金があるでなし親はあれども如何にせんの横田君が、ユーゴーを愛讀したり大無量萬經を誦したり、そうかと思ふと森林太郎の譯したファウストの文章に感じたりして悦に入つてゐた横田君の姿を、私どもは永久に見ることが出來なくなつてしまつたのだ。北海道へ立つ時どんなにさがしてもわからなかつた横田君の雜記帳――それが、いまひよいと物置の隅からころがり出て來た。

『あんなものどうでもよいが、君達が見ると嫌だからと思つてさがしたまでだ。自信も何もない日記もあれは、拔書もある、何かの參考にならう、あつたら僕の紀念に進ぜる讀んで見給へ。』と云つた最後の言葉――。

鉛筆で書いてある個所もあるし萬年筆の走り書もある、創作もあれば感想もあり筆記もある。横田君は勿論學者ではない。歌人でもなければ何でもないが、私は文學士工と呼んではよく嫌がられたものだ。このあかじみたうす汚ない雜記帳をこれからひろげて面白そうなところを私は讀み

抜いて見る。

　悪に逆らふ勿れ、裁判する勿れ、殺す事勿れ。従つて戦法廷なく軍隊なく牢獄なく、公私なくすべての復仇なし、争もなく紛判もなし。世界の法則は生存競争なり。されど基督の法則は然らず自己の生存を他人の生存の為に犠牲に供するにあり（ヴオギエス）と書いてある。次には

田園はうらさびて疲れ果てたり
都市これを食ふ、ノルダウ

これ等は何かの抜書だ。

月を背に砧打つ藥の匂ひ

と云ふのはてつきり横田君の自作だ。これから何であらうとだまつて讀んで行くことにする。

　私は今日雜木の林を見た。夕ぐれのさみしさに誘ひ出されたうす暗い中に見渡す限りの雜木の老樹が突立つてゐたが、その枝振りを見よ、その個性を見よ、一として同一のものよりも類似のものすらないではないか。私は價値についてのS君の言葉を思ひ出さずにはゐられなかつた。

　中年者の獨身、それはよくない、性の空虚は一切の哲學を灰色に彩る。南都北嶺の佛教も、女人禁制の壓迫に堪えかねて教法の破戒、喰肉の悪僧親鸞の爲に事實の上に於て完全に征服せられてしまつたではないか、淨土眞宗の僧は果して僧か。

　寒巖枯木、冬野の夜を照す寒月の如き、高僧は、袈裟に彩られたる金襴の錦が、燃へ立つ緋縮緬の長繻袢に眞紅の都腰卷と卷きつき合つて亂雜にころがつてゐたつて、何が云へる。

陰陽は相引く、それが眞理だ。獨身はよくない。

　五十男と性慾、それは俺達の想ひ知ることの出來るものではない――が、それにしても自己の地位、監督と云つたやうな地位を利用して、純潔な娘、處女を犯すと云ふが如き行爲は――公園の狒々ではあるまいし、少しはやけたような、憎いような、うまくやりやがつたような氣分が、壓すように俺の心を包んだ。

　山は灰色、川の流れは海の黑を溶かしたやう、瀬が荒いので眞白の浪頭が立つ、人の心も灰色だ、その中に杉の木立の緑の黒さ、淺緑のチサの木（庄川の上流にて）

竿頭に翻へる赤旗は危險を標示して立ち、ベルがなる。激しいリズムが、峽谷をかけめぐる、日は中天に輝いてゐる。トロ押の人夫達は岩かげへ身を潜めてじつとしてゐる發破だ、發破だ。

　二日休んで俺は考へたが、
何をも得ることが出來なくて

休めば労働賃銀が、とれないので損だと云ふことがわかつた。

何をしても手に附かぬ、頭がぼんやりしてゐる、動作が鈍い。只ぼんやり生きてゐる。

雨を恐れる張子ではあるまいかなれど、朝からの雨に気をとられて仕事は休んでしまつた。七人の土工は飯場で思ひ切り飯を食つて、思ひ〱の行動を取つてゐた。浄瑠璃浪花節の本を読んだりしてゐた。むしろの上にところがつてゐる臭い蒲団の縞はよれ〱になつてゐてところ〱切れてゐてしらみが、這つてゐるのがひよつと見える。はんてん、股引などは吊り竿にうじや〱とかけある。土工の合唱が始まつた。嵐の如し。

鯖を切る用意をした。

頭の尖つた尾のシヤンとした新らしい鯖を、支那人の山本が、流し場に置いた。

雨の為に水だめの空樽の中へ流れ込む貨の水は灰色ににごつてゐる。

「どうだ俺が切つてやらうか、」

「あゝ」

鯖の料理に経験はない。経験のないところに自信もない落ち着いたような顔をして頸すぢねらつて包丁をぶつりと突きさしてみた。

若い娘が通る、幸福の娘、未来ある人だつや〱しい黒髪が朝日に輝く。陽に光る緑の美しさ。男性的な夏だ。

若いうちだと云つた。それはほんとのことである。だがどの方面に向つたとしても若いうちだ。既に立場を失つたところの俺だ。しどろもどろの筋肉労働から得られる賃銀を浪費してしまつて吸ひからされたようなからだを残したつて何になる。

みんなが寄つてたかつて俺を抹殺しようとするのだ。何が奉仕だ、何が犠牲だ。

（この間二行は鉛筆がはつきりしないので読めない）

そうすると、とに角俺は世の中のくずだ。

若いうちに働け老ひてからは仕様のないものだと云つたそれに相違ない。

ユーゴーは云ふホレース・ゲーテ・ラ・フオンテイヌを輝いたる暗黒なる人々である、彼等は自ら憐む可き者であるとは夢にも思はない。然し彼等はまさしく憐れむ可き者の共である。

雀には粟があり、金雀には繁蔞があり、駒鳥には虫があり、蜂には花があり、蠅には腐虫があり、蠟嘴には蜘蛛があ

つた。彼等は一生に多少相食み合つてゐた。其處に善と惡とが相交はる神秘がある。

東方の物語りが、傳へる所によると薔薇の花は神から眞白に作られたが、將に開かんとする時アダムに覗かれたので、それを羞ぢて赤くなつたといふことである。吾人は若き娘と花とを尊むが故に、その前に於ては無作法なる言を弄し得ないのである。（ジャンバルヂヤンの一市街戰）

土工列傳

林銀十。二十六、越中礪波の産、人口過剩の農村に生れた次男の彼は早くも日本移民滿韓集中說に心醉した、義務教育を終へて生家の手傳ひをしてゐた頃、土地の豪農は作男として鮮人を雇入れた。彼の渡鮮熱は鮮語研究熱を煽り獨學自修遂にその大意を移入鮮人から學得した。中途志しを變じ熱海線鐵道工事に身を投じ勉勵の結果遂に土工世話役となる。**大村好惠。**二十の頃居村の産業組合に奉職、それ以前に北海道に農耕せり、後林銀十をたよりて土方となる正直にして能筆なり。**小西翠。**二十。父母健在、所謂相當の百姓（但し小作人）高等小學二年修業。

これはこゝで終つてゐる。

■藪を掘つてゐたら
鎖をつかねたような蛇が出た
金の財布ぢやあるまいし
俺あ驚いて飛び上つた。

◇流動の大氣千切れてさわ／＼と
棕梠の林を
渡り行くかな。

八月七日夜業終へて歸れば飯なし、ひちの中を探りて餘粒を拾ふ、終に滿腹せざれば、議して餅を買ひぬ一個五錢其の數五十、少時睡れば彼來りて薪を割り居たり、彼等飯をとぎてその味やよしと云ひて喰ひぬ。

ぐずの福田が休んだ。四十七錢つかつたと云つた。酒をのみ餅を食ひまつ瓜を一つ食つたと云つた。そして仕事が嫌になつたと云ひ出した。

こんな風にとても澤山書いてある。あまり長くなるといけないと思ふ。私は横田君が書きかけてゐる土工列傳こそ面白い思ひ付きであると思ふ。私はいつかこんな風な百姓列傳を書いて見たいと思ふ。放浪者横田三次郎君の雜記帳の抜き讀みではなし三次郎君の詳しい傳記を書いて見たいと敢て言ふ。賃銀鐵鎖にしばられて永久に自由の天地を見ることなしに喪地で眠る放浪者横田君の靈よ。私はあなたの爲に寂しい涙をさゝぐ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

童話劇

姉と弟

百姓座々員　土佐和芳

豪家の男の子數名
貧しい家の姉と弟

（夕方である、田圃に近い豪家の軒で澤山な子供が手をつないで「中の中の小坊ンさん」をくり返しながら遊んでゐる。汚い衣物を着た貧しい家の男の子がそれをぢつと側で見てゐる。だ、が、彼だけはこの團欒からのけ者にせられたやうなみすぼらしさである。）

貧しい家の子（堪りかねて）坊ちやん、一緒に遊んでくれない

――何だへお前かへ、いやだよ、

男の子、そんな事云はずによせて下さいよ私淋しいんだから

――いやつたらいやだへ、

――ヲイその奴、よせてやつちやア駄目だぞ、そいつのお父つあんはね、小作爭議の發頭人と云つて、惡い奴なんだよ。

――そうだ。家のお父さんもそう云つてたよ。あれのお父つあんは惡い事をしたから今は監獄に入れられてるんだつてね。

――ほんとにいやね、小作人の子供なんてあんな汚い着物きてゐるんだもん。

――そうだ、あんな奴よせたる事いらないよ。あつちへ行けお前のやうな奴ア。

一同、行つちまへ、行つちまへ、馬鹿野郎（皆につかれるのでとう／＼其處にころげてしまう。そして彼は悲しさの餘り泣き出す。）

――アラ、泣いてゐるよ。

――なんだへ、泣蟲だね。

――ヲイ、みな僕の家へ來てお遊びよ。お父さんが買つて來て呉れたお土産が澤山あるよ。ビスケットにチョコレート、それから、今日造らへたゼリーのおいしいのが澤山あるんだから。

――チョコレートがあるんだつて？

――ゼリーがあるの？　私うれしいわ。私ゼリーが一番好きなんだもの。

――なんだへ、食いしんぼだね。

――さあ早く行かうよ。おもちやも澤山あるんだから。ラッパにサーベルに活動寫眞なんかもね。

――そら、それはいいね。さあ、みな行かう。

（一同ゾロ／＼うれしそうに退場、男の子一人だけがころげた切り泣いてゐる。家の軒から靜かに月が上る）

男の子（うらめしさうに後を見送つてひとり言のやうに）嫌だな。俺はなんで貧乏人になんか生れたのだらう（立ち上り、月を見ながら）お月さん、私悲しいの。お父さんは監獄へ行つてしまつたし、姉さんと私とたつた二人きりなんだもの。そし

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

て、私はみんなからいぢめられるのよ（泣く）

（男の子の姉出て來る、これも汚い風體）

姉　アラ、そこにゐたの、姉ちやんはさつきからづいぶん探してたのよ。

弟　すみません。

姉　ヲヤ、泣いでゐるのね、どうしたの、

姉　なんともないのよ、走つて歸らっとしてここへこけたの。

弟　ぢやア、お泣きなさんな、男の子と云ふものは少し位の事で泣いたりするもんぢやありません。

姉　姉さん、

弟　何よ、

姉　うちのお父つあんね、惡い人？

弟　何を言つてるのよ、うちのお父さんはえらい〳〵人なんですよ。

姉　でも、あそこの坊ちやん達は惡い人だと言つてたよ。

弟　あゝ、向　の子供達かね、あんな者の云ふ事を眞に受けたらいけないよ。あれらのお父さんこそほんとに惡い人なんだよ。向ふの倉に澤山積んである米でもみなうちのお父さん達のやうな小作人があせみどろになつて作つたものなんだからね。あれらの　ちは私達のやうな働く者があるから結構にいけるんだよ。あいつらは私達の生血を吸ふ惡魔のやうな奴なんだよ。

姉　そう？　そんなに惡い奴なの。ぢやア家のお父つあんは何故監獄のやうな處へやられたの。

弟　それはね。お父つあんが先頭に立つて小作爭議をはじめたからだよ。（泣く）

姉　小作爭議はそんなにいけないの。

弟　小作爭議はいい事なんだよ。私ら貧棒人にはあれ一つ丈しか武器はないのだからね。だけど小作爭議をすればお金持の人達は自分達の思ふ通りに米をしぼり取る事が出來ないからあんなに警察へまで走つたりして騷ぐんだよ。

姉　警察の人達はどうしてお金持の味方をするのだらうね。

弟　それはね、私にはよく解らないんだけど今の政治と云ふものはお金持の人ばかりに依つて造らへたからこんな世の中になつたと云ふ事なんだよ。だけど、私はお巡さんだつて貧棒人だのにあんな金持の味方をすると云ふのが可笑しくてならないんだ。

姉　ほんとにそうね、家のお父つあんだつてやつぱりお巡さんが引つぱつて行つたんだつたね。

弟　さうだよ。お巡さんは丁度金持の番犬にやとはれてゐるのと一寸もかわらないんだ――さあ、早くかへろう。今晩は死んだお母さんのお日柄なんだから。そして、お團子をまつつてあるのをさげてあげるからね。

姉　お母さんはいいね。死んでゐたらお腹の空いてくるのがわからないのだから。

弟　そりやそうだよ。だけど生きて來た世の中だから生きられる丈生きなけりやうそだよ。お母さんのやうに納屋のすみで首をくくつたつて誰もえらいとは云つて吳れないんだからねだが、お母さんを殺したのもやはりお金持の人なんだ、お母さんは肥料代が拂へなくて家を差おさへされたので死んだの

だからね。（泣く、
この時豪家よりにぎやかなチクヲンキの音が聞へろ。

弟　お金持の人達はみな樂しそうね。（思ひ出したやうに）姉さん、ゼリーつてどんなお菓子？　お美味しいの？

姉　ゼリー姉さんはそんなお菓子なんかしらないよ。誰がそんな事云つてたの。

弟　向の坊ちやん達がよ一寸食べてみたいね、

姉　そんな事を思つちや駄目よ、そんなお菓子なんか姉さんが紡績へ行くやうになればお土產に買つて來て上げるからね。

弟　姉さんは紡績へ行くの、

姉　あゝ。

弟　姉さんはそんな處へ行つちや駄目よ、大きい姉さんが肺病になつて死んだのも、紡績へ行つたからなんでしよ？　姉さんが紡績へまで行つてお菓子を買つてくれるんだつたら、私もうほしくはありません、

姉　だけど、姉さんだつて家に借金がある限り行つて悪い處と知りながらもやはり行かなければならないんだよ。それだけに貧拣人はみぢめなんだからね。さあ、早く歸らう、

（二人トボ〱と退塲、月ます〱美しくさへる。
蓄音機の音はやがてにぎやかな曲となり子供達のにぎやかな笑聲が聞こゆ。）

——幕——

農民勞働社特價取次書目

一、	町村制の話（吉田賢一）	、一〇
二、	小作調停法の話（吉田賢一）	、一〇
三、	百姓は何故貧乏するか（行政長藏）	、一〇
四、	農民組合の理論と實際（杉山元次郎）	一、〇〇
五、	小作爭議の實際（杉山元治郎）	一、五〇
六、	農業と社會主義（平野學）	一、五〇
七、	世界の農民運動（大西俊夫）	一、五〇
八、	農民組合論（非原達）	一、五〇
●	一―三まで一割引、四―八は二割引	
	無產政黨の戰術（最新刊）　上條愛一	一、〇〇

右の他農民教育運動の時期にのぞみ、講習會教材として適當なるパンフレツトを、此の際特價を以て提供す。
目錄請求には郵券二錢封入のこと

東京市芝區二本榎西町二番地
振替東京七六二七〇番
農民勞働社

特別讀物二篇

理想郷を造らんとして支那革命に従ふ（二）

稲　田　狂　二

――楊子江を遡る――

四月三日揚子江により漢口に上るべく上海を立つた。船は日清輪船公司の大福丸、翌朝鎭江を経て、翌日南京に到着した。鎭江は市中が非常に雑踏してゐたが、南京に到着すると上陸する人を、獨立軍が桟橋で調べてゐる。南京は云ふまでもなく赤旗だ。赤旗は何處の國も革命に用ひるものらしい。揚子江の河は海にそゝぐところは河幅三十里、茫々として彼岸を見る事が出來ない。南京の向岸へも約一里ぐらひもある。上ると又廣くなり、漢口に上つても一里ぐらひある。岸は堤防無く自然に任してゐる。上る事三日にして漢口に到着したが、九江附近で五丁ぐらひある材木の筏を数十個見た。その上には假小屋が建てられ、二十数名の人が見えた。筏の上には畑もある。鶏がゐる。豚がゐる。この筏は湖北省の上流より来て、鎭口や福州あたり迄もつて行くとの事、これを流すに一年の歳月を経ると謂ふ。支那式で、又大陸的で、到底日本人の想像の出來ぬ事である。

鴨の群が一里又は二里ぐらひ雲集してゐる。揚子江の鴨は年中ゐるとの事だ。九江で北軍が大砲を打つのを見た。

漢口に着すると、日本旅館の「竹の屋」に宿泊した。こゝへ行つたのは、古川清君がゐる爲めだつた。古川君は私と同郷人で、馬賊になつた事もある。支那革命に盡力してゐる支那浪人の最たる者である。玄洋社の壯士や黒龍會の壯士共と

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

は餘程毛色の變つた人間だ。支那革命に關係しても古川君は常に實戰に參加してゐる。所謂支那浪人と云ふ支那革命家の酒呑み相手ではなかつた。第一革命の際漢口の向ふの武昌で黎元洪を黄興が脅迫して、革命の旗を飜へした時參加してゐた。これが清朝が倒れる革命の第一戰であつた。古川は實に勇敢に戰つた。黎は當時旅團長であつた。部下には清朝の旗本である滿洲人も多かつた。それで革命を贊成しない士官があつたが、古川は立所に十二三名斬り殺して威力を示した。これが第一革命最初の血祭りだつたとの話である。それから、古川の話だが武昌と漢口とで官軍と戰つた際、革命軍が苦戰惡鬪した。黄興は敵の機關銃を奪ひし者には一万元の賞をかけた。古川は四五人の兵をつれて機關銃六門を奪つた。當時革命軍鎮壓に向つた官軍には機關銃が七門きりより無かつたそうだ。古川は前二回代議士に當選したが去る二月は私と對立して共に落選した人だ。人としては非常に面白い人だが政友會についてゐると云ふ事は友人としての私が不快に堪えない。しかし、面白い男ではある。

この男を訪ねて、私が漢口の「竹の屋」に行つた。所が古川君はすでに岳州に立つて後であつた。「竹の屋」は長崎縣出身の人であつた。主人の姪「みね」さんは十七歳だつた。長崎の女學校を途中で止めて來たそうだ。そうして叔父の家に寄食し商賣を手傳つてゐた。英語の會話など非常にうまいものであつた。僕は當時二十七歳紅顏の美青年と形容せば可笑しいが、まだ二十代の青年だつた。みね子さんも僕に共鳴するところがあつた。上海にをつた時など自分の事だが、身長は五尺七寸、體量二十一貫、外國人に伍しても見劣りはしなかつた。支那の所謂新らしい婦人の集團である婦人參政同盟會の人達が僕に媚を賣つた事があるくらひだ。

みね子さんが僕と非常に懇意にして二日目の晩はおそくまで語り明した。實際僕も漢口でそんなやさしい異性がゐるとは思はなかつた。私共は人生を語り文藝を語り、革命を語りあつた。僕はこの漢口を出發する事が厭なような氣がしたが私情を顧みて大義を忘れる事は出來ない。社會革命の爲め生命を捧げてゐるから長く止まる事は出來ない。四日目に岳州に向つた。

――岳陽樓の閱兵――

約十時間にして岳州についた。岳州府は洞庭湖の揚子江にそゝぐところで人口十万ばかりの都市である、湖南省で揚子江の南岸にある。程潜君が一万の軍をもつて此處に獨立してゐる。湖南省一帶は譚人鳳の勢力範圍で、その門下から黄興や程潜、その他の革命の名士が多く輩出してゐる。程潜君は當時から實に偉い人で、群を拔いてゐた。

昨年の北伐軍の成功は湖南軍の力によるのだ。軍官學校を出た可弱いお坊つちやんの將校ではとても北伐なんか〻出來るものではなかつた。程潜の率ゆる千軍萬馬の湖南兵が北伐軍の主體となつた事は云ふまでもない事である。程潜は昨年ボロジンの策動にのつて、武漢派となつて蔣介石に南京で武裝解除された、その後又湖南に歸つて勢力を回復してゐたが三四ケ月前誰れかに(名を忘れたが)監禁されたとの話である。將來、再び擡頭するに違ひない。

私が岳州についた時には、古川君も程潜君も居つた。丁度、郵政局前(**日本の郵便局**)に行軍の準備しつゝあつた。そして有名な岳陽樓の下で兵を閲する事になつてゐた。直ちに私もその軍に加はり、程司令に屬した。古川君も同樣革命軍の日本人參謀の格であつた。岳陽樓上から兵を閲する實に詩的である、樓上には歴代の墨客騷人等が壁上に詩を賦し文を記してゐる。杜甫、白樂天、李白、蘇東坡等の詩や文章もあつた。それから有名な岳陽樓の記がある。

岳陽樓の記　范文正公

慶曆四年の春、滕子京謫せられて巴陵郡に守たり。越えて明年、政通し、人和し、百廢具に興る。乃ち岳陽樓を重修して、其の舊制を增し、唐賢今人の詩賦を其の上に刻し、予に屬して文を作りて之れを記せしむ。予夫の巴陵の勝狀を觀るに、洞庭の一湖に在り。遠山を銜み、長江を呑み、浩浩湯湯として横に際涯無し。朝暉夕陰、氣象萬千。此れ則ち岳陽樓の大觀なり。前人の述備はれり。然らば則ち北のかた巫峽に通じ、南のかた瀟湘を極め、遷客騷人多く此こに會し、物を覽るの情、異なる無きを得んや。若し夫れ霪雨霏霏として、連月開かず、陰風怒號し、濁浪空を排し、日星耀を隱し、山岳形を潛め、商旅行かず、檣傾き、楫摧け薄暮冥冥として、虎嘯き、猿啼く。斯の樓に登るや、則ち國を去つて鄕を懷ひ、讒を憂ひ、譏を畏れ滿目蕭然として、感極つて悲しむ者有らん。春和し景明にして波瀾驚かず。上下天光、一碧萬頃にして、沙鷗翔集し、錦鱗遊泳し、岸芷汀蘭、郁郁靑靑として、或は長煙一空、浩月千里、浮光金を躍らし、靜影璧を沈め、漁歌互ひに答ふるが若きに至つては、此の樂何ぞ極まらんや。斯の樓に登るや、則ち心曠く、神怡び、寵辱皆忘れ、酒を把つて風に臨み、其の喜び洋洋たる者有らん。嗟夫、予嘗て古への仁人の心を求むるに、或は二者の爲すに異るは何ぞや。物を以つて喜ばず、己れを以つて悲しまず。廟堂の高きに居れは、則ち其の民を憂ひ、江湖の遠きに處れば、則ち其の君を憂ふ、是れ進むも亦た憂ひ、退くも亦た憂ふ。然らば則ち何れの時にしてか樂まん。其れ必ず天下の憂に先つて憂ひ、天下の樂みに後れて樂むと曰はん。噫、斯の人微りせば、吾れ誰れと與にか歸せん。

(此の文は志士仁人の本意と悲喜二樣の光景を敍きて妙なり景中に情あり、情中に志士仁人の襟度あり、支那文學の妙味である。)

僕が中學時代に大町桂月氏に教はつたものだ。大町氏が岳陽樓の記を何回となく大聲をあげて誦したのが今尙ほ耳に殘つてゐるが、私は今岳陽樓に上つてこの中學時代の大町桂月氏の事を思ふと、實に云ふべからざる壯快を感じた。又大町桂月氏に教はつた「赤壁の賦」を思ひ出し、曹操の觴を浮べ三軍を叱咤する私の得意何にたとへようもなかつた。翌日、湖北省の常州に官軍がゐる。それを討つべく軍を進めた。

——平原の戰——

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

吾々は驢馬に乘つて行く。驢馬は丈が三尺ぐらひより無い。一日に十里ぐらひの道をよく行く。その日平原に夜十一時頃に到着した。四月中旬だつたと思ふ。明月空に輝き、征駿いななき月を眺めて理想を思ひ、故國を偲び快云ふべからざるものがあつた。露營につき又眠りあたはざる程樂しかつた。

翌朝九時常州における官軍を討つべく出發し夜襲する筈だつた。が午前の十時頃、敵軍を見つけて直ちに戰鬪は開始された。約三時間にして戰ひは勝つたがその日の一時頃敵の逆襲に會つた。敵は吾軍の三倍四師だ。約四万計り、私は日本の砲兵だから砲の事は何んでも知つて居る。在隊中は軍務になまけて居たがそれでも單になまける計りでなく要點は心得て居た。又士官學校の軍事學教程と云ふ講議錄を見て居た、其他教範は皆支那に行く時船中で研究した、私は砲兵でも重砲兵で則ち要塞砲兵だから海岸砲野砲山砲の取扱方や射擊は勿論、歩兵騎兵工兵の教育も受けてゐる、これが日本の重砲兵だから私も軍事學の大體は知つてゐる、攻城でも築城でも野戰守城でも日本の聯隊長位は出來ると思ふてゐた、又十四五歳の頃孫子の兵書を讀み、將たるの心得も知りてゐた、且上杉謙信の用ゐし猪突猛進的戰術は私の性質に合つてゐた、何時か戰爭をした時にこれを實行して見ようと考へたこともあつたのだ。

今私は程軍の參謀である、二十七歳の血氣盛り、社會主義者となりてから、革命戰に倒るゝか、斷頭臺上の露と消ゆるか、われ／＼の理想的な死場所と思ふて居た、革命成りて權勢を擅にしようとは夢にも思はなかつた。吾々の若い時は實にそんな氣持だつた。先輩も又そう教へてくれた。

こんな死生觀を持つてゐたから、死は少しも恐れなかつた、戰ひは始まる、銃彈はシユウシユウと後に飛んで行く、たまには野砲か臼砲の彈が空をかけ廻る、勇しいと云ふより寧ろ壯快だ、これは戰の巷を往來した者計りの知る境地だ。

私は營長（大隊長）以上の作戰會議に列席したが湖南あたりの言語はわからぬ事が多い、且地理にくらい、それでも日本參謀本部の地圖はもつてゐた、砲兵戰の有利なる事を述べ一擧武昌を陷れ北京を突かんと說いたが吾が軍には七珊野砲四門と彈藥五百發よりない、約砲兵一ケ中隊である、一日は丘の上に砲列を布き盛んに打つた、そして前進又前進した、

私は照準を一發毎に調べて、打てと自ら號令を發した、彈はよく命中した、三日間に五里計り敵の陣地を戰ひとつたのは程軍の勇敢によるとは云へ私の照準の正しかつたのも與つて力ありと思ふ。

彈は盡きた。味方の兵は倒れ傷ついたものが多かつた、俄造りの革命兵は勇敢に戰つたが戰ひは彈丸がなければ出來ぬ他では白兵戰を試みた歩兵も多かつた、わが砲兵部隊も彈丸一發も殘さずつかひ果し銃をとりて突擊するより外に道はなかつた、私は突擊の號令と共に敵の歩兵線に向ふて直しぐらにかけて行き私を突かんとする敵を斬つた、側に十二、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

三人も居つたと思ふが、皆私の勢ひに恐れて逃げた、敵の少校（少佐）が居つたが私は彼が逃げんとする馬のしりを斬つたから、此の少校は切りかゝつて來たが彼の指揮刀と私の日本刀は實に問題ではない、一刀の下に彼の肩から斬り下げて倒した、わが隊の兵はこれを見て驚きの眼を見張つた、私共は疲れたから饅頭をかじり出した、そうすると間もなく敵は一ケ聯隊程現はれて來た。約半里許りのところだ、これは新手の敵らしい。私等は本營に引揚げる事にしたが野砲を引き行くだけの兵が居らぬ、又馬は三頭より居らぬ。

『それでは砲を敵にとられるからいつその事閉鎖機をこはして了へ』とて四門の閉鎖器と照準器をこはしてかけ足で本營に引揚げた、約三十丁許りのところだが行つて見ると本隊が見えない、戰は不利と知りて此地を去つたそうだ、其の時に或る兵が退却命令が來た事を初めて知らせた、退却先が何と云ふ所だが誰れも知らない、方向だにわからぬ、それで私は又岳州に戻るべく遮二無二退却した。

約十里ばかりあるところを驢馬に乘つて行く途中、兵も將校も皆何處かへ逃げて了つた。私は道はよく分らぬけれども以前に來た道を辿つて行つた。馬も仲々進まぬ。岳州から二里程あるところで馬を擔夫に五十錢で賣つて、包子（饅頭のやうなもの）を買つて空腹を充たし、岳州府に入つた。そして獨立軍の誰れかゞ來てゐないかと探したが、誰も來てゐない。もう金は十四五錢の銅貨より外に無い。町を歩いてゐると、北軍の密偵らしいのもゐる。日清輪船公司の出張所の様なものがあつた。其處へ行つて日本人はゐないかと聞いて見たが岳州には誰もゐない。その出張所に五十歳ばかりの支那人が居つた。それが王謹臣と云ふ人であつた。

この人が私の行つたため、やつてゐた麻雀を止めて觀察して呉れた。そして「貴下は吾國の革命にまで盡して呉れる事を感謝する」旨を述べられ、北軍の密偵などゐるから外へ出るなと云つて夕方の六時頃、丁度漢口に行く船があつたので乘せられた。出發の際金十元を惠まれた。初めて會つた人が金十元を呉れた事は今でも深く感謝してゐる。船に乘らんとする時、北軍の密偵が後を追かける樣に岸に迫つたが、その時は、はや私の船は岸を離れてゐた。

そして、夜の十時頃再び漢口に着し「竹の屋」旅館に宿泊した。そして、みね子さんと又、同じ家に寢る事が出來た。ゐる事一週間で湖南からの報告を聞く事が出來た。それは長沙から避難した邦人の話であつた。長沙に程潜等が入つて長沙は完全に獨立したとの事である。私があまりに深入りしたから本隊とはなれた事がわかつた。私は上海からも、嚴吾澄氏（國民黨幹部）の招電に接し湖南行を止め、上海に行く事になつた。

社會主義運動思出話（其三）

岡野辰之介

第三齣　塹壕の餘興

一　山川均首を縊る

正面に大鳥居が衝き立つて居る。社殿は木立ちに隱れて見えぬけれども、千木にも屋根にも苔蒸して神寂びた宮居に相違ない。四邊は木立ち繁く、夫れが夜であつたから、暗が層を爲して居るやうに思はれ、實に神域の淋しさを偲ばせる。時は明治四十二年一月、日露戰後の好景氣の反動が來て、世の中が極端に不景氣に成つた時である。夫れでも松の内は人の心も幾らか陽氣であつたが、屠蘇の醉が醒めるに從つて、不景氣風が身に浸みるのであつた。こんな時、こんな處で首縊りでもありはしないだらうか？

そう思ふと身體がゾク／＼として來るのを如何ともすることが出來ない。

鳥居の右手に一本の稚松がある。稚松といつても幹の圍りは一尺もあらう。夫れが地上からそんなに高くない處に、好い鹽梅の枝をヌツと出して居る。

何かブラ下がつて居る！

身體中水を掛けられたやうになり、頭は針金で締められるやうになつた。

碌でもないことを考へて居たら、トウ／＼本物にブツかつてしまつたと、懷中電燈でそのブラ下がつてゐる本體を、熟／＼檢査したと思つて呉れたまへ。

青白い顏、高い鼻、コケタ頬、凄いたら……。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

寒中なのに白地の單衣を着て居る。袖口からブラ下がつてる手の細いを、青白いを……。

どうしても肺病か何んかで、何も彼も賣り盡し、置き盡し、セツパつまつて、此の始末となつたものだらう。新聞記事なら「肺病を悲観して」と來る所だ。

「アツ!?」

皆ンナ異口同音に叫んだ。

「山川君だ!」

「ア、そうだ!?」

「凄いネ!?」

「丸で本物ソツクリだ!?」

「パチ〱、パチ〱、パチ〱、パチ〱」

これは拍手の音だ。

* * * * *

右は金曜會の新年會に於ける假裝の出し物の一ツ。

處は神田三崎町に在つた吉田屋といふ貸席、大島居は書き割りで、現東京日々新聞社員、柴田三郎の手に成り、山川のブヲ下がつたのは本物の松の木で、當時金曜會の猛者として知られた坂本清馬、宇都宮卓爾、森岡榮治なんどいふ人々が、山川の戸山が原の練兵場から、誰れにも斷りなくにブツタ切つて、一里餘もエツチラオツチラ吉田屋に舁ぎ込んだのであつた。

金曜會に椎檜松亭といふ男があつた。日刊平民で、廣告部長を承まはり、大に鳴らした……といひたいが、夫れほどでもなかつたが、此の男大石祿亭等と鶯亭食升の弟子で、一所に都々逸やヘンな句をヒネ繰るのが好きであつた。其の年の勅題「社頭の松」を川柳で行つて、

元日や社頭の松に頭くくり

と駄句つたのである。夫れが當時の社會黨青年の銀線に觸れるものがあつたので、是非之れを活人畫に演じやうといふことになつた。誰れがよからう、彼れがよからうと、首縊り役の品定めとなつた。併し其の頃の雁首を實檢して見ると、ニキビダラケの森岡榮次、アカツ面の坂本清馬、黒ツ面の宇都宮卓爾といふ具合で、ドウモ欲まり役がない。そこで白羽の矢が山川均に立つたワケである。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

祿亭は本名誠之助、亞米利加仕込みの醫者であつた。印度で數年開業したこともある。歸朝してからは紀州新宮で開業して居た。其の紹介で松亭が日刊平民の廣告部長となつたのである。松亭は其の後琵琶新聞といふのを出し、琵琶會の奥附などを仕事にして居たが、今はドウなつたか知らぬ。祿亭は大逆事件で殺された。

森岡は赤旗事件で一年半食つて、千葉で勤めて居る内、氣が變になり、ノベツに、

「天皇陛下萬歳」

を繰り返して居たといふことである。そして滿期出獄するや、滿洲に渡り井戸に投じて死んだ。車夫だつたが非常に頭腦明晰、理路井然であつた。金曜會で愛山山路彌吉をヘコました話もある。此の男の過去帳は何れ「赤旗事件」の處で、も少し恐しく書く。

二　茶氣滿な當時の會合

當時の會合は議論よりも餘興が面白くて集まつたものである。山川の首縊りは新年會であつたから、色々の餘事の中の一場面に過ぎないのであるが、毎週會合する時にも議論は大したものがなかつた。何しろ日本の社會主義者中資本論一冊讀んだものがなかつた時代で、「資本論」といふ本の名は知つて居ても、見た事がなかつたものだ。週刊平民時代加藤時次郎が英文の資本論を買つて、遂には大逆文庫の中に收められたが、當時之れを讀んだものはなかつた位であるから、集會に於ける議論も推して知るべしである。

或る時原霞外が女郎と何かを比較して論じ、來會者からヒドくやり込められた事があつた。霞外は加藤時次郎の出して居つた直言の編輯者であつて、後週刊平民の禁止せらるゝや、直言は其の後繼ぎであつた。浪花節の眞打ちで、後に伊藤痴遊を學んで講談もやつた。當時の集會では、原霞外の浪花節、岡千代彥の落語、松崎天民の牧師の口眞似等が、キツト集會にはつきものであつた。日刊平民の頃から添田唖蟬坊が代つて、あらゆる集會で美しい聲で流行唄を歌つて聞かせた。

大逆事件の一週年に、神樂坂倶樂部で集會があつた。集會といつてもホンの茶話會で、演説もなければ開會の辭もなく何れも茶を吞んで菓子を喰つて居た。臨監の警部だか警視だかゞ、夫をヂロツと見ては横を向き、ヂロツと見ては横を向きして居る。

「涎を流して居やがる」と大きな聲でいふ者がある。

次ぎの室には角袖が机に依つて速記をして居る。下には數十名がオッ取り刀で二階をニランで居る。
ムシヤ〳〵、ツウ〳〵（茶を啜る音）ガリ〳〵、パリ〳〵（煎餅を嚙む音）に和して笑聲起るばかり。
「誰れか餘興をやらないか？」と催促する。啞蟬坊も謹んで居る。何かのキッカケに半田一郎が、デッカイ聲で、調子外づれの聲で、
「西鄕隆盛りや、初めて都に登る時、
　岩に腰かけ盤にチンボコはさまれた」
歌の拙さ、文句可笑しさにドット破れる。流石の役人も天井向つてクス〳〵。
今度は啞蟬坊だ。何時もの流行歌で皆んなをうれしがらせて呉れるに相違ないと、何れも片唾を飲む。
「王が無ければ將棋でさへも
　駒と駒とはたゝかはぬ」
皆、顏見合せて拍手するのも忘れた態。
週刊平民時代には、安成貞雄の新體詩朗詠も、必ず要求せられた餘興であつた。

三　辨慶中止の中止

之れは週刊平民時代の事である。紅葉の名所、瀧の川紅葉寺で園遊會が開かれた。園遊會といふと大變だが、何れも辨當持參で當日の餘興を見に行つたものである。
紅葉寺の門には紅白段々の幕が張られてある。這入つた正面、川の近くに舞臺が出來てゐる。大掛なものであつた。
辨慶が出て來る。七ツ道具を背負つて、六ッかしい顏をして。
すると前の方から巡査が出て來た。
だしぬけに、
「辨慶中止！」
ヘンな茶番サ。イヤ其の茶番も中止されて否前止を食つて、次いで解散を命ぜられてしまつた。切角樂しみにして瀧の川くんだりまで出掛けたのに、常連のコボすこと。
辨慶中止で思ひ出したのは、「辯士中止」の名人、古今獨步ともいふべく、敵ながら稱讚せられたのは更級警部であつた

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

彼は神田署に勤めて居た。されば錦輝館、基督教青年會館、松本亭、吉田屋、大概の演說會場には出張つた。彼は中止を發射する前には幾度か「注意を命じます」をやつた。中止の中でも注意の時でも、腰かけから身を起して、

カチヤツ！

と一ツやる。それから徐ろに、眞に徐ろに、

『辯士中止（若しくは注意）を命じます。』

語尾に力を入れる。大概の辯士は唯諾々として退く。其の言葉が力あるばかりではない。彼が中止を命ずる時には、決して無茶な中止を命じなかつた。大概結論の處までは注意で進行させた。そして『之れを要するに』といふ處へ來ると、

『ガチヤリ、辯士中止を命じます。』

を喰はされる。だが辯士もいふべきことはいつてしまふし、聽衆も聞きたいことを聞いてしまふ。之れを要する部分はドウでも自分でつければ宜いんだから、決して無茶といふものがなかつた。更級から見れば之を要する部分が一番危險なんだから、其れで中止させたんだらう。

幸德が青年會館で『暗殺論』と題して演說した時も、中止役は吾が更級であつた。幸德は低い調子の、然も刺すやうな聲であつた。

『×××××××××××、×××××××××××、××××××××××××××』

聽衆がヘラヘラする。そして更級を見る。彼は仰向いて天井を眺めて居るので安心する。其の頃モウ五十の坂を越して居たらう。チョット苦味走つた所があつて、ヤオラ立ち上がり、中止を命ずる所は芝居氣たつぷりだつた。大逆事件後間もなく死んだ。今時こんな評判の宜い『中止屋』さんがあるだらうか？

四　原と安成の過去帳

原霞外は眞一郞といつて親爺は名古屋の株屋でつた。笈を東都に負つてゐる內、社會主義に成つたんだが、母親がなかつた爲であらう。平民社時代は浪花節しか出來ないと云はれて居たが、晩年には義太夫にも達して居た。之れは久しく國に歸つて居た爲めだらう。名古屋から出る新聞にも關係して居たが、晩年の仕事は憲政會の遊說掛であつて、憲政會內閣時代に死んだ。其の時葬式に總理大臣が列席したので、今迄金をもうける事を知らない馬鹿息子として、粗外して居た眞一郞がそんなにエラかつたのかとて、親爺オイオイ泣いたといふ話がある。明治十二年生であつた。

彼が社會主義運動に關係したのは、「直言」を編輯し、それを週刊平民の養子にしてから、山口とミルクホールをやった次いで日刊平民に入つて記者となり、「舶來乞食」といふ諧談を連載した。後舶來乞食は隆文館から出版された。彼が唯一の著書だ。

モウ一つ可笑しいことがある。堺利彦が自由結婚をした時、當時の、社會主義研究會長安部磯雄が筆頭で、若い連中幾人か、安部は自由結婚論者が自分で自由結婚をするのは好くないといふ妙な論鋒で、青い連中は岡燒半分で、之れに反對したものである。そして決議をして堺夫妻に離婚を迫つた。自由結婚なんて今日の青年男女は、何んな意味か分らないかも知れぬが、當時は非常に新らしい意思であつた。其の論者が實行する譯にはイカぬといふことに成ると、禁酒論者は酒を止めてはイケぬし、獨身論者は獨身で居てはいけぬといふ筆法に成る。其の決議を持つて、堺夫妻に手交したのが、此の原霞外であつた。此の一事彼の人爲りを語るに十分であらう。

安成貞雄は自ら與太大王と稱した如く、與太として有名であつたけれども、社會主義者としては日刊平民に懷春郎の名で短文を寄せたり、發句を寄せたりしたに過ぎなかつた。會に出ては「夢」の研究を語つた事もあつた。其の外には鼻腔にコカインを塗つて見せる位で、彼れの言論學說を聞いたことがなかつた。而し與太には傳ふべきものが多い。

或時山口と千束町（十二階下とも塔下ともいつた）に行つた。二人共嚢中錢なし。唯山口が買つたばかりの電車回數券を持つてるばかり。遂に之れにして遊ばせてといふ談判をすると、流石歴性の女も、夫ればかりはイケヌと斷る。安成山口を叱して曰く、

「馬鹿！貴樣は經濟學を知らないナ。流通資本を固定させる奴があるか！」

其の他女に關する逸話は澤山あるが、少々キタないから書かない。

晩年は悪鬼羅刹野依秀一の秘書役として終つた。享年四十一二だつた。彼が發表したものとしては、へちまの花に寄せた『高等幇間を志願するの書』其の他がある。歿後遺稿として出版せられた。

吉川守邦君より　九月十五日は三月十五日の誤り、又赤旗事件は山口の兇徒聚衆罪を勸め上げた其歡迎會は誤りです。彼が日刊平民新聞に載せた『父母を蹴れ』及び『光』に載せた『貧富の戰爭』と題する記事の爲めに八ケ月の禁錮に處せられ、それを勸め上げて出て來た時に、神田錦輝館に出獄歡迎會を開き、其の席上當時の金曜會の人々が赤旗を振り廻したのが赤旗事件です。（筆者曰、九月となつて居たのは校正の誤りらしい。前後の關係から見ると、矢張り三月十五日とならなければならぬやうです。山口君の歡迎會を兇徒聚衆を勸め上げた時としたのは間違ひでした。吉川君の厚意を謝すると共に讀者諸君に御詫びします。）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

編輯ノート

◆九月……思ひは大正十二年の大震災に馳せ廻る。

◆八月號は校正上の間違ひ多く甚だ讀みにくい點が多々あつた。最も重なものは福田氏の「理想鄕を作らぐとして支那革命に從ふ」が目次では「理想社會を作らんとして北伐軍に從ふ」となつてゐる。目次の方が違つてゐるのです、又、九十頁の時事日誌の七月一日が七日一日となつて、月が全部日となつてゐる。その他、落ちてゐるのや、下駄のまゝの分が多かつた。

◆板舟權問題、京成電車乘入問題に絡んで市會の腐敗は今や高まつて來た。この時、各無産政黨の解明書をかゝげる事も無駄ではあるまい。富山電氣爭議狀況は、全土戰報において紹介した。

◆時評欄における町田、佐々木の兩君はいづれも日本勞農黨の若き闘士である。特別讀物はいよいよ佳境に入らんとしてゐる。味讀を求む。講座として、「唯物論、及び唯物史觀」を掲げた。「資本主義、社會主義」の續きであるけれども多少訂正して獨立させた。本庄陸男氏の「移住地や流れ月る歲」は追はれ行く小作人の悲壯な生活を描寫してゐる。血の流れ作品である。加藤利藏君の「搾取行刑政策と自由勞働者の失業關係」は今月は休む事にした。筆者の都合による。「帝國主義戰爭の危機」は、支那××運動の進展の上に醸されつゝある新しい世界再分割の戰爭に就いて論じたものであり、淸水君の「産業合理化と勞働階級」はロシヤにおける合理化運動と資本主義國家におけるそれとの本質的差異を明示したものである。羽田君、上杉君、吉田君、いづれも一讀すべきものである。福田氏の「大山細迫に與ふ」は、同氏一流の尖銳な論筆になつたものだ。

◆寄稿家諸氏に御願ひするのであるが、是非十日締切りを嚴守して貰ひたいものです。後れる事は、編輯を混亂させ、發行の遲延を是非なくさせるのです。

◆今月號の最大の編輯者の失敗は、最も振假名をつけねばならぬ、「少年少女へ與ふ」と童話劇「姉と弟」に限つて振假名がなかつた事である。印刷屋の間違ひであつてかへようと思つたが、全部組かへる困難の爲めにこのまゝにしておく。

◆氣候の不順の爲めに農村の兄弟は惱んでゐる事であらう。

定價

一部	二十錢	郵税一錢
半年	一圓二十錢	郵税六錢
一年	二圓四十錢	郵税十二錢

◇誌代は總て前金拂込の事
◇成る可く振替で送金の事
◇郵劵代用は必ず一割增の事
◇住所姓名は明かに書く事
◇支局は十日迄に拂込む事

無産階級戰闘雜誌 **進め**　毎月一回一日發行

東京市麴町區内幸町一ノ五
發行所 **進め社本部**
振替東京六九八五三番

發行編輯印刷人 神庭仲之助

大阪市東淀川區十三西ノ町一三一
大阪事務所

廣告料

一等 三百圓	二等 二百圓
三等百五十圓	四等 百圓

大賣捌

東京堂　東海堂　北隆館
大東館　參文社　大盛社

金、銀、白金

徳力商店

東京神田松田町

電　神
25 { 216.235
221.976
450. 御客用

婦人良薬
喜谷實母散
産前、産後、血の道、引風、冷込等に特効有
▲全國到る處に販賣す
本舗
東京京橋區中橋大鋸町
喜谷市郎右衛門
電話京橋五五番　五六番

社會運動の動きが手に取る様に分る
週刊
勞働問題通信
發行所
東京市芝公園協調會内
日本社會問題通信社
振替東京七〇三二八番

無産大衆の戰闘的政治新聞
月刊
日本勞農新聞
讀め!!眞の無産政治新聞を!・
定價　一部　五錢　一ヶ年　一圓五十錢
日本勞農新聞社
東京芝公園五號地
振替東京四六六四九番

本通信は日本社會運動の縮圖である。

定價

一ケ年　金二百圓
半ケ年　金百十圓
一ケ月　金二十圓

週刊

日本社會運動通信

發行所

東京市丸の内仲四號館六號
一官事務所
日本社會運動通信社
電話丸の内二六三〇番
振替東京七八五五九番

全國農民組合機關紙

月刊

土地と自由

一部　五錢

發行所

大阪市北區堂島濱通三丁目
全國農民組合總本部

日本紡織勞働組合機關紙

月刊

正義の光

一部十錢
半年六十錢

發行所

東京市芝區芝公園五號地四號地
日本紡織勞働組合

〔解放群書〕(25)

神近市子著

◇四六判二百五十頁
◇定價壹圓送代拾錢

最新刊

未來をめぐる幻影

內容

◇未來をめぐる幻影
◇アイデアリストの死
◇ある鼻の改造
◇古の街の一角
◇雄阿寒おろし

東京芝區新櫻田町十九　解放社　振替東京三六四九四番

Su-su-me- The Socialism Monthly. Vol.6 No.9
Head office; I. Uchisaiwaicho, Kojimachi, Tokyo, Japan. sept. 1928

大正十二年一月三十日第三種郵便物認可（毎月一回一日發行）
昭和三年九月一日發行昭和三年八月二十八日印刷納本

第六年・第九號

定價二拾錢

精工舍製腕時計

SEIKO

測量器
寫眞器
銀器
精工舍時計
歐米製時計
ダイヤ
裝身具
金銀盃

東京銀座二丁目
服部時計店

大阪博勞町心齋橋筋角
大阪支店